

けんこう鳥取

令和4年度



鳥取市 健康こども部

はじめに

鳥取市では、「誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち」をまちづくりの基本施策（第11次鳥取市総合計画）の一つとして掲げ、さらに、「市民一人ひとりが生涯を通じて、その人らしく健康で豊かな人生を送れること」を基本理念とした「とっとり市民元気プラン」を基に、市民のみなさんの生涯を通じた健康づくりを推進しています。

鳥取市保健所では、感染症への対応をはじめ、精神保健、難病、医事薬事、食品衛生など公衆衛生に関わる業務を行うとともに、健康づくりや母子保健、子育て支援等に関する業務を担っており、市民の皆様の健康を守る総合的な拠点として、さまざまな取組を展開しております。

この「けんこう鳥取」では、これらの取組の概要や実績を取りまとめており、この冊子を御覧いただくことで、本市の保健衛生事業の現状について、御理解をいただくことができれば幸いです。

関係機関や関係団体の皆様とともに保健・医療・福祉の連携をさらに深め、市民の皆様の生涯を通じた健康づくりを推進してまいりたいと考えておりますので、今後も一層の御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

令和5年8月

鳥取市健康こども部長 橋本浩之

目 次

I 鳥取市の概況

1 概況	1
2 財政状況	2
3 衛生統計	4

II 保健事業に関わる組織の概況

1 組織と主な業務	6
2 職員表	7
3 とっとり市民元気プラン2021推進状況	8

III 鳥取市保健所事業概要

健康・子育て推進課に関する事業

1 保健事業一覧	13
2 母子保健事業	14
3 成人保健事業	27
4 栄養改善事業	51
5 歯科保健事業	57
6 歯科保健・糖尿病予防対策東部圏域保健事業	59
7 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	60
8 健康づくり普及啓発活動	61
9 地区組織活動	62

鳥取東保健センターに関する事業

保健総務課に関する事業

保健医療課に関する事業

1 医事薬事	72
2 感染症・疾病対策	75
3 心の健康支援	80

生活安全課に関する事業

IV 健康こども部事業概要

こども家庭相談センターに関する事業

こども発達支援センターに関する事業

1 発達支援係	94
2 特別支援教育係	95
3 児童発達支援センター若草学園	96

V 資料

1 要綱等新規制定・改正状況一覧表	99
2 沿革	100

I 鳥取市の概況

1 概況

(1) 地勢

本市は、鳥取県東北部に位置し、北は日本海に面し、東は岩美町及び一部兵庫県、西は湯梨浜町及び三朝町、南は八頭町、智頭町及び一部岡山県に接し、県庁所在都市として鳥取県東部広域圏の中心をなしている。面積は765.31平方キロメートルで、山陰最大の都市である。

また、四季のうつろいが実感できる比較的温暖な気候で、千代川により形成された鳥取平野を中心に広がり、海、山、川、池など多くの自然に囲まれている。

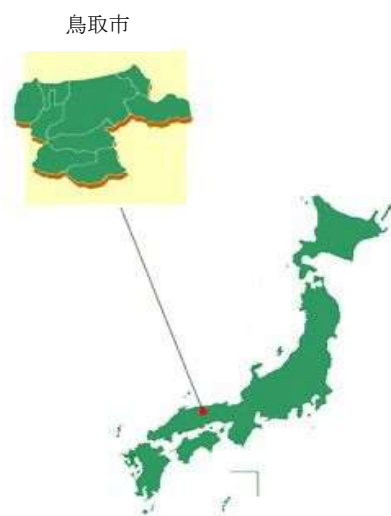
岡山、姫路からは100km、神戸、大阪、京都からは150kmの圏域にある。

(2) 人口、世帯

人口	182,163人
(男 87,868人、女 94,295人)	
世帯数	81,625世帯
	(注) 令和5年3月末日現在の人口

(3) 位置

東経	134° 26' 27" (東端)
	133° 56' 46" (西端)
北緯	35° 16' 17" (南端)
	35° 34' 22" (北端)



(4) 将来像 (第11次鳥取市総合計画)

「いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市」

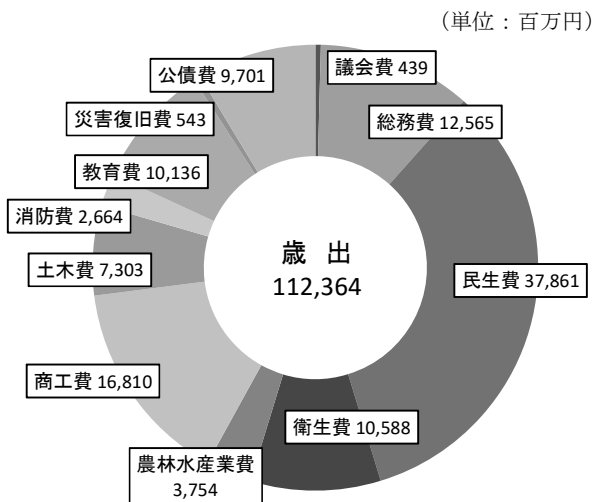
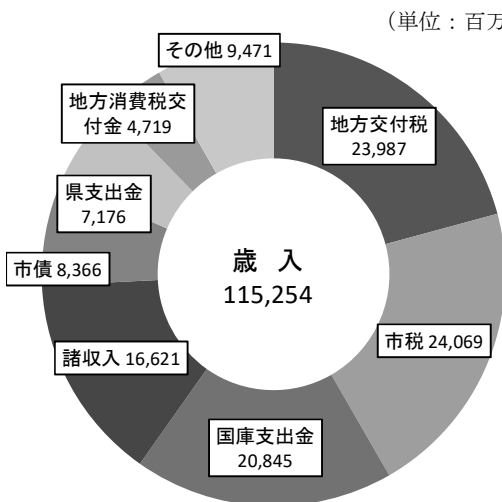
<基本施策>

- ◆まちづくりの目標1 誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち
 - 政策1 未来を創る人材を育むまちづくり
 - 政策2 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり
 - 政策3 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
 - 政策4 人権を尊重し、ともに築く共生のまちづくり
- ◆まちづくりの目標2 人が行きかい、にぎわいあふれるまち
 - 政策1 ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり
 - 政策2 人が集う交流と連携のまちづくり
 - 政策3 文化芸術の薫りあふれるまちづくり
 - 政策4 快適で暮らしやすい生活環境づくり
- ◆まちづくりの目標3 豊かな自然と調和して、安全・安心に暮らせるまち
 - 政策1 安全・安心に暮らせるまちづくり
 - 政策2 環境にやさしいまちづくり

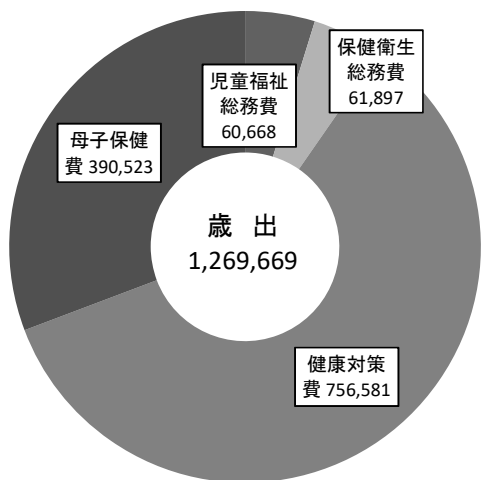
※上記の網掛け部分が、第11次鳥取市総合計画の実施計画（基本施策に関りの深い主要な事務事業）に健康こども部の事業の位置付けがあるもの。

2 財政状況

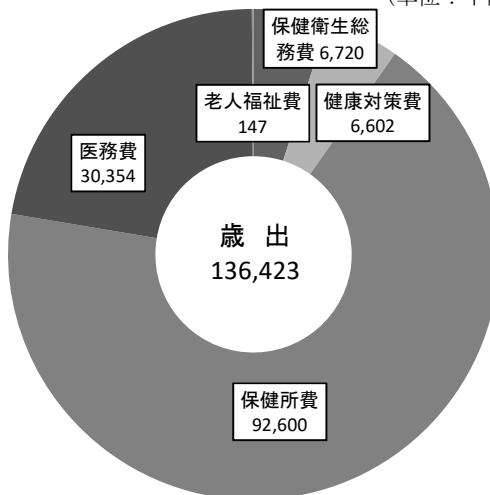
令和4年度一般会計費目別構成（決算額）



■健康・子育て推進課（鳥取東保健センター含む）
 一般会計費目別構成
 歳出総額 1,269,669千円（令和4年度）
 一般会計歳出のうち
 健康・子育て推進課歳出が占める割合 1.10%
 （単位：千円）



■保健総務課
 一般会計費目別構成
 歳出総額 136,423千円（令和4年度）
 一般会計歳出のうち
 保健総務課歳出が占める割合 0.11%
 （単位：千円）



■保健医療課

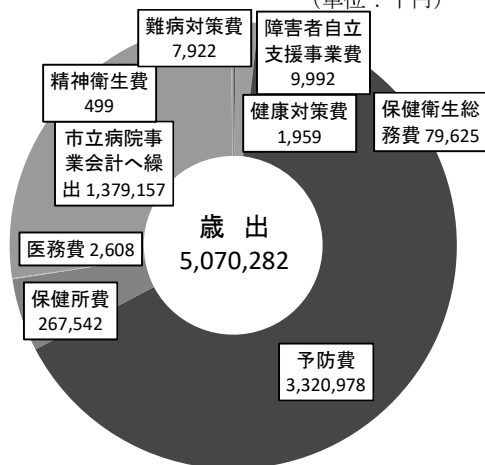
一般会計費目別構成

歳出総額 5,070,282千円（令和4年度）

一般会計歳出のうち

保健医療課歳出が占める割合 4.51%

（単位：千円）



■生活安全課

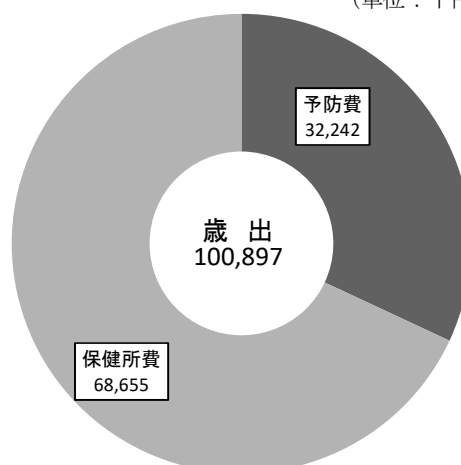
一般会計費目別構成

歳出総額 100,897千円（令和4年度）

一般会計歳出のうち

生活安全課歳出が占める割合 0.08%

（単位：千円）



■こども家庭相談センター

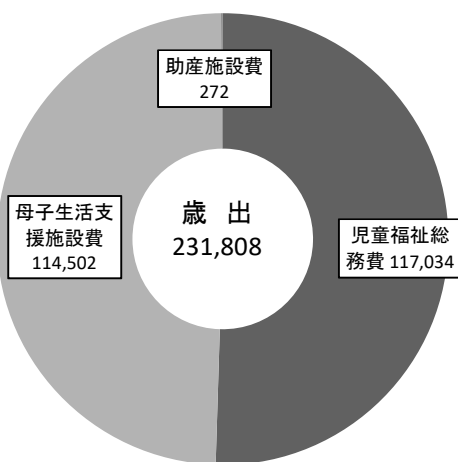
一般会計費目別構成

歳出総額 231,808千円（令和4年度）

一般会計歳出のうち

こども家庭相談センター歳出が占める割合 0.20%

（単位：千円）



■こども発達支援センター

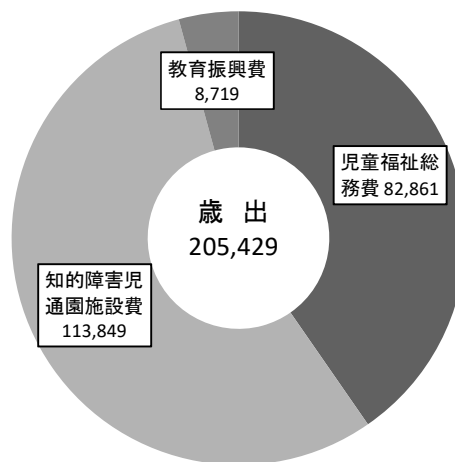
一般会計費目別構成

歳出総額 205,429千円（令和4年度）

一般会計歳出のうち

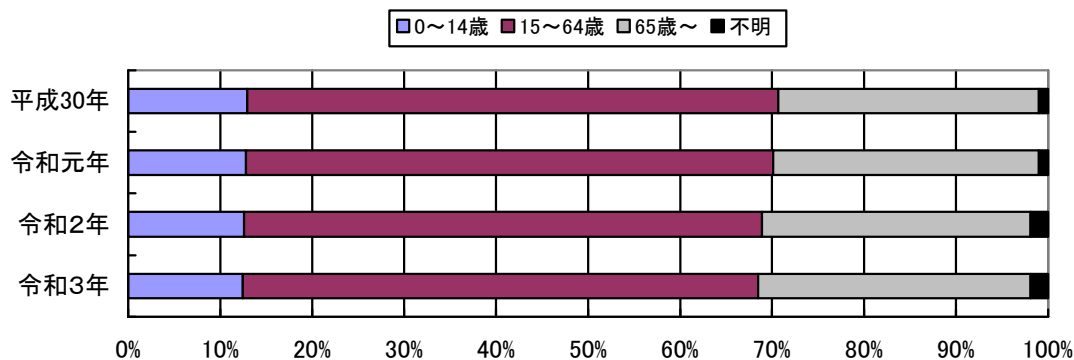
こども発達支援センター歳出が占める割合 0.18%

（単位：千円）



鳥取県「眠れてますか？」睡眠キャンペーンキャラクター「スーミン」鳥取市ご当地バージョン

3 衛生統計 (1) 人口動態 ①人口統計

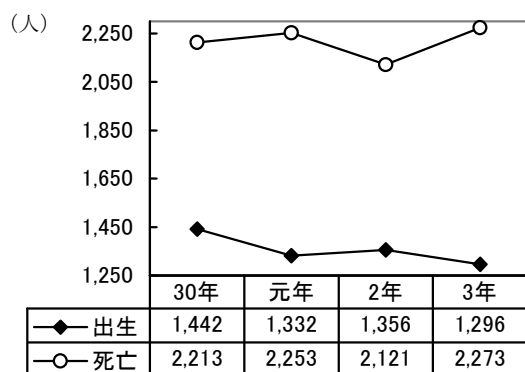


(単位；人)

	0～14歳	15～64歳	65歳～	不明	合計
平成30年	24,591	109,806	53,783	1,910	190,090
令和元年	24,138	108,255	54,437	1,910	188,740
令和2年	23,684	106,218	54,990	3,573	188,465
令和3年	23,263	104,938	55,464	3,573	187,238

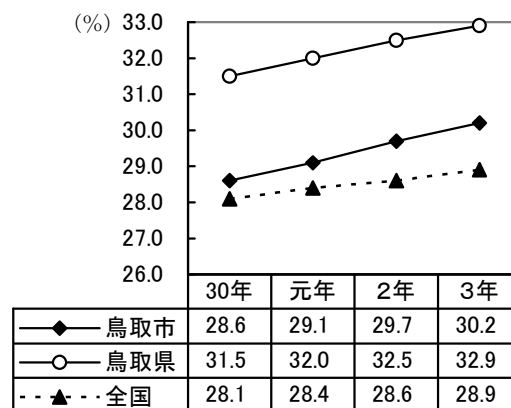
鳥取県統計課「鳥取県の推計人口」より

②人口動態



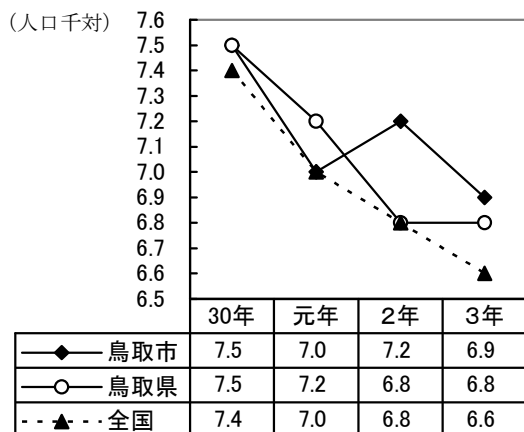
鳥取県統計課「人口移動調査」より

③65歳以上人口の推移



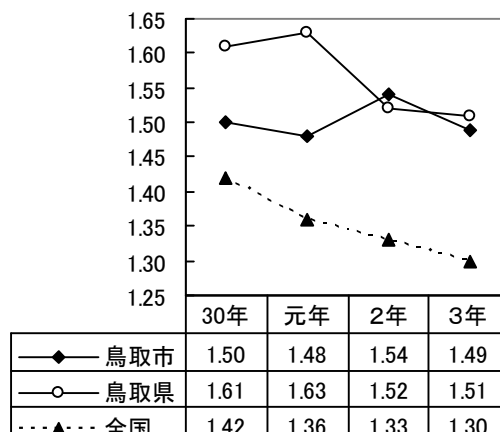
鳥取県統計課「鳥取県の推計人口」、政府統計「人口推計」より

④出生率の推移



鳥取県福祉保健課「人口動態統計」、厚生労働省「人口動態統計」より

⑤合計特殊出生率※

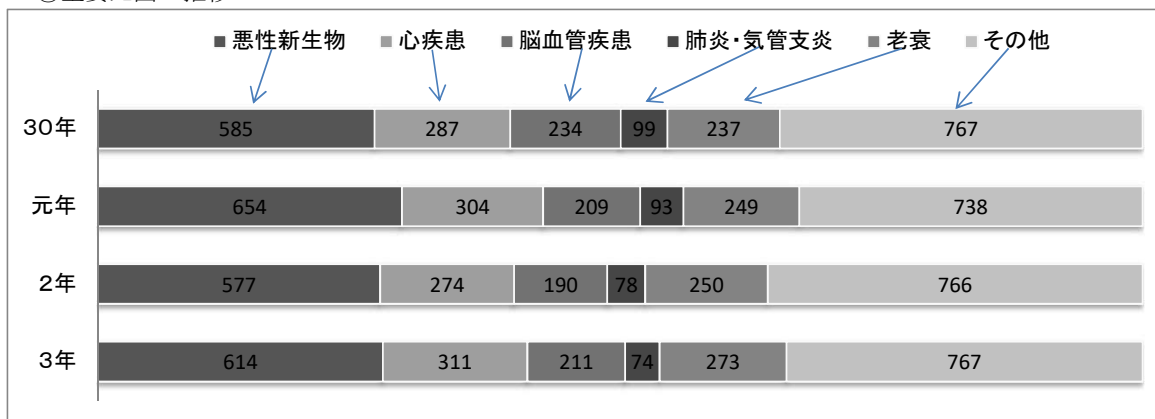


鳥取県福祉保健課「人口動態統計」、厚生労働省「人口動態統計」より

※合計特殊出生率…一人の女性が一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当するもの

(2) 死亡統計 (鳥取県福祉保健課「人口動態統計」より)

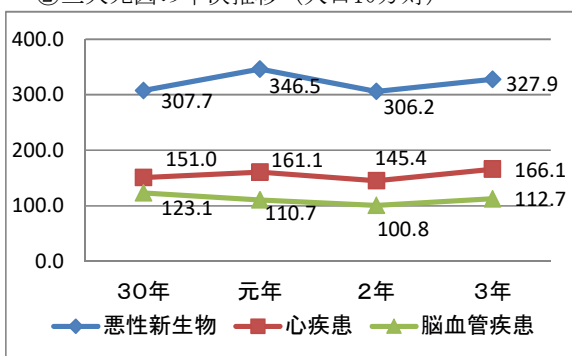
① 主要死因の推移



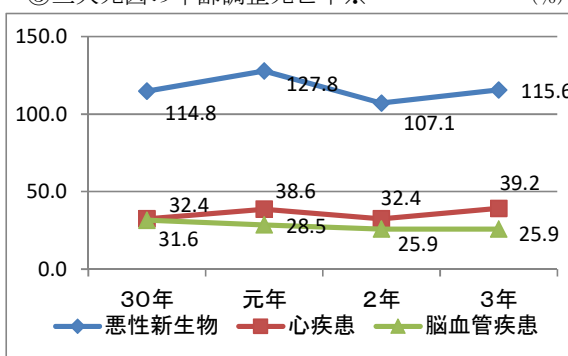
(単位: 人、%)

死因年	悪性新生物		心疾患		脳血管疾患		肺炎・気管支炎		老衰		その他		計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	
30年	585	26.5	287	13.0	234	10.6	99	4.5	237	10.7	767	34.7	2,209
元年	654	29.1	304	13.5	209	9.3	93	4.1	249	11.1	738	32.8	2,247
2年	577	27.0	274	12.8	190	8.9	78	3.7	250	11.7	766	35.9	2,135
3年	614	27.3	311	13.8	211	9.4	74	3.3	273	12.1	767	34.1	2,250

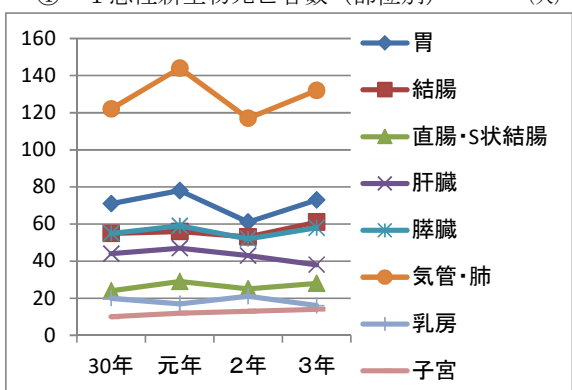
② 三大死因の年次推移 (人口10万対)



③ 三大死因の年齢調整死亡率※ (%)



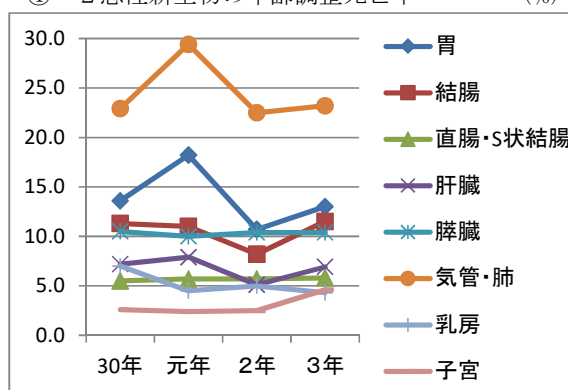
④-1 悪性新生物死亡者数 (部位別) (人)



(単位: 人)

	30年	元年	2年	3年
胃	71	78	61	73
結腸	55	56	53	61
直腸・S状結腸	24	29	25	28
肝臓	44	47	43	38
膵臓	55	59	52	58
気管・肺	122	144	117	132
乳房	20	17	21	16
子宮	10	12	13	14

④-2 悪性新生物の年齢調整死亡率 (%)



(単位: %)

	30年	元年	2年	3年
胃	13.6	18.2	10.7	13.0
結腸	11.3	11.0	8.2	11.5
直腸・S状結腸	5.5	5.7	5.7	5.8
肝臓	7.2	7.9	5.1	6.9
膵臓	10.5	10.0	10.4	10.4
気管・肺	22.9	29.4	22.5	23.2
乳房	7.0	4.5	5.0	4.3
子宮	2.6	2.4	2.5	4.6

※年齢調整死亡率…基準となる人口の年齢構成を考慮して補正した死亡率

II 保健事業に関わる組織の概況

1 組織と主な業務 (R4. 4. 1)

課・係等		主な業務内容	
保健総務課	総務係	<ul style="list-style-type: none"> 保健所事務・事業の総括 地域保健、健康増進報告の総括 など 	
	企画連携係	<ul style="list-style-type: none"> 東部圏域の保健事業の連絡調整 ・受動喫煙対策、相談 健康危機管理における総合調整、災害医療救護 など 	
保健医療課	医事業事係	<ul style="list-style-type: none"> 医事、薬事、毒物劇物、医療従事者免許 薬物乱用防止普及啓発、医療相談 病院、診療所、薬局、医療機器販売業等の許可、届出の受理 保健及び医療政策、地域医療、夜間休日診療、休日歯科診療等 施術所（はり・きゅうなど）、歯科技工所の届出の受理 など 	
	感染症・疾病対策係	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の発生の届出、報告及びまん延防止対策 指定難病等の医療費助成、相談、難病患者の支援 ・予防接種 肝炎治療特別促進事業・エイズ等性感染症の検査・相談 など 	
	心の健康支援室	<ul style="list-style-type: none"> 心の健康、精神疾患等についての相談支援 依存症、ひきこもり、自死対策 など 	
	新型コロナワクチン接種対策室	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナワクチン接種体制確保 など 	
鳥取市保健所	健康・子育て推進課	健康づくり係	<ul style="list-style-type: none"> 元気プラン 2021 の推進・成人健康教育、健康相談、訪問指導 健康づくり地区推進員活動支援・しゃんしゃん体操普及事業 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業 母子歯科事業・成人歯科事業・高齢者歯科事業 東部圏域の歯科保健対策事業・東部圏域の糖尿病対策事業 など
		子育て支援係	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代包括支援センター「こそだてらす」 母子健康手帳交付、妊婦・産後健診票等交付 妊婦教室、産後サロン、多胎児支援 新生児聴覚検査、新生児訪問指導 乳児健康診査、ブックスタート 小児慢性特定疾病の医療費助成、小児慢性特定疾病交通費助成 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 不妊検査・不妊不育治療費助成、不育症治療の相談、啓発 など
		親子保健係	<ul style="list-style-type: none"> 1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査 子育て心理相談 ・発達相談指導 ・育児等健康支援事業 子育てサークル支援 ・広域的な母子保健事業の推進 など
		食育推進係	<ul style="list-style-type: none"> 栄養改善及び食育推進事業（教室・相談・訪問） 特定給食施設の届出、指導 ・食育推進員養成、活動支援 食品表示の指導 ・管理栄養士課程臨地実習受入れ 東部圏域栄養管理情報連携サポート事業 など
		健診推進室	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診・特定保健指導の推進 がん検診、人間ドック、脳ドック、肝炎ウイルス検査の実施 がん対策の推進、がん患者支援 がん検診推進パートナー企業の啓発・支援 など
		生活安全課	<ul style="list-style-type: none"> 食品衛生係 動物愛護係
子ども家庭相談センター		<ul style="list-style-type: none"> こどもの養育相談に関すること 児童虐待予防への取り組みに関すること 家庭・女性相談に関すること など 	
子ども発達支援センター	発達支援係	<ul style="list-style-type: none"> 発達支援及び発達相談に関すること 児童発達支援センター若草学園に関すること など 	
	特別支援教育係	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談、就学相談に関すること 特別支援教育に関すること など 	
鳥取東保健センター		<ul style="list-style-type: none"> 健康・子育て推進課と類似 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【担当地区】 国府、修立、岩倉、稲葉山、面影、米里、津ノ井、若葉台 </div>	
各町総合支所		<ul style="list-style-type: none"> 上記内容すべて、国民健康保険・国民年金 高齢者福祉・介護保険 ・障がい者福祉、児童福祉 など 	

2 職員表 (R4. 5. 1)

所	属	事務他	医師	保健師	管理栄養士・ 栄養士	歯科衛生士	心理相談員	診療放射線技師	薬剤師	獣医師	衛生技師	保育士他	会任等	合計
保健所長			1											1
保健総務課	課長・統括保健師	1		1										2
	総務係	3											1	4
	企画連携係	2		2									1	5
保健医療課	課長			1										1
	医事薬事係	3						1	2				1	7
	感染症・疾病対策係	9		7					1				7	24
	新型コロナワクチン接種対策室	12											2	14
	心の健康支援室			7										7
健康・子育て推進課	課長	1												1
	健康づくり係	2		5(1)		1(1)							6	14
	子育て支援係	1		5(1)									7	13
	親子保健係			5(1)			1						3	9
	食育推進係				6									6
	健診推進室	2		7	1								7	17
生活安全課	課長										1			1
	動物愛護係	4								2			3	9
	食品衛生係								1		7(2)		3	11
こども家庭相談センター	所長・所長補佐	2												2
		1		2			1					3	8	15
こども発達支援センター	所長・所長補佐	1		1										2
	発達支援係	1					1					2	3	7
	特別支援教育係											3	3	6
	若草学園											16	7	23
鳥取東保健センター	所長			1										1
				5(1)	1								3	9
国府町総合支所	市民福祉課	5(1)											2	7
福部町総合支所	市民福祉課	5(1)		1									1	7
河原町総合支所	市民福祉課	6		1									1	8
用瀬町総合支所	市民福祉課	3		1									4	8
佐治町総合支所	市民福祉課	4		1									2	7
気高町総合支所	市民福祉課	5		1									3	9
鹿野町総合支所	市民福祉課	6		1									1	8
青谷町総合支所	市民福祉課	7(1)		1									2	10
合	計	86	1	56	8	1	3	1	4	2	8	24	81	275

育児等休暇中の者 () 再掲

3 とっとり市民元気プラン2021推進状況

分野	令和4年度実施内容および評価
栄養・食生活	<p>【目標】 健康的な食習慣をつくりましょう</p> <p>【目指す方向】 Ⅰ 全てのライフステージで栄養バランスのとれた食事を心がける Ⅱ 自分の体を大事にする食べ物を選ぶ</p> <hr/> <p>【実施内容】</p> <p>1 普及・啓発（講話、野菜レシピ集の配布等）</p> <p>(1) 健康教育（随時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食講習会（43回 444人） ・幼児食教室・育児サークル食育教室（25回 201人） ・地区健康教室（12回 147人） ・食育推進員教育研修（8回 215人）伝達講習会（84回 1,092人）及びスキルアップ研修（7回 162人） <p>(2) 市報・ケーブルテレビでの普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報6月号「食育月間」記事掲載 ・市報「食育推進員による『食』コーナー」（「ごはんを食べよう」） ・食育推進員によるCATV「食育らくらくクッキング」放映（「ごはんを食べよう」） ・公式LINE「食育・レシピ」を毎月配信 ・支所だよりに野菜レシピを掲載 <p>(3) イベント等での啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオン鳥取北店及びイオン鳥取店で、適塩を啓発（2回 232人） ・マルコラ2022で、朝食摂取と野菜摂取を啓発（206人） <p>2 野菜レシピの普及 関係窓口、母子対象の健康教育等、若年層を中心に配布およびホームページ掲載</p> <p>【評価】 新型コロナウイルス感染拡大防止により、中止を余儀なくされた事業が多い中、若年層をはじめ啓発する対象者の拡大のため、企業と連携したイベントを開催し、公式LINEなどメディアを活用する等の「できる啓発」を実施した。今後も継続して、乳幼児期の保護者や学童、生徒など若年層を対象にした効果のある推進、啓発をさらに検討して行くことが必要である。</p>
身体活動・運動	<p>【目標】 楽しく運動しましょう</p> <p>【目指す方向】 Ⅰ 運動習慣をつくる Ⅱ 日常生活の中で意識して身体を動かす Ⅲ しゅんしゅん体操を知り、継続する</p> <hr/> <p>【実施内容】</p> <p>1 運動習慣をつくり、日常生活の中で意識して身体を動かすための働きかけ</p> <p>(1) 健康づくり地区推進員（運動推進委員会）を中心に、城北・富桑地区のウォーキングマップを作成し、地域でのウォーキングの推進を図った</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり地区推進員により地域でウォーキングを実施した地区 36地区 延1,709人 <p>(2) 普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市報9月号「健康増進月間」にて手軽に取り組める運動の紹介 ・2月鳥取市立図書館にて運動習慣に関するパネル等の展示 ・乳幼児期の運動に関するパネルを作成 <p>2 しゅんしゅん体操を知り継続できるための活動支援</p> <p>(1) 普及員への研修・会議 情報交換を行い、それぞれのレベルアップを図った 連絡会、代表者連絡会及びスキルアップ研修会を実施</p>

令和4年度実施内容および評価	
身体活動・運動	<p>(2) 地区のしゃんしゃん体操普及員や健康づくり地区推進員を中心に、自治会、地区社協とも連携し、しゃんしゃん体操を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しゃんしゃん体操普及員により地域でしゃんしゃん体操を実施した地区 27地区 延20,741人 <p>(3) 9月から鳥取空港しゃんしゃん体操教室を開始。</p> <p>(4) ぴよんぴよんネットにてしゃんしゃん体操を実施し、放映した。</p> <p>【評価】 コロナ禍ではあったが、少人数でも取り組めるウォーキングやしゃんしゃん体操を中心に、地域で運動の推進に努めることができた。啓発も乳幼児期～高齢者と幅広い世代へアプローチすることができた。今後も各団体と連携しながら地域住民の運動習慣作りについて検討していきたい。</p>
休養・こころの健康	<p>【目標】 みんなで気にかけて支えあう環境をつくり、こころの健康を保ちましょう</p> <p>【目指す方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> I ライフステージに応じた十分な睡眠と休養をとることができる II 1人で悩みを抱えこむことなく、誰かに相談できる III 家族や地域で温かい人間関係を作り、孤立を防ぐことができる <p>【実施内容】</p> <p>1 ライフステージに応じた十分な睡眠と休養をとることができるための支援 乳幼児健診時にメディア及び生活リズムに関する啓発を紙媒体やパネル等で行うよう働きかけ、幼児期からの睡眠の大切さを呼び掛けた。保護者に対しても親子のふれあいや愛着形成の視点を取り入れた啓発に取り組んだ。</p> <p>2 一人で悩みを抱え込むことなく、誰かに相談できる環境を整える</p> <p>(1) 人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲートキーパー養成研修会（窓口対応の鳥取市職員対象 1回 21人） ・自死予防研修会（地区組織及び市民対象 1回 33人） ・メンタルヘルス出前講座（企業など 11事業所 245人） <p>(2) 普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心といのちを守るパネル展（9月、3月） ・若年層への啓発（自死予防啓発チラシ・クリアファイル等を作成し、大学、専門学校等に配布） ・企業向けメンタルヘルス研修会（新入社員向け 1回 37人） ・心の健康に関する教育（各地区） ・自死予防啓発（市報、ホームページ等） <p>(3) 相談支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の健康に関する相談 ・こころの体温計（延20,015人） <p>【評価】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、啓発活動等の機会は制限されたが、オンライン研修の開催等、感染症対策を行いながら事業を実施することができた。 今後は、集合形式での啓発の場やイベントなど、広く啓発できる機会を確保しながら周知、啓発に努めていく。</p>
喫煙・飲酒	<p>【目標】 禁煙をすすめましょう 適正飲酒を守りましょう</p> <p>【目指す方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> I 妊産婦の喫煙者を減らす II 未成年者がたばこの害について理解し、未成年者の喫煙率をゼロにする III 成人の喫煙者を減らす（禁煙したい者が喫煙を止める） IV 受動喫煙を防ぐ環境をつくる V 妊娠中の飲酒をなくす

令和4年度実施内容および評価	
喫煙・飲酒	<p>VI 未成年者がアルコールの健康への影響について理解できる</p> <p>VII 成人の適正飲酒（頻度・量）の定着</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【実施内容】</p> <p>1 妊産婦の喫煙者を減らす・受動喫煙を防ぐ環境をつくる</p> <p>(1) 母子健康手帳交付、乳幼児健診等でのチラシ配布</p> <p>(2) 禁煙指導の質の向上を図ることを目的として、東部圏域母子保健研修会にて、「禁煙指導」の研修を実施。</p> <p>2 成人の喫煙者を減らす・受動喫煙を防ぐ環境をつくる</p> <p>(1) 喫煙が及ぼす健康被害について知識の普及啓発</p> <p>①世界禁煙デー・禁煙週間等での啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館にポスター掲示と啓発ティッシュを配架 ・図書館、駅南庁舎、鳥取駅地下道において啓発展示、鳥取駅前に横断幕設置 <p>②鳥取市民健康ひろばで啓発、展示・タバコ・アルコールのクイズ実施 参加者 80人</p> <p>③世界糖尿病・COPD W キャンペーンでの啓発・展示、タバコのクイズ実施 参加者 52人</p> <p>④イオン鳥取店33周年での啓発・展示・タバコのクイズを実施 参加者 22人</p> <p>(2) 地域での禁煙の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり地区推進員を対象に喫煙状況についてアンケート調査を実施。10年前の状況と比較、検討を行った。結果について理事会で報告した。回答数 739人(回収率 75.6%) <p>3 成人の適正飲酒の啓発</p> <p>(1) 医療機関に適正飲酒の啓発チラシを配布</p> <p>(2) 公民館祭等での適正飲酒の啓発・展示</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「禁煙指導」の研修を通し知識が深まるとともに、禁煙指導のノウハウを学ぶことができた。 ・健康づくり地区推進員を対象に実施した喫煙状況についてのアンケート調査ではH21年調査時と喫煙率に大きな変化はなく、若い世代ほど喫煙率が高く、加熱式タバコ使用割合が高くなっていること等がわかった。今後の喫煙対策を講じるにあたり有用なデータとしてまとめることができた。 ・コロナ禍以前の活動が少しずつ再開し、昨年度より対面での啓発の機会を持つことができた。 ・受動喫煙等、喫煙に関しては機会を捉え啓発を実施することができたが、適正飲酒に対する啓発の機会が少なかった。適正飲酒について今後具体的な取り組みの検討が必要である。
	歯と口の健康

分野	令和4年度実施内容および評価
疾病の早期発見・早期対策	<p>【目標】 がん検診を受けて、がんの早期発見と早期治療に努めましょう 特定健診を受けて、生活習慣病を予防しましょう</p> <p>【目指す方向】 Ⅰ 定期的ながん検診を受け、要精密検査の場合は必ず精密検査を受診する Ⅱ がん予防に有効な生活習慣を知り、生活習慣を改善する Ⅲ 年1回の特定健診を受ける Ⅳ メタボリックシンドロームや糖尿病等を予防、改善する Ⅴ 生活習慣の改善と早期の適切な治療により、生活習慣病の重症化を防ぐ</p>
	<p>【実施内容】</p> <p>1 啓発活動</p> <p>(1) 地区組織活動と協働の取り組み</p> <p>①健康づくり地区推進員の取り組み 受診啓発劇での呼びかけ（市民医療講演会）、人体模型エプロンやパネル掲示等による啓発（健康ひろば等）、健診受診標語の作成、標語を用いた啓発実施</p> <p>②食育推進員活動 啓発活動は未実施</p> <p>(2) 全市の取り組み</p> <p>①健診受診標語を活用した啓発資料を協会けんぽと作成、新聞折込みチラシ作成し啓発 ②鳥取市公式ホームページ、市報や支所だより、SNSを活用した広報（鳥取市LINE（タイムライン）、子育てアプリ）、市広報番組での、集団健診日程の地区回覧 ③未受診者対策：がん検診・特定健診未受診者通知、看護師訪問 ④乳幼児健診、スポーツジム、体育館、公衆浴場、医療機関、スーパー（イオン等）、郵便局各局、大学、専門学校等へポスター掲示・チラシ配布 ⑤各種月間（ピンクリボン月間、子宮頸がん月間、女性の健康増進週間等）に、啓発展示を市立図書館や鳥取市保健所内、丸由百貨店や駅地下通路で実施 ⑥国保世帯へ納付書送付時に健診チラシ同封、国保加入時に健診案内配布 ⑦前年度集団健診のインターネット予約者へ健診開始お知らせメール送信 ⑧東部医師会、薬剤師会東部支部に健診啓発協力を依頼 ⑨出張がん予防教室でがん教育実施（小学校2回、中学校7回、高校1回） ⑩精密検査未受診者への電話による受診勧奨、アンケート送付</p> <p>2 体制整備</p> <p>(1) 集団健診の実施（126回）、集団健診のインターネット予約の実施 休日健診、レディース検診日の設定、対象者への各種がん検診無料クーポン送付</p> <p>(2) 商業施設でがん検診（肺・大腸）と血糖検査（2か所）</p> <p>3 生活習慣病予防対策</p> <p>(1) ハイリスク者へ戦略的な保健指導の実施、研修会や事例検討会の実施 (2) 「受診勧奨域」となった人への訪問指導の実施 (3) 糖尿病予防教室・フォローアップ教室（9回 47人）、糖尿病友の会の支援 (4) 糖尿病食生活教室（2回 17人）、適塩イベント（2回 延232人） (5) レディース検診時に骨粗しょう症予防の食事メニュー展示 (6) 糖尿病予防啓発キャンペーン事業 (7) 地区での健康教育や健診結果説明会</p> <p>4 特定保健指導（R3年利用率 30.1%）、オンラインでの保健指導実施</p> <p>5 その他</p> <p>(1) 糖尿病&COPD予防啓発キャンペーン開催（11/10 鳥取市民交流センター） (2) がん検診推進パートナー企業へニュースレターを送付（2回/年）</p> <p>【評価】 新型コロナウイルス感染禍であったがSNSでの啓発や各種月間に関係機関と啓発するなど工夫し実施できた。今後さらに健診啓発に努め、受診率向上につなげたい。生活習慣病予防について、若年層への啓発や教育の取り組みを充実させていきたい。</p>

Ⅲ 鳥取市保健所事業概要

平成30年4月、鳥取市保健所を設置した。令和2年4月に健康こども部の組織再編を行い、5月には駅南庁舎へ移転した。

中核市保健所としての法定事務を実施するとともに、県知事の権限事務についても鳥取県から移譲を受けるとともに県東部の岩美郡岩美町、八頭郡若桜町、智頭町、八頭町の保健所業務の委託を受け、県東部の保健所事業等を実施している。

<鳥取県東部医療圏の概況>

① 位置



② 人口・世帯

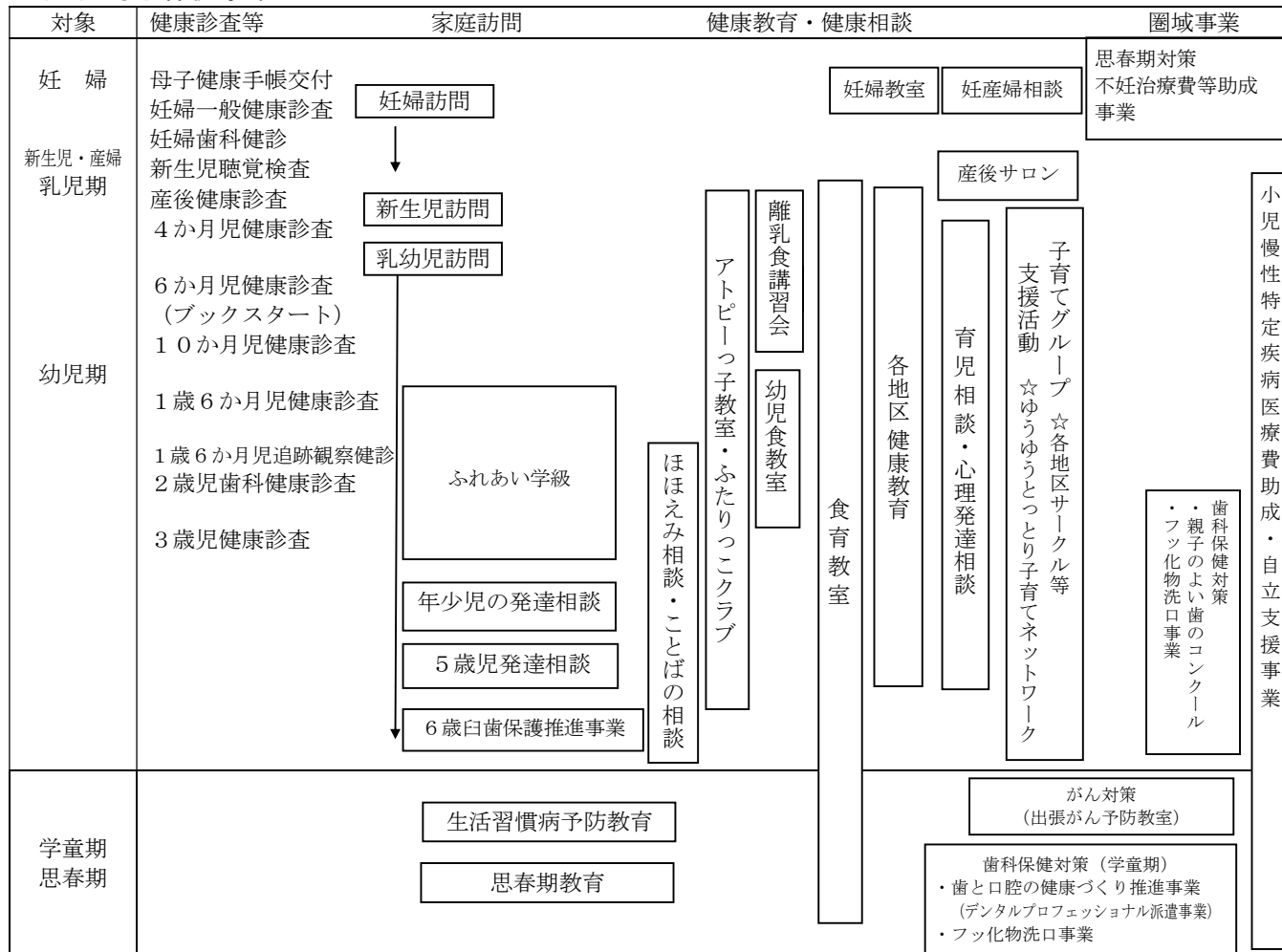
市・町	人口 (人)			世帯数 (世帯)	高齢化率 (%)	
	総数	男	女			
鳥取市	186,045	90,220	95,825	78,039	30.6	
4 町	岩美町	10,531	5,067	5,464	3,955	38.9
	若桜町	2,661	1,267	1,394	1,139	51.1
	智頭町	6,116	2,861	3,255	2,365	45.8
	八頭町	15,356	7,296	8,060	5,316	37.8
計	220,709	106,711	113,998	90,814	31.6	

出典：鳥取県統計課公表「鳥取県推計人口（令和4年10月1日現在）」

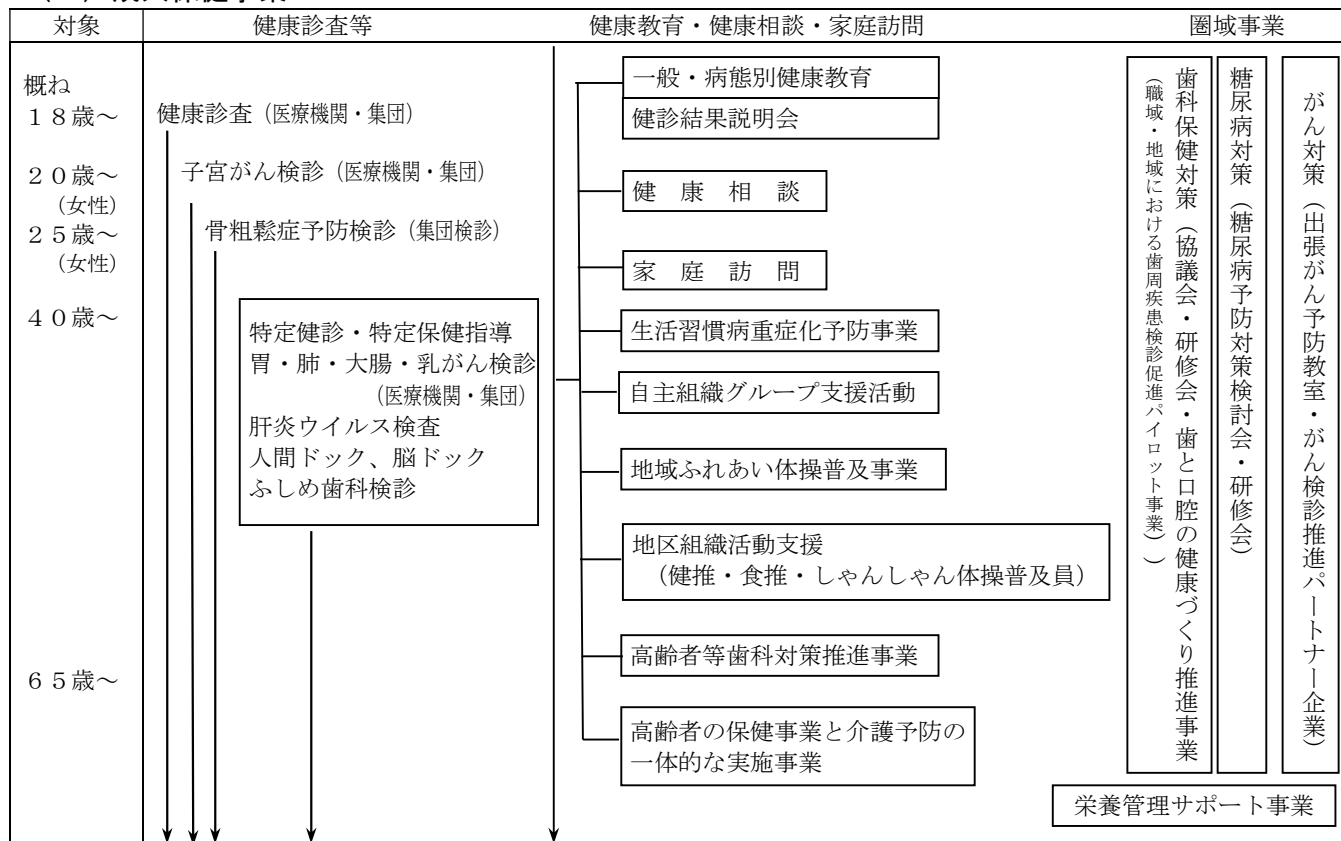
健康・子育て推進課に関する事業

1 保健事業一覧

(1) 母子保健事業



(2) 成人保健事業



2 母子保健事業

〔目的〕 「すべての子どもたちが健やかに育ち安心して子育てできるまち」の実現を目指す。

- 〔目標〕 ① 妊娠期からの継続した子育て支援と地域の支援団体のネットワーク化を推進する。
 ② 乳幼児期からのより良い生活習慣の確立を目指した指導の充実を図る。
 ③ 乳幼児期から就学までの発達支援体制の充実を図る。

事業名		内訳	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	
母子健康手帳交付 (交付場所での統計)	妊娠届出数		1,229	1,090	3	71	17	5	-	24	9	10	
	多胎		10	9	-	-	-	-	-	-	-	1	
妊婦相談(初回) (転入者含む)	来所 実		1,222	1,103	3	71	9	5	-	15	6	10	
	電話 実		55	31	-	3	8	1	-	9	3	-	
栄養食品支給 (対象：非課税世帯等)	妊産婦		10	10	-	-	-	-	-	-	-	-	
	乳児		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
訪問指導	妊産婦・新生児訪問 (乳児家庭全戸訪問含む)	妊婦 実	9	3	-	4	1	-	-	-	-	1	
		妊婦 延	24	4	-	14	5	-	-	-	-	1	
		産婦 実	1,255	840	16	285	18	10	7	51	18	10	
		産婦 延	1,290	860	17	286	19	10	7	63	18	10	
	新生児	新生児 実	1,265	836	17	286	18	10	8	51	28	11	
		新生児 延	1,290	863	19	287	18	10	8	56	18	11	
		乳児	乳児 実	25	16	-	7	-	1	-	1	-	-
			乳児 延	39	23	-	8	-	1	-	7	-	-
	乳幼児訪問 (健診後の個別対応等)	幼児	幼児 実	77	44	-	26	-	2	2	2	-	1
			幼児 延	99	61	-	28	-	3	4	2	-	1
		その他	その他 実	45	22	-	18	1	1	3	-	-	-
			その他 延	54	29	-	18	1	2	4	-	-	-
	再掲：未熟児		実	27	17	-	9	-	-	-	1	-	-
	計		実	2,676	1,761	33	626	38	24	20	105	46	23
延			2,796	1,840	36	641	43	26	23	128	36	23	
健康相談	来所相談	妊産婦 延	1,610	1,450	-	76	19	5	-	37	12	11	
		乳幼児 延	2,081	1,978	-	34	6	7	-	35	9	12	
		その他 延	48	23	-	2	-	3	-	6	8	6	
		計	3,739	3,451	-	112	25	15	-	78	29	29	
	電話相談	計 延	1,975	1,472	-	327	15	31	-	89	20	21	
	地域子育て相談	開催数	90	35	11	11	2	13	-	9	3	6	
		実人員	285	125	22	43	13	34	-	25	7	16	
延人員		430	142	76	47	13	39	-	67	15	31		

【地区(個別)・施設訪問相談】

妊産婦 延	乳幼児 延	未熟児 延	その他 延	合計
-	19	-	1	20

【健康診査】

事業名	内訳	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	
6か月児健康診査	回数	59	35		12	6			6			
	受診者数	1,252	810	17	298	28	16	4	50	17	12	
	フォロー数	294	192	5	74	8	5	1	6	1	2	
乳児精密健康診査 (精密医療機関委託)	受診者数	68	50		12	2	1	1	2	-	-	
ブックスタート (6か月児健診、訪問時配布等)	配布数	1,264	835		302	28	16	4	50	17	12	
	配布率	99.6%										
1歳6か月児健康診査	回数	60	36		12	6			6			
	受診者数	1,330	871	16	304	36	13	1	51	20	18	
	フォロー数	407	272	7	90	8	4	-	14	9	3	
	フッ素塗布者数	1,267	831	14	291	31	12	1	50	19	18	
1歳6か月児精密健康診査 (精密医療機関委託)	受診者数	36	25	-	7	-	-	-	3	1	-	
1歳6か月児追跡観察健診	受診者数	129	89		22	1			17			
2歳児歯科健康診査	回数	46	24		12	4			6			
	受診者数	1,185	763	14	275	25	13	3	53	22	17	
	受診率	89.1%										
	フッ素塗布者数	1,149	737	14	268	25	13	3	52	20	17	
3歳児健康診査	回数	58	36		12	4			6			
	受診者数	1,345	884	14	320	20	15	3	41	23	25	
	フォロー数	399	256	3	107	1	2	1	14	7	8	
3歳児精密健康診査 (精密医療機関委託)	受診者数	204	164	-	32	-	-	-	6	1	1	

*健康診査は住所地での統計である。

【医療機関委託健診】

	妊婦一般健康診査	妊婦健診時の子宮がん検診	歯科健診	産後健診	乳児健康診査	
					3~4か月	9~10か月
受診者数	延 17,294 ※内多胎 実2 延2	実 1,258 ※要精検者 24	579	実1,347 延2,502	1,244	1,208

【費用助成検査事業】

新生児聴覚検査
1,104 ※要観察者32

【地域支援会議】

事業名	内容	内訳	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	西地域
会議	地域子育て支援に関する会議	開催数	40	16	-	17	2	-	-	-	-	2	3
		延人員	418	157	-	197	15	-	-	-	-	12	37

【健康教育】

(地域子育て支援：全市)

事業名	ふたりっこクラブ	親子教室 ふれあい学級：りす	親子教室 ふれあい学級：ぞう	アトピーっ子教室
開催回数	8	12	11	2
延人数	134	124	97	41

(地域子育て支援：支所地域)

事業名	東地域 赤ちゃんサロン	南地域 親子ふれあい事業	西地域 育児セミナー
開催回数	11	3	4
延人数	118	27	84

【健康教育】

事業名	内容	内訳	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
離乳食講習会	離乳食講話と実演	開催数	43	24		11		4			4	
		延人員	444	337		65		19			23	
食育教室	幼児食教室・サークル	開催数	22	20	-	2	-	-	-	-	-	-
		延人員	148	138	-	10	-	-	-	-	-	-
	その他 (保・幼・小中高 その他)	開催数	3	-	-	1	-	-	-	-	1	-
		延人員	53	-	-	20	-	-	-	-	11	-
地域子育て支援	サークル等 (地区)	開催数	74	55	/	12		7		/	/	/
		延人員	1,017	772	/	145		100		/	/	/
	支援センター・児童館など	開催数	11	4	3	-	-	-	-	1	3	-
		延人員	117	54	22	-	-	-	-	14	27	-
	その他(ファミサポ等)	開催数	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-
		延人員	81	81	-	-	-	-	-	-	-	-
歯科教育	保育所・サークル等	開催数	26	19	/	4	1	/	/	1	/	1
		延人員	303	211	/	58	12	/	/	11	/	11
6歳臼歯保護推進	歯科医師講話、指導(各園)	開催園	41	26	1	8	2	1	1	1	-	1
		年長児	747	462	23	189	4	15	3	17	-	34
		保護者他	551	330	24	103	21	14	7	17	-	35
学校保健関係	講演等(小学校)	開催数	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
		実人員	45	-	-	45	-	-	-	-	-	-

(1) 子育て世代包括支援センター(こそだてらす)

○父親への妊婦体験：母子健康手帳交付時に父親を対象に妊婦スーツでの妊婦体験を実施(124人)

○全妊婦相談：全妊婦(1,277人 内転入48人含む)を対象に身体や生活面の相談にのる。

・質問票回答率(100%) ・妊婦相談(電話含む)の実施者(実施率100%)

○子育て包括支援会議：全妊婦相談を基に生活背景等を確認し、支援の必要性を検討する。

・ケース検討会議：59回(中央46回、東4回、西6回、南3回)

こそだてらす助産師、こども家庭相談センター(以下こ家相)保健師。各支所は保健師複数でも検討。

*関係機関と連携を図り、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供する。

令和4年度	要支援者数(率)	中央	福部	東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
要支援者妊婦(実)	296 (23.2%)	261	-	25	5	1	-	-	2	2
電話のみ希望者(実)	88 (7.2%)	79	-	6	-	-	-	3	-	-

<令和3年度 妊産婦・乳幼児支援の状況>(R3年4月1日~R4年3月31日母子健康手帳交付者・転入者)

支援開始時期	対象	妊娠期支援(R3.4~)				新生児訪問					6か月児健診(~R5.5受診)			備考			
		妊娠期支援	未実施理由	支援者			訪問	訪問者			継続支援		未受診				
				こそだてらす	保健師	こ家相		母子保健推進員	保健師	こ家相同伴	必要	不要					
母子健康手帳交付時等 479	要支援者 357	329 91.1%	電話つながらず13、電話できず6、出生・流産等9、	23	269	37	325	55	205	65	188	134	314	101	213	1	転出31 出生なし 26 未訪問4 など
	希望者 122	107 87.7%	電話つながらず10、電話できず2、出生・死産等3	95	12	-	108	84	23	1	31	77	115	28	87	1	
新生児訪問時 133							133	40	83	10	80	53	117	29	88	-	
							※1 91	37	50	4	51	40	83	17	66	-	
6か月児健診時 15													※2 15	12	3		

※1 再) エジンバラ質問票 事後有

※2 新生児訪問以後、支援対象となった方(産後ケア事業の利用等含む)

(2) 妊婦教室・産後健康健診

①妊婦教室

[目的] 産科医療機関では、感染症対策のため妊婦教室が開催されていない現状を受け、初めての出産を迎える妊婦を対象に妊娠・出産・育児に関する情報を提供し、また妊婦同士の交流を通して悩みや不安を軽減・解消する。

[回数] 6回 [参加者] 67人
 [内容] ミニ講話、実技(抱き方、おむつ交換)、グループワーク
 [個別] 12回(実11人)

②産後健康診査

[対象] 産後8週以内の褥婦に対し1人あたり1~2回実施する

2回の実施は医師及び助産師が受診が必要と認めた褥婦と受診を希望する褥婦

[受診状況]

【産後2週目】 ※2回実施のうち1回目の実施

【産後4週目】 ※産後健診1回のみ実施
 2回実施のうち2回目の実施

受診者数	再掲) 里帰り出産等で協力医療機関以外での受診者	受診者数	再掲) 里帰り出産等で協力医療機関以外での受診者
1,163	23	1,339	44

(単位:人)

(単位:人)

エジンバラ産後うつ病質問票点数	件数	再掲) 市町村の支援の必要性「有」
8点以下	1,026	46
9点	32	30
10点~14点	86	84
15~19点	14	13
20~24点	5	5
25点以上	-	-
合計	1,163	178

エジンバラ産後うつ病質問票点数	件数	再掲) 市町村の支援の必要性「有」
8点以下	1,241	121
9点	31	30
10点~14点	57	56
15~19点	8	8
20~24点	2	2
25点以上	-	-
合計	1,339	217

エジンバラ産後うつ病質問票のうち、下記項目の回答状況	件数	再掲) 市町村支援の必要性「有」
【10】自分自身を傷つけるという考えが浮かんできた		
はい、かなりしばしばそうだった	3	2
時々そうだった	5	5
めったになかった	51	46
全くなかった	1,104	125
合計	1,163	178

エジンバラ産後うつ病質問票のうち、下記項目の回答状況	件数	再掲) 市町村支援の必要性「有」
【10】自分自身を傷つけるという考えが浮かんできた		
はい、かなりしばしばそうだった	3	3
時々そうだった	11	11
めったになかった	25	24
全くなかった	1,300	179
合計	1,339	217

総合判定	件数
異常なし	994
経過観察	167
要精密検査	-
要治療	2
合計	1,163

精神科への紹介数
1

総合判定	件数
異常なし	1,178
経過観察	160
要精密検査	-
要治療	1
合計	1,339

精神科への紹介数	再掲) 1回目の健診時8点以下で支援不要とされた件数
4	2

(3) 訪問指導

①新生児訪問(乳児家庭全戸訪問事業含む)

[目的]

新生児期から生後満4か月までの乳児の家庭を訪問し、母子の状況や養育環境等を把握して子育てに関する助言および情報提供を行うことで、保護者が安心して子育てできるよう支援する。必要に応じて継続相談を受け、適切なサービスを提供し母子の孤立化を防ぐ。

【訪問状況】

対象数	訪問数	訪問率	再掲) 他市町への訪問依頼	未訪問理由	人数	訪問拒否の状況把握・対応	人数
1,273	1,243	97.6%	9	拒否	12	来所で母子と相談	7
				出生後早期の転出	7	保護者と面談し様子確認	3
				入院中	8	保護者や関係者に電話で様子確認	2
				その他	3	合計	12
				合計	30		

対象：令和3年12月~令和4年11月に出生した児(出生後の転入児含む)

②未熟児訪問指導(令和4年度中の養育医療申請児)

養育医療申請者	家庭訪問
37件(実33人)	26人

未訪問7人

未訪問の状況	人数
入院中・日程調整中	6
訪問拒否	1
合計	7

※未訪問理由のその他3には、施設入所2、産休後復職し、保育園入園のため母のみ来所で面談1

(4) 乳児の集い

①産後サロン～ひだまりサロン～（鳥取市保健所）

[目的]産後間もない母親と赤ちゃんが交流する場を作り、子育ての不安解消及び育児支援を行う。

[対象]中央地域で出生した赤ちゃんとも母親（第1子 7か月未満）

[スタッフ]助産師、保健師、子育てボランティア

[回数]12回（毎月1回）

[内容]計測、育児相談、母親同士の交流、ふれあい遊び等

参加者	核家族	実家が市外	要支援者	参加者の月齢（延）						
				1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	
実 128 組										
延 314 組	85.7%	29.6%	8組	6.7%	21.0%	22.0%	23.2%	20.4%	6.7%	

・参加者のうち、産後健康診査で支援が必要な人の割合は26.1%であった。

[アンケート]産後サロンでは児が6か月になる卒業時と1歳になる月にアンケートを実施している。

【卒業時アンケート】

・参加者の満足度は、「とても満足」が78.6%「まあまあ満足」が21.4%「やや不満」「不満」が0%「未記入」が4.8%であった。感想として、楽しかった、気分転換になった、1歳まであるサロンがあれば嬉しい等の意見があった。

【1歳アンケート】

・育児の悩みの内容は「育児に自信がもてない」が33.9%「子を持つ親同士の付き合いが苦手」が18.6%で、半数を占めていた。子どもと外出する良いきっかけとなったという意見もあった。

②赤ちゃんサロン(鳥取東保健センター)

[目的]地域の中で、安心して子育てできるよう保護者同士や地域とのつながりを持てる場所として開催。また、育児・栄養相談や保護者同士の交流等を通して、子育ての不安解消及び育児支援を行う。

[対象者]東地域で出生したお子さん（生後8か月までの第1子）とその保護者

[内容]毎月1回実施 ※1月は中止

ふれあい遊び、保護者同士の交流（座談会）、身体計測、育児相談、栄養相談

参加実人員	個別相談件数	初参加平均月齢	*中学校区… 国府中15組、桜ヶ丘中10組、東中16組 *8か月以降のお子さんについては、 地域のサークルや支援センターを紹介し、 地域へつなげていく場としている。
41組 (延114組)	育児：延22件 栄養：延12件	4.1か月	

[アンケート]初参加時とお子さんが1歳になる月に実施。

【初参加時アンケート】サロンへの参加動機として気分転換や保護者同士の交流、子育て情報の入手という意見が多かった。

【1歳アンケート】サロンでの紹介をきっかけに育児サークルや支援センターを利用された方が57%と、地域につなげていく場となっている。

③こんにちはの会（南部地域）

[目的]保護者同士の交流の場を持つことで、子育ての孤立化を防ぎ、地域とのつながりがもてる場とする。また、ふれあい遊びを通して、保護者が子どもとの関わり方・ふれあう楽しさを学べたり、計測や育児相談を通して、保護者の不安解消や育児支援の一助とする。

[対象者]離乳食講習会に参加する3～7か月児と保護者

[回数]3か月に1回（5，8，11，2月）

[内容]わらべうたやふれあい遊び、計測、育児相談、保護者同士の交流

	参加数（実）	参加率	参加者の状況として、第3子33.3%、第2子26.9%、第1子の参加率21.1%だった。南部地域以外の会場参加も加えると第1子の参加が一番多く47.4%だった。参加時の月齢は5か月と6か月が各37.5%と最も多かった。 ふれあい遊びは、参加された方全員が「とてもよかった。よかった。」と回答されていた。「こどもにこういう事をしてあげると喜んだり楽しいということがわかった」等感想にあり、「上の子のかかわりや、育児に自身が持てない」など悩みを抱えている保護者もふれあい遊びを通じて上の子とのかかわり方の参考になった等の声があった。
南部の合計	13組	25.5%	
河原	7組	22.2%	
用瀬	4組	25.0%	
佐治	2組	66.7%	
南部以外	2組	—	

(5) 6か月児健康診査

①一般健康診査

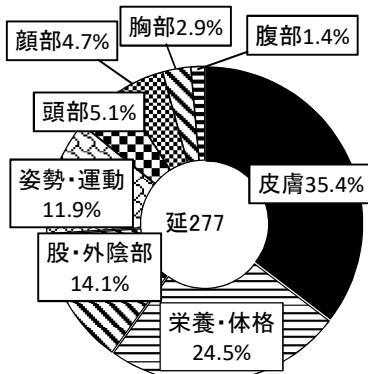
【受診者】

対象者数	1,269
受診者数	1,252
受診率	98.7%

【受診結果】

区分	健康	要経過観察	要精密	要治療	既医療
人数	1,008	70	72	11	91
	244				

【所見内容別受診結果】



* 有所見を区分別にみると、最も多いのは「皮膚」98件（35.4%）次いで「栄養・体格」が68件（24.5%）であった。

* 平成15年度から6か月児健診時にブックスタートが始まった。ボランティアや図書館のスタッフによる絵本の読み聞かせやわらべうたの後、絵本やアドバイス集を全員に配布している。未受診者にも訪問などで絵本を直接手渡すようにしており、鳥取市に生まれたすべての赤ちゃんが、親子で楽しいひとときを過ごせるように支援をしている。

②精密健康診査

【受診結果】

(単位：延人員)

区分	所見内容	対象者	受診者	異常なし	助言指導	追跡観察	要精密	要治療
栄養・体格	体重増加不良	18	14	1	-	11	1	1
	その他	11	10	-	-	6	3	1
皮膚	湿疹	-	-	-	-	-	-	-
	アトピー	-	-	-	-	-	-	-
	血管腫	1	1	-	-	-	-	1
	貧血	1	1	-	-	-	-	1
	その他	2	1	-	-	-	-	1
頭顔部	大頭	3	3	1	-	1	1	-
	斜視	3	3	-	2	-	1	-
	聴力	2	1	-	-	1	-	-
	その他	6	5	-	2	3	-	-
胸部	心雑音	-	-	-	-	-	-	-
	乳房腫大	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	1	1	-	-	-	-
腹部	ヘルニア	-	-	-	-	-	-	-
	肝腫大・脾腫	1	1	-	-	-	1	-
股・外陰部	股関節開排制限	14	13	9	1	1	1	1
	停留睾丸	3	3	1	-	-	-	2
	その他	12	11	7	-	2	-	2
姿勢・運動	姿勢運動の遅れ	1	1	1	-	-	-	-
	低緊張	3	2	1	-	1	-	-
	その他	5	3	-	1	2	-	-
合計		87	74	22	6	28	8	10
(実人員)		72	67					

* 精密健康診査の受診率は、93.1%であった。

【令和4年度配布絵本】

- 第1子用：「いないいないばあ」「くだもの」
- 第2子用：「ととけっこうよがあけた」「どうぶつのおかあさん」

差し替え用絵本：「じゃあじゃあびりびり」「よくきたね」「ぴょーん」「まてまてまて」「かんかんかん」「おつきさまこんばんは」「ごぶごぶごぼごぼ」「おひさまあはは」

③健診の未受診者状況

未受診理由	人
翌年度に受診	-
他受診（医療機関・他自治体）	4
児の病気・治療中・観察中	2
転出	4
家族の都合	6
連絡つかず	1
その他	-
合計	17

* 未受診者は17人（1.3%）であった。

* 未受診者には訪問・電話等で受診勧奨し、状況を把握するように努めている。



(6) 1歳6か月児健康診査

①一般健康診査

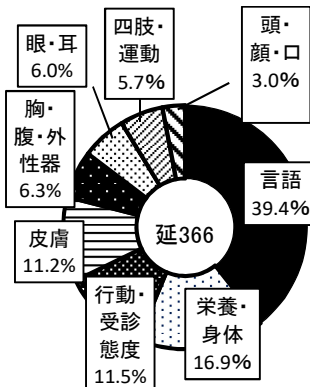
【受診者】

対象者数	1,340
受診者数	1,330
受診率	99.3%

【受診結果】

区分	健康	要追跡観察	要精密	要治療	既医療
人数	1,023	172	42	5	88
307					

【所見内容別受診結果】



* 有所見を区分別にみると、最も多いのは「言語」の144件(39.4%)次いで「栄養・体格」が62件(16.9%)であった。

【心理発達相談結果】

区分	相談者数	心理発達相談結果		
		特になし	助言指導	経過観察
人数	89	8	3	78

②精密健康診査

【受診結果】

(単位：延人員)

区分	所見内容	対象者	受診者	異常なし	助言指導	追跡観察	要精密	要治療
栄養・体格	低身長・小柄	9	8	1	-	4	2	1
	その他	-	-	-	-	-	-	-
皮膚	湿疹	1	-	-	-	-	-	-
	アトピー	-	-	-	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-
頭・顔・口	大頭	1	1	-	-	1	-	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-
胸腹部・外性器	心雑音	-	-	-	-	-	-	-
	ヘルニア	1	1	-	-	-	-	1
	停留睾丸	2	2	1	-	1	-	-
	その他(肝肥大、しこり)	5	4	2	1	1	-	-
四肢・運動機能	歩行	2	2	-	-	1	1	-
	運動発達の遅れ	1	1	-	-	-	1	-
	その他(0脚)	7	5	2	1	2	-	-
言語	言葉の遅れ等	9	6	-	-	4	2	-
行動	多動	-	-	-	-	-	-	-
発達	発達の遅れ等	3	2	-	1	1	-	-
眼・耳	斜視・眼瞼下垂	6	6	-	1	4	1	-
	聴力	1	-	-	-	-	-	-
	その他	1	1	-	-	-	-	1
合計		50	39	6	4	19	7	3
(実人員)		42	36					

*精密健康診査の受診率は85.7%であった。

③健診の未受診者状況

未受診理由	人
翌年度に受診	-
他受診(医療機関・他自治体)	-
児の病気・治療中・観察中	1
転出	-
家族の都合	7
連絡つかず	1
その他	1
合計	10

*未受診者は10人(0.7%)であった。

*未受診者には訪問・電話で受診勧奨し、状況を把握するように努めている。

(7) 1歳6か月児追跡観察診査(2歳児健康診査)

【受診者数】

対象者数	受診者数	(再掲) 2歳児心理発達相談
145	129	54

【受診理由】

区分	言語	理解	行動面	体格	歩行	その他
延人数	112	21	7	20	-	1

【受診結果】

区分	異常なし	要追跡観察	要精密	要治療	既医療
実人数	71	38	16	1	3

*受診理由として「言語」「理解」等の発達に関することが多く、健診時の心理相談又は健診終了後のカンファレンス等で経過観察が必要と思われる対象者に心理士による心理相談を主とした2歳心理発達相談を実施した。

(8) 3歳児健康診査

①一般健康診査

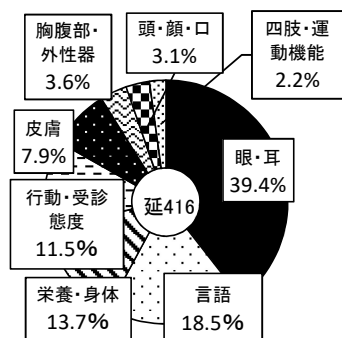
【受診者】

対象者数	1,362
受診者数	1,345
受診率	98.8%

【受診結果】

区分	異常なし	要追跡観察	要精密	要治療	既医療
人数	981	60	212	3	89
364					

【所見内容別受診結果】



*尿検査では、再検査の結果、追跡観察となった方が4名であった。
 *視力検査では、精密検査に該当する場合で後日保護者と相談して精密検査を紹介した方や、再検査の結果、精密検査を紹介した方があった。
 *有所見を区分別にみると、最も多いのは「眼・耳」の164件(39.4%)で、続いて「言語」の77件(18.5%)であった。

【心理発達相談結果】

区分	相談者数	心理発達相談結果		
		特になし	助言指導	経過観察
人数	94	5	16	73

②精密健康診査

【受診結果】

(単位：延人員)

区分	所見内容	対象者	受診者	異常なし	助言指導	追跡観察	要精密	要治療
栄養・体格	低身長・小柄	13	11	2	-	5	4	-
	肥満	1	-	-	-	-	-	-
	貧血	1	1	1	-	-	-	-
	その他	1	1	-	-	1	-	-
皮膚	湿疹	-	-	-	-	-	-	-
	その他	2	2	1	-	-	1	-
頭・顔・口	大頭	1	1	1	-	-	-	-
	その他	4	2	2	-	-	-	-
胸腹部・外性器	心雑音	1	1	1	-	-	-	-
	停留睾丸	2	2	1	-	-	-	1
	小陰唇癒着	1	-	-	-	-	-	-
	その他	2	1	-	-	-	-	1
四肢・運動	○脚、X脚、内反足	3	3	-	2	1	-	-
	歩行	1	-	-	-	-	-	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-
言語	言語の遅れ等	13	7	-	1	3	3	-
行動	多動等	4	1	-	-	-	-	1
発達	発達の遅れ等	7	3	-	-	2	1	-
眼・耳	斜視、乱視、視力	155	130	8	6	70	25	21
	聴力	32	16	8	-	2	4	2
	その他	1	-	-	-	-	-	-
尿	尿検査	5	5	1	-	4	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-
合計		251	187	26	9	88	38	26
(実人数)		212	163	*精密健康診査の受診率は、76.9%であった。				

③健診の未受診者状況

未受診理由	人
翌年度に受診・受診予定	3
他受診(医療機関・他自治体)	-
兄の病気・治療中・観察中	3
転出	-
家族の都合	9
連絡つかず	2
その他	-
合計	17

*未受診者には、訪問・電話等で受診勧奨をし、状況を把握するように努めている。

④視力検査器による視力検査

【受診結果】

	疾患名	異常なし	助言指導	追跡観察	精密検査	要治療	計(延)
検査器	乱視	2	-	18(1)	-	4	24(1)
	弱視	-	-	7(5)	14(12)	15(2)	36(19)
	遠視	2	-	3	1	-	6
	近視	-	-	-	-	-	-
	斜視	-	1	1	4(4)	-	6(4)
	異常なし	-	-	-	-	-	-
絵指標	乱視	1	2	8	-	-	11
	弱視	-	-	7(7)	3(2)	1	11(9)
	遠視	-	-	3	-	-	3
	近視	-	-	-	-	-	-
	斜視	-	-	-	1(1)	-	1(1)
	異常なし	-	-	-	-	-	-
両方	乱視	-	-	10(2)	-	1	11(2)
	弱視	1	-	2(2)	1(1)	7	11(3)
	遠視	-	-	-	-	-	-
	近視	-	-	-	-	-	-
	斜視	-	-	1	-	-	1
	異常なし	-	-	-	-	-	-
計(延)	乱視	3	2	36(3)	-	5	46(3)
	弱視	1	-	16(14)	18(15)	23(2)	58(31)
	遠視	2	-	6	1	-	9
	近視	-	-	-	-	-	-
	斜視	-	1	2	5(5)	-	8(5)
	異常なし	-	-	-	-	-	-

* ()は疑いのあるものを再掲。
 * 3歳児健康診査受診結果が要精密だった212人のうち、眼科領域で要精密となったのは164人(77.4%)であった。

乱視：両混合性乱視、両遠視性乱視、両近視性乱視等
 弱視：不同視弱視、屈折異常弱視等

(9) 健康相談・健康教育

①全市の発達相談事業

目的：乳幼児期の発達が気になりな児と保護者を対象に、保護者の不安軽減や児への発達支援を目的とし、医師、心理士、言語療法士による相談を実施している。

心理発達相談	心理士	来所相談			訪問相談					
		回数	実人数	延人数	回数	実人数	延人数			
		44	44	44	—	—	—			
ほほえみ相談	小児科医	回数	実人数	相談結果						
				助言	追跡観察	要医療	要精密	要療育		
	3	5	3	2	—	—	—			
	心理士	回数	実人数	相談結果						
助言				追跡観察	要医療	要療育				
3	5	—	3	2	—	—				
ことばの相談	言語聴覚士	回数	実人数	相談結果						
				助言	追跡観察	要医療	訓練紹介			
4	7	—	6	—	1	—				
年少児発達相談	心理士	回数	実人数	相談結果						
				助言	追跡観察	要医療	要療育			
7	7	—	5	1	1	—				
5歳児発達相談	小児科医	回数	実人数	相談結果				心理	就学相談	事後紹介 事後で医療紹介
				健康	助言	追跡観察	医療受診			
17	53	3	—	36	13	1	27	18	11	

< 5歳児発達相談 >

- ・鳥取市内の保育園、幼稚園に在園している年長児、年中児に案内を行った。
- ・参加者の内訳は、年長児30人、年中児23人であった。
- ・医師の診察所見の結果では、ADHD疑22人、ASD疑21人、MR疑9人、発達性強調運動障害疑2人
その他（構音障害、愛着障害疑、LD疑 等）14人であった。（重複あり）
- ・健診時に発達の心配を把握されていた児は1歳6か月児健診で26.4%、3歳児健診で41.5%あった。
- ・5歳児発達相談に園の先生が同伴された児は48人（90.6%）であった。

○5歳児発達相談事業検討会

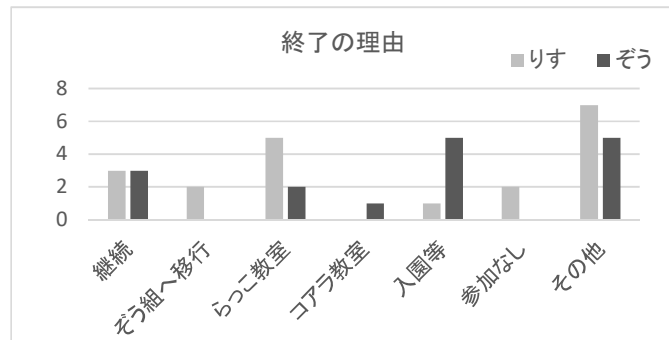
[日時・場所] 令和5年3月9日（木） 午後7時～8時 鳥取市役所駅南庁舎 地下第2会議室
 [参加者] 医師、こども発達支援センター所長、健康・子育て推進課長、保育士、心理士、保健師
 [内容] 5歳児発達相談の実施結果をもとに事業の振り返りを行い、実施方法や内容について検討した。事業の目的や次年度の実施体制を共有した。

②ふれあい学級（幼児学級）

健診等で要追跡観察となった幼児の発達支援と育児不安を抱える保護者支援を目的に、主に2歳前後をりす組、3歳前後をぞう組として月1回実施している。


	開催回数	対象者 実	参加者 実	参加者 延
りす組	各組月1回 (4月は合同開催)	40人 (20組)	38人 (19組)	124人 (62組)
ぞう組		32人 (16組)	31人 (15組と他1名)	97人 (50組と他1名)

*スタッフ：保育士、保健師、臨床心理士、言語聴覚士、こども発達支援センター・若草学園スタッフ



※コロナ禍であるため、昨年度同様時間短縮しての実施であったが、中止することなく毎月実施できた。（4月は合同実施）
 ※一般的に1歳台で入園する児が多いため、3歳児健診後に当教室に紹介となる場合は少なく、大半が1歳6か月児健康診査からの紹介であった。

③育児セミナー（西部地域）

ねらい	育児の知識や親同士の交流を深め、地域の中で温かく見守られることにより、安心して子育てができ、親子のふれあいを通して健やかな子育てに繋がるような支援の場とする。
対象	令和3年度生まれの児の保育に関わる方すべて(対象児：気高45人、鹿野12人、青谷16人)
参加者数	実15組(延32組) (再掲) 父親参加：実2組 (参加率：実15組/対象73組=20.5%)
内容 ※情報交換 を含む (毎回)	第1回：講演①「親と子の生活習慣」保健師 ②「子どもの心と身体を育てる食卓・食事」管理栄養士
	第2回：講演・実技「ベビーヨガリズム」 Fitness Ja-んぐる 健康運動実践指導者 岸田 真美氏
	第3回：講演「パパも一緒に 子育て親育ち」 家庭教育アドバイザー山田 節子氏、二児のパパ小原 良介氏
	第4回：講演・実技「みんなわが子☆じげの子☆地域の宝」 鳥取市西部地域の子育て支援者のみなさん (読み聞かせボランティア、主任児童委員、子育て支援センター職員、 子ども食堂ボランティア、図書館司書、ファミリーサポートセンター職員)
評価	<p>アンケート結果より、講演内容について「とても良かった」と回答した割合は全ての回で100%であった。第1回目では、アンケート自由意見より「家族の生活習慣も気を付けたい」「糖分摂取に気を付けたい」との感想があり、未満児の時期から糖質摂取を控えるよう啓発したことで、今後のこどもの食生活やむし歯予防など様々な面での効果が期待できる。また、子どもの生活習慣を通して大人の生活習慣も見直すきっかけになった。第2回目では、「体を動かしてリフレッシュできた」「室内でも簡単にできそうなので、家でもしてみようと思った」との感想があり、親自身の運動習慣の必要性等についても考える機会となったといえる。第3回目では、家庭教育アドバイザーより、親として大切にしたいこと、周りの方と一緒に子育てすることの大切さなどを伝えていただいた。子育て中の父親の体験談では、リアルな育児体験の話に加え、子が親を育てること、育児は周りに頼ってよいということも伝えていただいた。アンケート自由意見からは、「父親目線の気持ちを聞いてよかった」「父親の育児参加について共感できる点が多くあった」「色々な人に頼っても良いのだと思えて嬉しかった」等の感想があり、父母それぞれの気持ちを実感しながら子育てには親育ちも必要であることの気づきが得られる機会となったといえる。第4回目では、西部地域子育て支援者より活動のPRをしていただいた。アンケート自由意見からは、「チラシ情報だけでは頭に入らなかったが、実際に支援者の顔を見て話しが聞け、興味が湧いてとてもよかった」との感想があり、直接的に親子と地域の支援者が関わりをもつことで、親子が地域で子育てをしていくことに安心感を持つことができたといえる。また、子育て支援者としても、他の支援者の活動を知ったり、地域の親子の生の声や様子を聞くことができる機会となった。フリートークでは、「同じような悩みを共有できて安心した」との感想が多くあり、育児の悩みを共有する場の提供が保護者にとって安心や満足感につながる事が分かり、改めて共有の場の設定の必要性が示された。</p> <p>以上のことより、ねらいは達成できた。</p>
	<p>(第2回目「ベビーヨガリズム」の様子)</p> 

(10) 鳥取市の母子保健を取り巻く状況

①家族状況(令和2年国勢調査より)

	件数(戸)	%
核家族の割合	39,713	51.7

②母子健康手帳交付時の妊婦の週数と喫煙状況(令和4年度鳥取市母子管理カードより)

	満11週以内		満12～19週		満20～27週		満28週～分娩まで		分娩後		不詳	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
妊娠週数	1,187	96.6	33	2.7	6	0.5	3	0.2	0	0.0	0	0.0

	喫煙者数(人)	%
妊婦の喫煙状況	20	1.7

(1,229人中)

③出生時の状況(令和3年人口動態調査より)

	2,500g以上		2,500g未満		再)2,000g未満		不詳	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
出生体重	1,157	90.0	128	10.0	33	2.6	0	0.0

	第1児		第2児		第3児		第4児以降	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
出生順位	552	43.0	456	35.5	210	16.3	67	5.2

	20歳未満		20歳～24歳		25歳～29歳		30歳～34歳	
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
出産時の母の年齢	11	0.9	119	9.3	313	24.4	439	34.2
	35歳～39歳		40歳～44歳		45歳以上			
	329	25.6	73	5.7	1	0.1		

(1,285人中)

④乳幼児健診問診・アンケート項目より抜粋

項目	内容	6か月児健診		1歳6か月児健診		3歳児健診		
		実数	%	実数	%	実数	%	
昼間の主たる保育者	母	1,152	92.1	419	31.6	188	14.1	
	その他の家族	9	0.7	29	2.1	14	1.0	
	集団保育	89	7.1	873	65.7	1,110	82.6	
	その他	1	0.1	9	0.6	32	2.3	
事故で入院(受診)の有無	あり	41	3.3	5	0.4	14	1.0	
児のアレルギーの有無	あり	85	6.8	132	9.9	87	6.5	
児にテレビ(DVD・ゲーム・スマホ)はどのくらい見せているか	2時間以上	<p>令和4年度結果(テレビを見ている頻度)3健</p>		288	22.0	<p>令和4年度結果(テレビを見ている頻度)3健</p>		
	2時間未満			918	70.1			
	見せていない			104	7.9			
児へ絵本を読んであげる頻度	毎日	446	33.6	314	23.4			
	週3～4回	405	30.5	363	27.0			
	週1～2回	354	26.7	455	33.9			
	ほとんど読まない	122	9.2	211	15.7			
児の起床時間・就寝時間	起床時間	～7時			1,206	90.6	1,215	90.3
		8時			106	8.0	116	8.6
		9時～			18	1.4	15	1.1
	就寝時間	～20時			297	22.3	126	9.4
		21時			804	60.5	730	54.2
		22時～			229	17.2	490	36.4
同居家族の喫煙率	家族喫煙あり	485	38.7	609	46.0	545	40.5	
育児の楽しさ	楽しい	1,047	83.9	1,024	77.2	853	63.4	
	ときどき楽しくない	200	16.0	299	22.5	471	35.0	
	あまり楽しくない	1	0.1	4	0.3	21	1.6	
保護者の育児の悩み	悩みはない	195	15.6	<p>令和4年度結果(育児の悩み)6健</p>				
	悩んでも解決できる	868	69.5					
	悩んでいる	174	13.9					
	悩みたくない	12	1.0					

項目	内容	6か月児健診		1歳6か月児健診		3歳児健診	
		実数	%	実数	%	実数	%
母の産後の気持ちの落ち込み	あり						
	現在は症状がない	392	31.3				
現在も症状がある	46	3.7					
悩みや育児の相談者	あり	1,246	99.5	1,326	99.7	1,329	98.7
	内訳(延)						

⑤健やか親子21 アンケート項目抜粋

項目	内容	3~4か月児健診		1歳6か月児健診		3歳児健診	
		実数	%	実数	%	実数	%
産後1ヶ月間十分にケア・指導が受けられたか	はい	1,037	83.9	/		/	
	いいえ	27	2.2				
	どちらともいえない	172	13.9				
地域で子育てしていきたいか	そう思う	975	78.8	999	75.6	937	70.1
	どちらかといえばそう思う	228	18.4	286	21.7	362	27.1
	どちらかといえばそう思わない	27	2.2	25	1.9	35	2.6
	そう思わない	8	0.6	11	0.8	3	0.2
ゆったりとした気持ちで子育てをしているか	はい	1,140	91.8	1,082	81.8	1,056	78.6
	いいえ	17	1.4	29	2.2	45	3.4
	なんとも言えない	85	6.8	212	16.0	242	18.0
育てにくさを感じるか	いつも感じる	5	0.4	8	0.6	12	1.0
	時々感じる	127	10.2	238	18.0	388	29.0
	感じない	1,108	89.4	1,079	81.4	939	70.0
父親の育児への参加	よくやっている	899	73.5	909	70.8	877	68.7
	時々やっている	275	22.5	304	23.7	325	25.5
	ほとんどしない	23	1.9	39	3.1	46	3.6
	何ともいえない	26	2.1	31	2.4	28	2.2
妊娠中の飲酒	あり	3	0.2	/		/	
妊娠中の喫煙	あり	21	1.7				
現在の母の喫煙	あり	29	2.3	63	4.7	65	4.8
現在の父の喫煙	あり	378	30.8	418	9.7	402	30.0
家庭であったこと	内訳(延)						
	該当なし	1,140	94.9	1,091	82.0	949	71.3

<子育て環境>

*メディア視聴では、「2時間以上」が1歳6か月児健診で22.0%、3歳児健診では29.4%であった。また、就寝時間については、「22時以降」が1歳6か月児健診で17.2%、3歳児健診では36.4%であった。テレビ視聴の仕方や生活リズムを整えることの大切さについての啓発を、新生児訪問、集団教育等で引き続き行っていく。

*6か月児健診では、保護者の育児の悩みについて、69.3%の保護者が「悩んでも解決できる」一方で、「悩んでいる」が13.9%、「悩みたくない」が1.0%であった。また、気持ちの落ち込みで「現在も症状がある」と回答した方が3.7%であった。悩み・落ち込みの症状がある保護者に対してより丁寧な支援を今後も継続していく。

(11) 助成事業

① 特定不妊治療費等助成事業

子どもを授かりたいと願う夫婦を応援するため、不妊検査及び不妊治療、不育治療に要する経費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り治療しやすい環境を整えることを目的とする。

< 東部圏域委託（国県制度）事業（中核市） >

【不妊治療費（特定不妊治療・人工授精・不妊検査・不育症検査）助成】 (延件数)

区分	特定不妊治療助成	人工授精助成	不妊検査助成	不育症検査助成
鳥取市	213	18	53	-
4 町	25	2	4	-
計	238	20	57	-

< 単市事業 >

【不妊治療費（特定不妊治療・人工授精）追加助成事業】

区分	特定不妊	一般不妊
交付実人数	128	56
延件数	177	61

【不育症検査及び治療費助成交付事業】

交付実人数	9
延件数	9

② 小児慢性特定疾病

慢性疾患にかかっていることにより長期にわたり治療を必要とする児童等の健全な育成を図るため、その治療の確立と普及を図り、あわせて患児家庭の医療費の負担軽減を図ることを目的に医療費助成を行う。併せて地域の社会資源を活用して自立に向けた相談支援を行う。

【小児慢性特定疾病医療費助成】

審査会状況（件）

区分	受給者数 R5.3.31（人）	新規認定	更新	疾病 変更・追加	重症度変更
鳥取市	197	32	175	2	3
4 町	27	1	30	-	-
計	224	33	205	2	3

【小児慢性特定疾病自立支援事業】

令和元年度から小児慢性特定疾病自立支援員を配置。

案内通知にあわせてニーズ把握のためのアンケートを実施し、電話等で相談に応じている。

【小児慢性特定疾病交通費助成事業】

県外医療機関受診時の交通費の一部を助成

区分	実人数	延件数
鳥取市	30	58
4 町	2	5
計	32	63

3 成人保健事業

〔目的〕「健康寿命の延伸」と「生活の質の向上」を図るため、市民が主体的に健康づくりを
実践できるように支援する。

- 〔目標〕 ①鳥取市健康づくり計画「とっとり市民元気プラン2021」の推進。
②疾病の予防と健康増進を図る。
③各種健診の受診率向上及び事後指導の充実を図る。

(令和5年6月30日現在)

(単位:人)

事業名	内訳	合計	中央	国府	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷		
健康診査	特定健康診査	9,493	6,873	493	200	455	259	150	455	187	421		
	高齢者健康診査	5,636	4,125	376	63	249	144	114	192	81	292		
	その他健康診査	293	240	9	1	8	5	6	11	5	8		
	計	15,422	11,238	878	264	712	408	270	658	273	721		
肝炎ウイルス検査	集団	409	340	12	6	18	5	1	14	5	8		
	個別	780	608	43	5	24	20	8	26	16	30		
	計	1,189	948	55	11	42	25	9	40	21	38		
がん検診	胃	集団X線	1,944	1,310	87	61	119	66	31	112	37	121	
		個別X線	357	247	10	13	21	5	4	22	17	18	
		個別内視鏡	13,087	10,136	683	169	515	273	211	528	245	327	
		計 (受診率)	15,388 26.7%	11,693	780	243	655	344	246	662	299	466	
	肺	集団	3,471	2,248	163	140	225	154	95	176	94	176	
		個別	13,847	10,495	813	176	486	283	196	566	251	581	
		計 (受診率)	17,318 30.0%	12,743	976	316	711	437	291	742	345	757	
	大腸	集団	3,737	2,590	163	108	210	139	81	181	80	185	
		個別	13,055	9,959	687	179	489	264	187	557	253	480	
		計 (受診率)	16,792 29.1%	12,549	850	287	699	403	268	738	333	665	
	子宮	集団	3,193	2,327	180	65	134	84	60	159	57	127	
		個別	6,891	5,585	307	95	219	112	39	257	130	147	
		計 (受診率)	10,084 36.2%	7,912	487	160	353	196	99	416	187	274	
		(再掲) 同時 体部 後日	274 127	226 100	11 3	- 1	10 6	8 4	1 3	9 5	- 3	9 2	
	乳	集団	2,417	1,787	118	47	94	82	43	120	44	82	
		個別	3,167	2,561	128	47	99	47	18	124	54	89	
		計 (受診率)	5,584 29.8%	4,348	246	94	193	129	61	244	98	171	
	人間ドック	計	3,150	2,165	156	87	188	73	76	165	85	155	
	脳ドック	計	512	383	19	12	32	12	7	15	8	24	
	骨	集団	1,141	682	70	32	61	75	38	87	27	69	
	特定保健 指導	対象者数	943	685	37	27	53	22	18	49	17	35	
		利用者数	302	208	2	11	24	7	12	15	10	13	
	支援別 内訳	積極的	対象者	211	158	6	8	10	4	4	8	2	11
			利用者	38	29	-	2	2	-	1	1	1	2
動機付		対象者	732	527	31	19	43	18	14	41	15	24	
		利用者	264	179	2	9	22	7	11	14	9	11	

※がん検診の対象者数は、令和2年国勢調査より引用。

※子宮がん・乳がん検診の受診率は、2年に1回の受診率（国の算定方式による）で算出。

※成人の各種健診事業は、中央および各支所ごとの受診人員で表す。

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

事業名		内訳	合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	
成人・高齢者	健康教育	地区	回数	314	111	27	15	28	46	39	15	20	13
			延人員	4,558	2,426	218	272	258	480	444	136	160	164
		ブロック	回数	29	-	-	12	5			12		
			延人員	225	-	-	96	73			56		
	保健指導	来所	155	59	7	23	31	8	8	12	0	7	
		電話	371	121	3	54	118	25	5	35	3	7	
	健康相談	回数	216	35	13	31	16	39	59	5	7	11	
		延人員	2,714	1,232	69	274	71	362	582	31	28	65	
	訪問指導	延人員	586	421	5	53	13	10	68	10	3	3	
	地域ふれあい 体操普及事業 (しゃんしゃん体操)	継続実施	実施箇所	55	55								
実人員			758	758									
単発実施		回数	46	46									
		実人員	717	717									
栄養改善	健康教育	回数	12	8	-	1	-	2	-	-	-	1	
		延人員	147	104	-	12	-	20	-	-	-	11	
	栄養相談	来所	22	22									
		電話	58	58									
歯科保健	健康教育	回数	9	4	-	-	1	-	2	-	1	1	
		延人員	60	34	-	-	7	-	12	-	3	4	
	健康相談	回数	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
		延人員	11	-	-	-	-	-	11	-	-	-	
	ふしめ	40～70歳	実人員	316	202	6	72	4	5	2	12	4	9
	高齢者 歯科 対策	寝たきり、高齢者施設等	訪問(人)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			施設(回)	18	18	-	-	-	-	-	-	-	-
施設(人)			78	78	-	-	-	-	-	-	-	-	
精神保健	訪問指導	実人員	112	59	2	12	9	7	9	9	1	4	
		延人員	214	87	22	14	12	25	28	18	4	4	
	来所・電話メール相談	件数	1,278	552	18	42	83	92	41	284	34	132	

(1) 国保特定健康診査(中途国保含む)

(令和5年6月30日現在)

①受診者及び指導区分等の状況

(単位:人)

	健康診査受診者数(年度中)	健康診査受診者数		保健指導区分別実人員				メタボ判定			
		個別健診	集団健診	保健指導非対象者	服薬中により保健指導対象外	動機付け支援	積極的支援	基準該当	予備群該当		
合計	9,493	8,042	1,451	3,450	5,100	732	211	1,932	972		
割合	-	84.7%	15.3%	36.3%	53.7%	7.7%	2.2%	20.4%	10.2%		
全 市	男	40歳～	276	197	79	149	44	23	60	56	49
		50歳～	350	271	79	139	111	31	69	94	63
		60歳～	328	269	59	108	162	18	40	120	49
		65歳～	1,133	996	137	299	675	159	-	388	193
		70歳～	2,108	1,866	242	483	1,389	236	-	704	336
		計	4,195	3,599	596	1,178	2,381	467	169	1,362	690
		割合	-	-	-	28.1%	56.8%	11.1%	4.0%	32.5%	16.4%
	女	40歳～	237	159	78	192	17	17	11	13	13
		50歳～	387	297	90	257	90	21	19	39	24
		60歳～	582	456	126	322	218	30	12	46	34
		65歳～	1,517	1,262	255	653	777	87	-	150	76
		70歳～	2,575	2,269	306	848	1,617	110	-	322	135
		計	5,298	4,443	855	2,272	2,719	265	42	570	282
		割合	-	-	-	42.9%	51.3%	5.0%	0.8%	10.8%	5.3%
中央	6,873	5,901	972	2,573	3,615	527	158	1,396	722		
国府	493	428	65	169	287	31	6	116	32		
福部	200	142	58	75	98	19	8	38	23		
河原	455	353	102	150	252	43	10	97	53		
用瀬	259	190	69	78	159	18	4	55	16		
佐治	150	113	37	61	71	14	4	27	17		
気高	455	390	65	168	238	41	8	72	54		
鹿野	187	169	18	70	100	15	2	38	21		
青谷	421	356	65	106	280	24	11	93	34		

*未受診者に対し、勸奨資材の送付や個別訪問や電話による受診勧奨を実施した。東部医師会、薬剤師会に健診受診勧奨の協力依頼、商業施設や公共施設等でポスター掲示やチラシ設置による受診勧奨に努めた。

②主な検診項目別人員

(単位:人)

	高血圧症予備群	高血圧症有病者	脂質異常	糖尿病予備群	糖尿病有病者	貧血要指導者を含む	肝機能要指導者を含む	尿検査異常者	たばこ		
									吸っていない	吸っている	
合計	1,197	5,255	5,816	4,033	1,319	1,702	2,574	830	8,486	1,007	
割合	12.6%	55.4%	61.3%	42.5%	13.9%	17.9%	27.1%	8.7%	89.4%	10.6%	
全 市	男	503	2,552	2,417	1,833	778	514	1,634	532	3,332	863
	割合	12.0%	60.8%	57.6%	43.7%	18.5%	12.3%	39.0%	12.7%	79.4%	20.6%
	女	694	2,703	3,399	2,200	541	1,188	940	298	5,154	144
割合	13.1%	51.0%	64.2%	41.5%	10.2%	22.4%	17.7%	5.6%	97.3%	2.7%	
中央	875	3,695	4,218	2,876	908	1,274	1,808	574	6,171	702	
国府	58	310	332	205	78	150	154	59	437	56	
福部	35	109	120	81	34	26	62	13	168	32	
河原	59	268	257	216	63	51	138	42	402	53	
用瀬	24	170	149	108	50	25	87	31	229	30	
佐治	18	92	88	68	18	21	41	11	132	18	
気高	58	248	271	209	70	55	122	39	400	55	
鹿野	19	112	114	92	18	21	56	12	168	19	
青谷	51	251	267	178	80	79	106	49	379	42	

*有所見者割合は、高血圧、脂質異常、高血糖は前年度同様に、いずれも5～6割を占めている。

*昨年度と比較し、有所見者割合は高血圧で0.4ポイント増加、脂質異常1.6ポイント年々増加傾向であり、今後も生活習慣病予防対策に取り組んでいきたい。

③特定健康診査の目標値および実績

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込)
目標値	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%
実績	34.7%	34.8%	32.9%	33.8%	33.9%

※第3期国保特定健康診査等実施計画に基づく目標値。

平成30年度～令和3年度実績は法定報告（毎年11月末に確定）。

④受診者数の年次推移

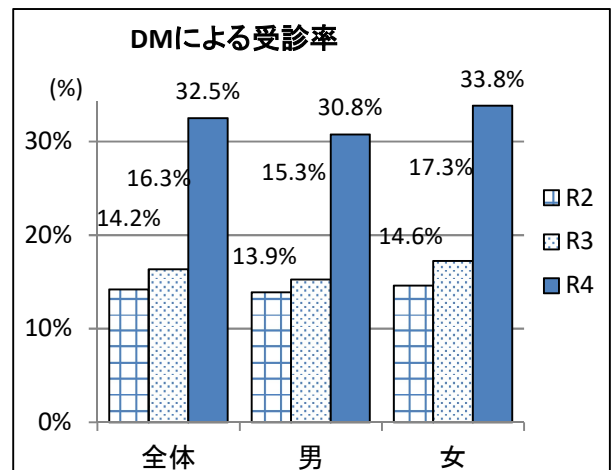
年齢		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度 (R5.6.30時点見込数)	
		受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)
40-49歳	男性	258	14.8%	270	16.2%	259	15.5%	290	16.5%	276	
	女性	255	20.2%	235	19.2%	216	18.2%	236	18.1%	237	
	小計	513	17.1%	505	17.5%	475	16.6%	526	17.1%	513	
50-59歳	男性	282	16.6%	287	16.8%	298	17.2%	306	17.0%	350	
	女性	371	23.7%	342	22.5%	330	22.2%	385	24.3%	387	
	小計	653	20.0%	629	19.5%	628	19.5%	691	20.3%	737	
60-69歳	男性	1,942	34.0%	1,772	34.1%	1,529	32.5%	1,543	31.0%	1,461	
	女性	2,758	40.1%	2,586	40.8%	2,145	37.1%	2,171	36.9%	2,099	
	小計	4,700	37.3%	4,358	37.8%	3,674	35.0%	3,714	36.1%	3,560	
70-74歳	男性	1,661	40.2%	1,803	39.7%	1,870	37.8%	2,121	38.4%	2,108	
	女性	2,034	44.9%	2,154	43.7%	2,249	41.0%	2,554	41.4%	2,575	
	小計	3,695	42.6%	3,957	41.8%	4,119	39.5%	4,675	40.0%	4,683	
男性合計		4,143	31.2%	4,132	31.5%	3,956	30.3%	4,260	30.9%	4,195	
女性合計		5,418	38.1%	5,317	38.0%	4,940	35.4%	5,346	36.5%	5,298	
総計		9,561	34.7%	9,449	34.8%	8,896	32.9%	9,606	33.8%	9,493	

⑤特定健診未受診者勧奨の実績

*受診勧奨通知（DM）

キャンサースキャンと協働で勧奨対象者を抽出し、比較的受診行動に繋がりがやすいと考えられる5,000人に発送。対象者は受診歴や質問票から5つのセグメントに分け、それぞれにナッジ理論を用いた勧奨はがきを送付した。

対象者5,000人中、男性667人（30.8%）、女性958人（33.8%）の計1625人（32.5%）が受診につながった。未受診者勧奨としては一定の成果が得られたが、受診総数は減少しており、今後も受診率向上に向け、通知やあらゆる側面での対策が必要である。



*看護師による未受診者訪問

受診率の低い地区等、2地区を選定し受診勧奨を実施した。対象者612人中、271人に訪問し、25人が特定健診受診につながった。健診未経験者が半数近く含まれており、特に健診未経験者には訪問による直接的な受診勧奨の効果があつたと考えられる。

アプローチした中で「医療機関に通院中で特定健診の受診は考えていない」という人が4割近くあつた。治療中の人へも重症化予防のため健診受診を勧め、通院中でも特定健診受診につながるよう効果的な方法を検討していきたい。

(2) 特定保健指導

① 特定保健指導の目標値および実績

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度（見込）
目標値	45.0%	47.5%	50.0%	52.5%	55.0%
利用率	40.3%	37.6%	36.0%	30.1%	32.0%
実施率	39.7%	38.3%	35.4%	31.3%	-

※平成30年度～令和3年度実績は法定報告（毎年11月末確定）。

② 実施状況の年次推移

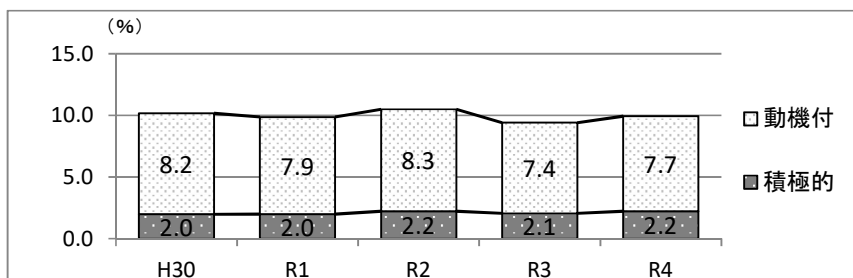
・利用者数

支援別	平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度（見込）		
	対象者数	利用人数	利用率	対象者数	利用人数	利用率	対象者数	利用人数	利用率	対象者数	利用人数	利用率	対象者数	利用人数	利用率
受診者数	9,561人			9,449人			8,896人			9,606人			9,493人		
積極的	189	40	21.2%	188	28	14.9%	197	35	17.8%	197	39	19.8%	211	38	18.0%
動機付	784	352	44.9%	744	322	43.3%	736	301	40.9%	707	233	33.0%	732	264	36.1%
合計	973	392	40.3%	932	350	37.6%	933	336	36.0%	904	272	30.1%	943	302	32.0%

※平成30年度～令和3年度は法定報告。令和4年度は令和5年6月30日現在。

* 令和4年度利用者数は前年度と比較して30人増加した。コロナ禍であったが、オンライン面接希望者は少なかった。今後も対象者のニーズを把握しながら利用につながる対策を講じていきたい。

・支援別対象者割合

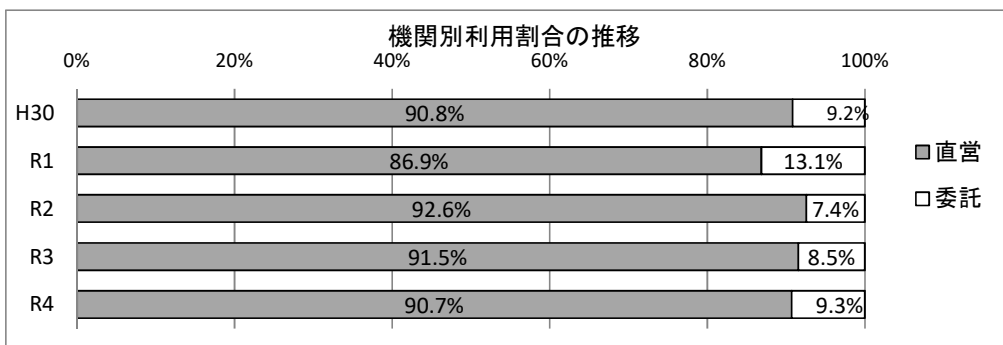


※R4は見込み

・機関別利用者数および総支援回数

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度（見込）	
	直営	委託	直営	委託	直営	委託	直営	委託	直営	委託
積極的	32	8	21	7	28	7	32	7	28	10
動機付	324	28	283	39	283	18	217	16	246	18
計	356	36	304	46	311	25	249	23	274	28
総計	392		350		336		272		302	
総支援回数	1,125		1,040		835		750		832	

※平成30年度～令和3年度は法定報告。令和4年度は令和5年6月30日現在。



* 委託機関でも健診時の利用勧奨に取り組んでいただいているが、令和4年度の利用者は横ばいである。

③令和4年度特定保健指導（直営）の実施状況（令和4年9月～令和5年6月実施）

（令和5年6月30日現在）

【方法と会場別実績】

《直営教室》

教室名	会場	クール数	全回数	実人数	積極的 (人)	動機付 (人)
減らせ内臓脂肪教室	さわやか会館	3	9	26	-	26

* 3回シリーズ×3クール

《直営個別相談》

(単位：人)

		中央	鳥取東	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	合計
積極的	実人数	19	3	2	1	-	1	-	-	2	28
	内：来所	17	3	1	-	-	1	-	-	1	23
	内：訪問	2	-	1	1	-	-	-	-	1	5
動機付	実人数	145	16	8	8	6	11	8	8	10	220
	内：来所	52	10	3	6	5	10	4	2	5	97
	内：訪問	93	6	5	2	1	1	4	6	5	123
合計		164	19	8	9	6	12	8	8	12	248

* 令和4年度の個別相談利用者は前年度と比較して積極的支援は10人少なかったが、動機付支援は23人増えた。コロナ禍であることや働く世代の利用促進にオンライン相談を開設したが利用者は1名であった。今後は更に対象者のニーズ把握や案内方法等を検討し、利用促進に努めたい。

《運動教室（特定保健指導利用者のフォロー教室）について》

（令和4年4月～令和5年3月の利用状況）

教室名	会場	全実施回数	延利用人数	実利用人数	積極的 (人)	動機付 (人)
スタイルアップ教室	さわやか会館	72	365	39	1	38

* 令和4年度も感染症予防対策として1回平均出席10名以下となるように3グループ制で実施した。実利用人数は前年度と比較し減少している。

【対象者への利用勧奨実績】

(単位：人)

		中央	鳥取東	福部	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	合計
積極的	訪問・面接	26	29	8	1	2	3	2	1	7	79
	電話・手紙	84	6	-	7	2	1	-	-	-	100
	本人申込他	8	5	-	-	-	-	1	1	-	15
動機付	訪問・面接	94	94	10	25	11	13	11	7	14	279
	電話・手紙	263	27	5	14	6	1	17	3	2	338
	本人申込他	41	13	2	2	1	-	3	3	3	68
合計		516	174	25	49	22	18	34	15	26	879

《利用勧奨・状況把握結果》

	積極的	動機付	計
利用：本人申込他	13	58	71人
利用：訪問電話等	25	206	231人
利用しない	120	354	474人
検討中	5	16	21人
不在	31	51	82人
割合			
状況把握総数	194	685	879人
利用勧奨者数	181	627	808人
(内：意向把握割合)	(82.9%)	(91.9%)	(89.9%)

《訪問・電話等で利用につながった割合》

	勧奨者	利用者	利用率	計	利用者に占める割合
積極的	179	25	14.0%	29.0%	76.5%
動機付	617	206	33.4%		

《利用しない理由》（n=475人）

理由の内訳	人数	割合
自分で取り組む	181	38.2%
通院中・主治医に相談する	130	27.4%
関心がない・必要がない	94	19.8%
仕事や家族看護等で多忙等	69	14.6%

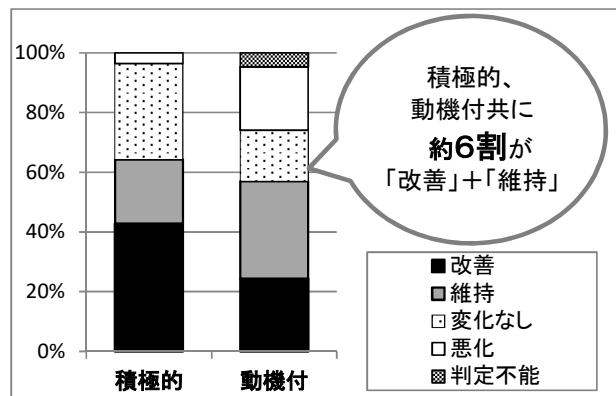
* 令和4年度は対象者の85.8%にアプローチし、勧奨者の89.9%の意向を把握することができた。結果、勧奨者の29.0%が利用につながった。利用しない理由は「自分で取り組む」が38.2%と一番多かった。今後も対象者の健診結果に基づき、利用しないケースにも生活改善のために必要な助言を、受療域のケースには受療勧奨もしながら自らの健康に対する意識が向上できるよう支援していきたい。

④令和3年度 特定保健指導の評価 (直営+委託)

・ 令和3年度特定保健指導利用者の令和4年度健診結果

《メタボ判定の変化》

令和4年度 受診者数		2年連続 受診割合		人数	割合
積極的 46人	28人 (内: 服薬 開始2人)	60.9%	改善	12	42.9%
			維持	6	21.4%
			変化なし	9	32.1%
			悪化	1	3.6%
			計	28	
動機付 238人	193人 (内: 服薬 開始27人)	81.1%	改善	47	24.4%
			維持	63	32.6%
			変化なし	33	17.1%
			悪化	41	21.2%
			判定不能	9	4.7%
			計	193	



※「維持」はメタボ判定が[非該当]⇒[非該当]および[予備群]⇒[予備群]、「変化なし」は[基準該当]⇒[基準該当]、「判定不能」は腹囲測定未実施者

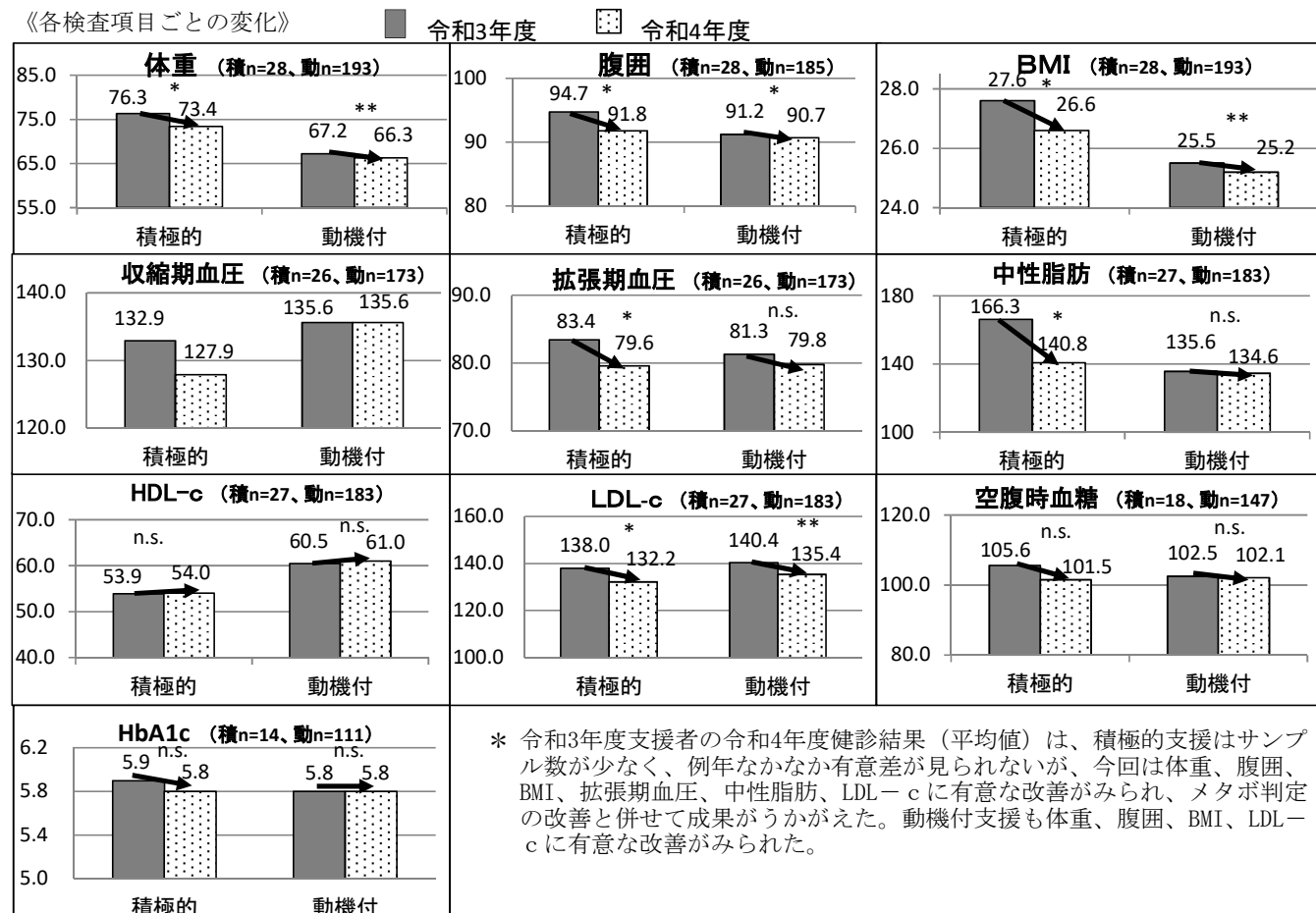
* 令和3年度に特定保健指導を受けた人の令和4年度特定健診のメタボ判定を見ると、積極的は改善が約4割、維持を含めると6割を占めた。動機付は改善は約2割、維持を含めると約6割を占めたが、悪化が2割あった。

《健診結果の改善効果 (平均値)》

		体重 (kg)	腹囲 (cm)	BMI	収縮期 血圧 (mmHg)	拡張期 血圧 (mmHg)	中性脂肪 (mg/dl)	HDL-c (mg/dl)	LDL-c (mg/dl)	空腹時 血糖 (mg/dl)	HbA1c (%)
積極的	R3	76.3	94.7	27.6	132.9	83.4	166.3	53.9	138.0	105.6	5.9
	R4	73.4	91.8	26.6	127.9	79.6	140.8	54.0	132.2	101.5	5.8
	平均値差	-2.9	-2.9	-1.0	-5.0	-3.8	-25.5	0.1	-5.8	-4.1	-0.1
	有意差	*	*	*	n. s.	*	*	n. s.	*	n. s.	n. s.
動機付	R3	67.2	91.2	25.5	135.6	81.3	135.6	60.5	140.4	102.5	5.8
	R4	66.3	90.7	25.2	135.6	79.8	134.6	61.0	135.4	102.1	5.8
	平均値差	-0.9	-0.5	-0.3	0.0	-1.5	-1.0	0.5	-5.0	-0.4	0.0
	有意差	**	*	**	n. s.	n. s.	n. s.	n. s.	**	n. s.	n. s.

※検定方法: 対応のある t 検定 ** : p < 0.01 * : p < 0.05 n. s. : 有意差なし

《各検査項目ごとの変化》



* 令和3年度支援者の令和4年度健診結果 (平均値) は、積極的支援はサンプル数が少なく、例年なかなか有意差が見られないが、今回は体重、腹囲、BMI、拡張期血圧、中性脂肪、LDL-c に有意な改善がみられ、メタボ判定の改善と併せて成果がうかがえた。動機付支援も体重、腹囲、BMI、LDL-c に有意な改善がみられた。

(3) 肝炎ウイルス検査

(令和5年6月30日現在)

①一次検診及び精密検査結果

(単位：人)

		受診者数	一次検診			精密検査											
			検査結果			受診者数	B型					受診者数	C型				
			正常	B+	C+		結果	キャリア	慢性肝炎	その他	肝がん疑		がん	結果	キャリア	慢性肝炎	その他
総合計		1,189	1,182	6	1	4	4	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
全市	合計	男	546	543	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	643	639	3	1	3	3	-	-	-	-	1	-	1	-	-
	40歳～	男	117	117	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	221	221	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	45歳～	男	52	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	67	67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50歳～	男	33	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	70	70	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55歳～	男	40	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	43	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	60歳～	男	83	82	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	88	86	2	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	65歳～	男	108	107	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	64	63	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
70歳～	男	113	112	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	90	89	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
中央	男	417	414	3	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	531	529	1	1	1	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
国府	男	27	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	28	26	2	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福部	男	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
河原	男	20	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	22	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
用瀬	男	14	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	11	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐治	男	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
気高	男	21	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	19	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿野	男	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	13	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青谷	男	25	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	13	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

②定期検査結果

(単位：人)

		対象者数	受診者数	B型					C型						
				結果					対象者数	受診者数	結果				
				キャリア	慢性肝炎	その他	肝がん疑	がん			キャリア	慢性肝炎	その他	肝がん疑	がん
総合計		372	180	141	33	5	1	-	113	49	12	5	31	-	1
全市	男	150	70	49	17	4	-	-	32	15	3	-	11	-	1
	女	222	110	92	16	1	1	-	81	34	9	5	20	-	-
中央		235	118	96	18	3	1	-	38	13	2	-	10	-	1
国府		43	20	15	3	2	-	-	4	7	-	-	7	-	-
福部		16	4	2	2	-	-	-	29	10	3	1	6	-	-
河原		17	10	9	1	-	-	-	5	2	-	1	1	-	-
用瀬		17	10	7	3	-	-	-	21	7	3	-	4	-	-
佐治		11	6	4	2	-	-	-	12	8	4	3	1	-	-
気高		10	2	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿野		11	5	4	1	-	-	-	3	2	-	-	2	-	-
青谷		12	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(4) 胃がん検診

(令和5年6月30日現在)

①胃X線検診結果 (一次検診及び精密検査結果)

(単位:人)

	一次検診				精密検査									胃X線がん 発見率
	受診者数 (受診率)	結果		受診者数	精検受診率	結果								
		異常なし	(要精検)			異常なし	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	その他	がん疑い	がん		
総合計	2,301 (4.0)	2,177	124 (5.39)	102	82.3	12	17	4	5	59	-	5	0.22	
全市 (胃X線)	合計	882	823	59	50	84.7	5	2	4	4	32	-	3	0.34
	男女	1,419	1,354	65	52	80.0	7	15	-	1	27	-	2	0.14
	40歳~	142	137	5	3	60.0	1	1	1	-	-	-	-	-
	男女	350	345	5	4	80.0	-	1	-	1	2	-	-	-
	50歳~	124	119	5	3	60.0	-	-	-	-	2	-	1	0.81
	男女	265	254	11	9	81.8	2	5	-	-	2	-	-	-
	60歳~	289	270	19	15	78.9	2	1	2	-	9	-	1	0.35
	男女	438	419	19	14	73.7	3	3	-	-	7	-	1	0.23
	70歳~	285	259	26	25	96.2	2	-	1	3	18	-	1	0.35
	男女	305	279	26	21	80.8	2	4	-	-	15	-	-	-
	80歳~	42	38	4	4	100.0	-	-	-	1	3	-	-	-
	男女	61	57	4	4	100.0	-	2	-	-	1	-	1	1.64
	集団検診	728	682	46	42	91.3	5	1	4	2	29	-	1	0.14
	男女	1,216	1,172	44	36	81.8	4	8	-	-	22	-	2	0.16
個別検診	154	141	13	8	61.5	-	1	-	2	3	-	2	1.30	
男女	203	182	21	16	76.2	3	7	-	1	5	-	-	-	
中央	男女	581	541	40	33	82.5	5	2	3	3	18	-	2	-
国府	男女	976	931	45	38	84.4	5	11	-	-	21	-	1	-
福部	男女	29	27	2	2	100.0	-	-	-	-	1	-	1	-
河原	男女	68	65	3	1	33.3	-	-	-	-	1	-	-	-
用瀬	男女	27	26	1	1	100.0	-	-	-	-	1	-	-	-
佐治	男女	47	44	3	1	33.3	-	-	-	1	-	-	-	-
気高	男女	62	61	1	1	100.0	-	-	-	-	1	-	-	-
鹿野	男女	78	74	4	3	75.0	1	1	-	-	-	-	1	-
青谷	男女	30	24	6	6	100.0	-	-	-	-	6	-	-	-
	男女	41	39	2	2	100.0	-	1	-	-	1	-	-	-
	男女	17	16	1	1	100.0	-	-	-	-	1	-	-	-
	男女	18	17	1	1	100.0	-	1	-	-	-	-	-	-
	男女	55	50	5	3	60.0	-	-	1	-	2	-	-	-
	男女	79	75	4	3	75.0	-	-	-	-	3	-	-	-
	男女	25	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男女	29	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男女	56	53	3	3	100.0	-	-	-	1	2	-	-	-
	男女	83	80	3	3	100.0	1	1	-	-	1	-	-	-

※検診対象者数 57,633人

②無料クーポン事業:再掲(胃X線・胃内視鏡)

(単位:人)

	一次検診				精密検査									がん発見率	
	受診者数 (受診率)	(再掲)		結果		受診者数	精検受診率	結果							
		初回受診者数	初回の割合	異常なし	(要精検)			異常なし	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	その他	がん		
合計	1,306 (11.1)	808	61.9%	1,295	11 (0.84)	9	81.8	1	2	1	1	4	-	-	
全市	41歳	194	166	85.6%	191	3	100.0	1	1	1	-	-	-	-	
	46歳	253	207	81.8%	250	3	66.7	-	1	-	1	-	-	-	
	51歳	263	172	65.4%	262	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	56歳	222	94	42.3%	220	2	100.0	-	-	-	-	2	-	-	
	61歳	374	169	45.2%	372	2	100.0	-	-	-	-	2	-	-	
	集団検診	267	136	50.9%	259	8	6	75.0	1	-	1	-	4	-	-
	個別検診	1,039	672	64.7%	1,036	3	3	100.0	-	2	-	1	-	-	-

※検診対象者数 11,753人

(令和5年6月30日現在)

③胃内視鏡検診結果（一次検診結果）

(単位：人)

		受診者数 (受診率)	結 果									がん 内視鏡 がん 発見率	
			異常なし	その他の 疾病	非悪性 上皮性 腫瘍	胃腺腫	ポリープ	胃潰瘍	十二指腸 潰瘍	その他	がん 疑い		がん
総合計		13,087 (22.7)	1,758	11,278	-	39	3,400	538	291	7,010	12	39	0.30
全市 (胃内視鏡)	合計	男 5,648 女 7,439	640	4,966	-	25	1,199	365	169	3,208	10	32	0.57
	40歳～	男 405 女 685	118	286	-	-	90	5	7	184	-	1	0.25
	50歳～	男 534 女 987	104	430	-	-	120	15	26	269	-	-	-
	60歳～	男 1,521 女 2,073	157	1,356	-	6	349	96	55	850	1	7	0.46
	70歳～	男 2,410 女 2,739	203	2,183	-	12	490	187	68	1,426	6	18	0.75
	80歳～	男 778 女 955	58	711	-	7	150	62	13	479	3	6	0.77
	中央	男 4,273 女 5,863	543	3,698	-	19	912	272	123	2,372	9	23	
	国府	男 282 女 401	19	263	-	2	63	16	11	171	-	-	
	福部	男 83 女 86	5	77	-	-	16	4	3	54	-	1	
	河原	男 243 女 272	13	226	-	3	49	21	6	147	1	3	
用瀬	男 135 女 138	9	126	-	-	16	10	10	90	-	-		
佐治	男 111 女 100	1	109	-	-	23	6	1	79	-	1		
気高	男 246 女 282	30	215	-	1	52	14	6	142	-	1		
鹿野	男 108 女 137	7	100	-	-	28	8	2	62	-	1		
青谷	男 167 女 160	13	152	-	-	40	14	7	91	-	2		

※検診対象者数 57,633人

④発見がん患者受診状況

種別	項目	人数			初回受診				非初回受診			
		男	女	計	男	女	計	発見率	男	女	計	発見率
X線	進行がん	3	1	4	2	-	2	0.09	1	1	2	0.09
	早期がん	-	1	1	-	-	-	-	-	1	1	0.04
内視鏡	進行がん	4	2	6	1	1	2	0.02	3	1	4	0.03
	早期がん	28	5	33	6	1	7	0.05	22	4	26	0.20
計		35	9	44	9	2	11	0.08	26	7	33	0.25

※非初回は、過去3年間に受診歴のある者をいう。

(単位:人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃X線	2,257	2,300	2,301
胃内視鏡	12,960	13,561	13,087
計	15,217	15,861	15,388

* 胃がん検診（全体）の受診者数は、前年度より473人減少した。
内視鏡の受診率は前年度より0.3ポイント減少がみられ、特に60代が男女とも減少幅が大きかった。
早期発見・早期治療につなげるため、検診の啓発や精密検査の受診勧奨に今後も取り組んでいきたい。

(5) 肺がん・結核検診

(令和5年6月30日現在)

①肺がん検診（一次検診及び精密検査結果）

(単位:人)

	一次検診								精密検査						がん発見率		
	胸部X線検査			喀痰細胞診検査				要精検者合計	受診者数	精検受診率	結果						
	受診者数 (受診率)	異常なし	要精検 (要精検率)	X線 中高 線受診 危険者	喀痰 細胞診 受診者 数	異常なし	要精検				異常なし	その他	がん 疑い	がん			
総合計	17,318 (30.0)	16,732	586 (3.38)	2,425	691	690	1	586	528	90.1	244	235	32	17	0.10		
全市	合計	男 6,955	女 10,363	286 300	2,307 118	672 19	671 19	1 -	286 300	250 278	87.4 92.7	108 136	120 115	12 20	10 7	0.14 0.07	
	40歳～	男	491	477	14	-	-	-	-	14	12	85.7	7	5	-	-	-
		女	950	941	9	-	-	-	-	9	9	100.0	7	2	-	-	-
	50歳～	男	494	479	15	127	40	40	-	15	14	93.3	9	4	1	-	-
		女	1,125	1,100	25	17	4	4	-	25	23	92.0	17	5	1	-	-
	60歳～	男	1,746	1,681	65	633	220	219	1	65	59	90.8	26	28	1	4	0.23
		女	2,767	2,699	68	42	5	5	-	68	62	91.2	34	20	5	3	0.11
	70歳～	男	3,106	2,957	149	1,234	352	352	-	149	128	85.9	57	61	7	3	0.10
		女	3,802	3,669	133	49	10	10	-	133	125	94.0	57	57	8	3	0.08
	80歳～	男	1,118	1,075	43	313	60	60	-	43	37	86.0	9	22	3	3	0.27
		女	1,719	1,654	65	10	-	-	-	65	59	90.8	21	31	6	1	0.06
	集団検診	男	1,119	1,082	37	357	61	61	-	37	32	86.5	12	19	1	-	-
		女	2,352	2,282	70	26	2	2	-	70	61	87.1	30	24	5	2	0.09
	個別検診	男	5,836	5,587	249	1,950	611	610	1	249	218	87.6	96	101	11	10	0.17
女		8,011	7,781	230	92	17	17	-	230	217	94.3	106	91	15	5	0.06	
中央	男	5,036	4,827	209	1,643	459	458	1	209	186	89.0	80	89	10	7	-	
	女	7,707	7,497	210	101	19	19	-	210	197	93.8	99	78	15	5	-	
国府	男	366	350	16	123	20	20	-	16	15	93.8	7	7	1	-	-	
	女	610	587	23	5	-	-	-	23	20	87.0	7	10	2	1	-	
福部	男	138	135	3	44	15	15	-	3	2	66.7	1	1	-	-	-	
	女	178	173	5	1	-	-	-	5	4	80.0	1	2	1	-	-	
河原	男	315	299	16	111	49	49	-	16	14	87.5	6	7	1	-	-	
	女	396	382	14	2	-	-	-	14	11	78.6	1	9	1	-	-	
用瀬	男	184	178	6	70	20	20	-	6	6	100.0	2	4	-	-	-	
	女	253	244	9	1	-	-	-	9	9	100.0	6	3	-	-	-	
佐治	男	141	137	4	55	14	14	-	4	2	50.0	1	1	-	-	-	
	女	150	146	4	-	-	-	-	4	4	100.0	1	2	-	1	-	
気高	男	322	309	13	113	40	40	-	13	9	69.2	3	5	-	1	-	
	女	420	407	13	4	-	-	-	13	12	92.3	8	3	1	-	-	
鹿野	男	142	134	8	48	15	15	-	8	8	100.0	4	3	-	1	-	
	女	203	197	6	1	-	-	-	6	6	100.0	4	2	-	-	-	
青谷	男	311	300	11	100	40	40	-	11	8	72.7	4	3	-	1	-	
	女	446	430	16	3	-	-	-	16	15	93.8	9	6	-	-	-	

※検診対象者数 57,633人

②無料クーポン事業：再掲

(単位:人)

	一次検診					精密検査						がん発見率	
	受診者数	(再掲)		結果		受診者数	精検受診率	結果					
		初回受診者数	初回の割合	異常なし	要精検 (要精検率)			異常なし	その他	がん 疑い	がん		
合計	1,176 (10.0)	709	60.3%	1,149	27 (2.30)	25	92.6	15	8	-	2	0.17	
全市	41歳	204	129	63.2%	199	5	100.0	4	1	-	-	-	
	46歳	208	132	63.5%	206	2	50.0	1	-	-	-	-	
	51歳	217	138	63.6%	212	5	100.0	3	2	-	-	-	
	56歳	195	107	54.9%	192	3	100.0	2	1	-	-	-	
	61歳	352	203	57.7%	340	12	11	91.7	5	4	-	2	0.57
	集団検診	346	188	54.3%	339	7	7	100.0	4	3	-	-	-
	個別検診	830	521	62.8%	810	20	18	90.0	11	5	-	2	0.24

※検診対象者数 11,753人

③発見がん患者受診状況

(単位：人)

項目 種別	受診者数					初回受診				非初回受診			
	男	女	計	(再掲) 高危険群		男	女	計	発見率	男	女	計	発見率
				男	女								
がん	10	7	17	6	-	5	1	6	0.02	5	6	11	0.06

※非初回は、前年に受診歴のある者をいう。

* 肺がん検診は645人減少し、受診率は0.4ポイント減少した。特に60歳以上の女性の減少が大きい。50代、70代、80歳以上の男性の受診者は増加した。

* 精検受診率は昨年度より1.5ポイント減少した。早期発見・早期治療のためにも検診の啓発や精検の受診勧奨に取り組んでいきたい。

(令和5年6月30日現在)

④結核検診（一次検診及び精密検査結果）

(単位：人)

項目 種別	一次検診					精密検査				
	受診者数	結果			受診者数	判定結果				
		異常なし	結核 精検			異常なし	その他の 疾病	結核		
総合計	12,691	12,667	24	15	2	15	-			
全市	合計	男	5,440	5,432	8	4	-	7	-	
		女	7,251	7,235	16	11	2	8	-	
	65～69歳	男	1,216	1,215	1	1	-	1	-	
		女	1,730	1,726	4	1	1	2	-	
	70～74歳	男	1,948	1,945	3	2	-	3	-	
		女	2,373	2,370	3	3	1	2	-	
	75～79歳	男	1,158	1,156	2	1	-	1	-	
		女	1,429	1,427	2	4	-	1	-	
	80歳以上	男	1,118	1,116	2	-	-	2	-	
		女	1,719	1,712	7	3	-	3	-	
	集団検診	男	755	754	1	-	-	1	-	
		女	1,250	1,248	2	3	-	1	-	
	個別検診	男	4,685	4,678	7	4	-	6	-	
		女	6,001	5,987	14	8	2	7	-	
中央	男	3,869	3,865	4	4	-	3	-		
	女	5,225	5,218	7	8	2	2	-		
国府	男	313	313	-	-	-	-	-		
	女	452	450	2	1	-	2	-		
福部	男	103	103	-	-	-	-	-		
	女	134	132	2	-	-	2	-		
河原	男	254	253	1	-	-	1	-		
	女	290	290	-	-	-	-	-		
用瀬	男	149	147	2	-	-	2	-		
	女	207	207	-	-	-	-	-		
佐治	男	121	121	-	-	-	-	-		
	女	125	125	-	-	-	-	-		
気高	男	252	252	-	-	-	-	-		
	女	305	305	-	1	-	-	-		
鹿野	男	115	115	-	-	-	-	-		
	女	149	149	-	-	-	-	-		
青谷	男	264	263	1	-	-	1	-		
	女	364	359	5	1	-	2	-		

(6) 大腸がん検診

(令和5年6月30日現在)

①一次検診及び精密検査結果

(単位：人)

	一次検診			精密検査								がん発見率		
	受診者数 (受診率)	結果		受診者数	精検受診率	結果								
		異常なし	(要精検 要精検率)			異常なし	ポリプ	大腸憩室	その他	がん疑い	がん			
総合計	16,792 (29.1)	15,657	1,135 (6.76)	849	74.8	196	495	52	75	1	30	0.18		
全市	合計	男	6,631	6,100	531	389	73.3	67	255	20	31	1	15	0.23
		女	10,161	9,557	604	460	76.2	129	240	32	44	-	15	0.15
	40歳～	男	510	486	24	18	75.0	5	9	1	3	-	-	-
		女	1,137	1,082	55	39	70.9	20	9	2	8	-	-	-
	50歳～	男	538	506	32	23	71.9	4	16	1	2	-	-	-
		女	1,330	1,272	58	43	74.1	19	20	1	3	-	-	-
	60歳～	男	1,757	1,625	132	97	73.5	17	63	5	8	-	4	0.23
		女	2,892	2,763	129	103	79.8	30	49	9	12	-	3	0.10
	70歳～	男	2,893	2,653	240	170	70.8	22	121	6	13	1	7	0.24
		女	3,545	3,298	247	192	77.7	46	111	13	16	-	6	0.17
	80歳～	男	933	830	103	81	78.6	19	46	7	5	-	4	0.43
		女	1,257	1,142	115	83	72.2	14	51	7	5	-	6	0.48
	集団検診	男	1,143	1,071	72	54	75.0	11	35	2	3	-	3	0.26
		女	2,594	2,478	116	92	79.3	31	42	8	6	-	5	0.19
個別検診	男	5,488	5,029	459	335	73.0	56	220	18	28	1	12	0.22	
	女	7,567	7,079	488	368	75.4	98	198	24	38	-	10	0.13	
中央	男	4,847	4,460	387	290	74.9	55	184	15	24	1	11	-	
	女	7,702	7,229	473	357	75.5	101	189	21	34	-	12	-	
国府	男	328	294	34	23	67.6	3	17	-	2	-	1	-	
	女	522	497	25	19	76.0	4	11	2	2	-	-	-	
福部	男	126	118	8	6	75.0	-	6	-	-	-	-	-	
	女	161	157	4	4	100.0	1	2	1	-	-	-	-	
河原	男	298	271	27	19	70.4	2	14	-	1	-	2	-	
	女	401	386	15	11	73.3	4	6	-	1	-	-	-	
用瀬	男	172	163	9	7	77.8	1	4	1	1	-	-	-	
	女	231	214	17	14	82.4	2	9	1	-	-	2	-	
佐治	男	124	116	8	2	25.0	-	2	-	-	-	-	-	
	女	144	137	7	3	42.9	2	1	-	-	-	-	-	
気高	男	319	295	24	16	66.7	3	7	3	2	-	1	-	
	女	419	389	30	23	76.7	4	12	3	3	-	1	-	
鹿野	男	136	129	7	5	71.4	-	5	-	-	-	-	-	
	女	197	184	13	11	84.6	6	4	-	1	-	-	-	
青谷	男	281	254	27	21	77.8	3	16	1	1	-	-	-	
	女	384	364	20	18	90.0	5	6	4	3	-	-	-	

※検診対象者数 57,633人

②発見がん患者受診状況

種別	項目	人数			初回受診				非初回受診			
		男	女	計	男	女	計	発見率	男	女	計	発見率
進行がん		6	4	10	-	2	2	0.01	6	2	8	0.05
早期がん		9	11	20	2	4	6	0.04	7	7	14	0.08
計		15	15	30	2	6	8	0.05	13	9	22	0.13

※非初回は、過去3年間に受診歴のある者をいう。

- * 大腸がん検診は659人減少し、特に60代の減少が大きかった。受診率は0.5ポイント減少した。
- * 精検受診率は1.1ポイント増加したが、74.8%と低いことが課題である。今後も引き続き、精検受診の必要性を伝える等、啓発に取り組み、精検受診率の向上に努めたい。

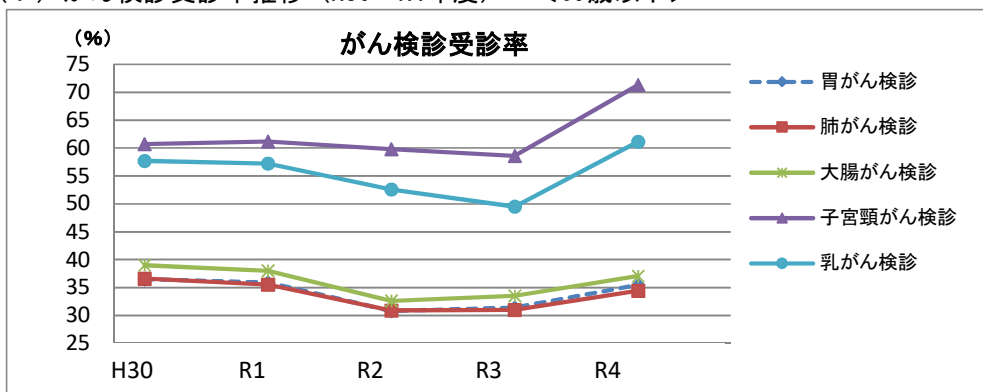
③無料クーポン事業:再掲

(単位:人)

	一次検診						精密検査							がん発見率	
	受診者数 (受診率)	(再掲)		結果		受診者数	精検受診率	結果							
		初回受診者数	初回の割合	異常なし	(要精検)			異常なし	ポリープ	大腸憩室	その他	がん疑い	がん		
合計	1,319 (11.2)	634	48.1%	1,243	76 (5.76)	52	68.4	25	15	1	10	-	1	0.08	
全市	41歳	218	141	64.7%	206	12	9	75.0	7	1	-	1	-	-	-
	46歳	243	116	47.7%	229	14	9	64.3	4	1	-	4	-	-	-
	51歳	248	122	49.2%	233	15	8	53.3	3	4	-	1	-	-	-
	56歳	220	87	39.5%	206	14	10	71.4	5	5	-	-	-	-	-
	61歳	390	168	43.1%	369	21	16	76.2	6	4	1	4	-	1	0.26
	集団検診	434	202	46.5%	417	17	12	70.6	6	4	-	1	-	1	0.23
個別検診	885	432	48.8%	826	59	40	67.8	19	11	1	9	-	-	-	

※検診対象者数 11,753人

(7) がん検診受診率推移 (H30~R4年度) <69歳以下>



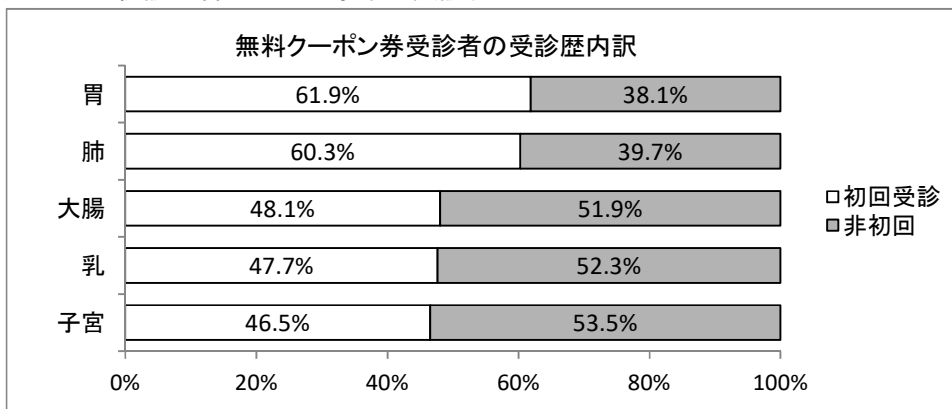
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
胃がん検診	36.5	35.9	30.8	31.4	35.5
肺がん検診	36.6	35.5	30.9	31.0	34.4
大腸がん検診	39.0	38.0	32.6	33.5	37.1
子宮頸がん検診	60.7	61.2	59.8	58.6	71.3
乳がん検診	57.7	57.2	52.6	49.5	61.1

※子宮頸がん、乳がん検診の受診率は2年に1回受診した人の割合

※令和4年度分より受診率算定に使用する対象者数の変更あり

* 国勢調査に基づく対象者数の見直しに伴い、昨年に比較し全がんにおいて受診率が向上したものの、受診者数としては伸び悩んでおり、引き続き若い世代への受診勧奨に努めていきたい。

(8) がん検診無料クーポン事業の受診状況



* 無料クーポン券の受診者の約半数が初回受診者であり、特に、胃がん、肺がん検診は共に60%を超え、無料クーポン券が受診のきっかけになっていると考える。

(9) 子宮がん検診

(令和5年6月30日現在)

①頸部がん検診結果(一次検診及び精密検査結果)

(単位:人)

	一次検診			精密検査						がん発見率	
	受診者数 (受診率)	結果		受診者数	精検受診率	結果					
		異常なし	(要精検) 要精検			異常なし	その他	がん疑い	がん		
合計	10,084 (36.2)	9,943	141 (1.40)	120	85.1	37	25	57	1	0.01	
全市	20歳～	786	754	32	27	84.4	11	2	14	-	-
	30歳～	1,774	1,731	43	37	86.0	10	9	18	-	-
	40歳～	2,251	2,207	44	37	84.1	12	8	17	-	-
	50歳～	1,704	1,687	17	14	82.4	3	4	6	1	0.06
	60歳～	2,021	2,018	3	3	100.0	1	1	1	-	-
	70歳～	1,371	1,369	2	2	100.0	-	1	1	-	-
	80歳～	177	177	-	-	-	-	-	-	-	-
	集団検診	3,193	3,163	30	26	86.7	10	4	12	-	-
	個別検診	6,891	6,780	111	94	84.7	27	21	45	1	0.01
中央	7,912	7,793	119	101	84.9	33	20	47	1	-	
国府	487	481	6	4	66.7	1	1	2	-	-	
福部	160	157	3	3	100.0	1	1	1	-	-	
河原	353	349	4	3	75.0	1	1	1	-	-	
用瀬	196	195	1	1	100.0	-	-	1	-	-	
佐治	99	98	1	1	100.0	-	-	1	-	-	
気高	416	412	4	4	100.0	-	1	3	-	-	
鹿野	187	185	2	2	100.0	1	1	-	-	-	
青谷	274	273	1	1	100.0	-	-	1	-	-	

※検診対象者数 39,440人

※受診率は、2年に1回受診した人の割合。

②無料クーポン事業:再掲

(単位:人)

	一次検診					精密検査							がん発見率
	受診者数 (受診率)	(再掲)			結果		受診者数	精検受診率	結果				
		初回受診者数	初回の割合	H P V 実施者数 検査	異常なし	(要精検) 要精検			異常なし	その他	がん疑い	頸がん	
合計	2,149 (22.9)	1,000	46.5%	504	2,111	38 (1.77)	35	92.1 (1.66)	14	5	15	1	0.05
全市	21歳	82	75	91.5%	79	3	3	100.0	1	1	1	-	-
	26歳	176	122	69.3%	168	8	8	100.0	5	-	3	-	-
	31歳	181	102	56.4%	181	176	5	5	100.0	2	-	3	-
	36歳	324	160	49.4%	323	315	9	6	66.7	2	1	3	-
	41歳	295	103	34.9%	291	291	4	4	100.0	-	2	2	-
	46歳	316	123	38.9%	310	310	6	6	100.0	4	-	2	-
	51歳	293	119	40.6%	293	293	-	-	-	-	-	-	-
	56歳	197	83	42.1%	194	194	3	3	100.0	-	1	1	1
	61歳	285	113	39.6%	285	285	-	-	-	-	-	-	-
	集団検診	553	284	51.4%	76	545	8	7	87.5	3	1	3	-
個別検診	1,596	716	44.9%	428	1,566	30	28	93.3	11	4	12	1	

※検診対象者数 9,362人

* 子宮頸がん検診は前年度より146人増加し、2年に1回の受診率は2.6ポイント増加したが、30～40代では受診者数が減少した。

* 精検受診率は、昨年度と比較して4.1ポイント減少した。精検の受診勧奨に継続して取り組み、受診率向上に努めたい。

*HPV検査結果

	細胞診結果			
	異常なし	要精検	異常なし	要精検
	HPV (-)		HPV (+)	
31歳	157	3	19	2
36歳	292	2	22	7
合計	449	5	41	9

* HPV陽性者への事後フォローを丁寧に実施し、早期発見につなげたい。

(令和5年6月30日現在)

③子宮体部がん検診

(単位:人)

	体部がん検診対象者	受診者数	結果					未把握者	
			異常なし	内膜症	その他	(がん発見率)	検査できず		
合計	478	410	397	1	2	1 (0.21)	9	68	
全市	20歳～	9	6	6	-	-	-	-	3
	30歳～	102	91	90	-	-	-	1	11
	40歳～	210	173	172	-	-	-	1	37
	50歳～	109	98	94	1	-	1	2	11
	60歳～	31	27	24	-	1	-	2	4
	70歳～	15	13	10	-	1	-	2	2
	80歳～	2	2	1	-	-	-	1	-
	集団検診	82	40	37	-	-	-	3	42
	個別検診	396	370	360	1	2	1	6	26
中央	390	331	324	1	1	1	4	59	
国府	17	14	14	-	-	-	-	3	
福部	1	1	1	-	-	-	-	-	
河原	20	18	17	-	-	-	1	2	
用瀬	13	12	10	-	-	-	2	1	
佐治	4	4	3	-	-	-	1	-	
気高	18	16	15	-	1	-	-	2	
鹿野	3	3	2	-	-	-	1	-	
青谷	12	11	11	-	-	-	-	1	

* 体部がん検診の受診率は85.8%で、前年度より3.4ポイント減少した。
未把握者への受診勧奨を重点的に行い受診率向上に努めたい。

(10) 乳がん検診

(令和5年6月30日現在)

①一次検診及び精密検査結果 (マンモグラフィのみ)

(単位:人)

	一次検診				精密検査				がん発見率		
	受診者数 (受診率)	結果		受診者数	精検受診率	結果					
		異常なし	(要精検) 要精検			異常なし	その他	がん疑い		がん	
合計	5,584 (29.8)	5,334	250 (4.48)	238	95.2	99	127	-	12	0.21	
全市	40歳～	1,272	1,182	90	86	95.6	27	57	-	2	0.16
	50歳～	1,282	1,218	64	62	96.9	24	35	-	3	0.23
	60歳～	1,647	1,586	61	56	91.8	30	22	-	4	0.24
	70歳～	1,190	1,156	34	33	97.1	18	12	-	3	0.25
	80歳～	193	192	1	1	100.0	-	1	-	-	-
	集団検診	2,417	2,299	118	109	92.4	44	60	-	5	0.21
	個別検診	3,167	3,035	132	129	97.7	55	67	-	7	0.22
中央	4,348	4,142	206	196	95.1	77	109	-	10		
国府	246	237	9	9	100.0	6	3	-	-		
福部	94	91	3	3	100.0	-	3	-	-		
河原	193	185	8	7	87.5	5	1	-	1		
用瀬	129	125	4	4	100.0	2	2	-	-		
佐治	61	60	1	1	100.0	-	1	-	-		
気高	244	233	11	10	90.9	3	7	-	-		
鹿野	98	96	2	2	100.0	2	-	-	-		
青谷	171	165	6	6	100.0	4	1	-	1		

※検診対象者数 34,640人 ※受診率は、2年に1回受診した人の割合。

②無料クーポン事業:再掲

(単位:人)

	一次検診					精密検査					がん発見率		
	受診者数 (受診率)	(再掲)		結果		受診者数	精検受診率	結果					
		初回受診者	初回の割合	異常なし	(要精検) 要精検			異常なし	その他	がん疑い		がん	
合計	1,355 (22.7)	700	51.7%	1,287	68 (5.02)	67	98.5	21	42	-	4	0.30	
全市	41歳	218	152	69.7%	209	9	9	100.0	2	7	-	-	-
	46歳	303	164	54.1%	276	27	26	96.3	8	17	-	1	0.33
	51歳	296	133	44.9%	282	14	14	100.0	6	7	-	1	0.34
	56歳	232	117	50.4%	222	10	10	100.0	1	8	-	1	0.43
	61歳	306	134	43.8%	298	8	8	100.0	4	3	-	1	0.33
	集団検診	563	309	54.9%	532	31	30	96.8	7	20	-	3	0.53
	個別検診	792	391	49.4%	755	37	37	100.0	14	22	-	1	0.13

※検診対象者数 5,878人

③発見がん患者受診状況

(単位:人)

	人数	初回受診		非初回受診	
		人数	発見率	人数	発見率
がん	12	1	0.02	11	0.20

※非初回とは、過去3年間に受診歴のある者をいう。

- * 乳がん検診の受診者は、前年度より89人増加した。2年に1回の受診率は前年度の27.8%より2ポイント増加した。
- * 発見がん患者は12人、うち40～60代が9人、70代が3人であった。乳がん好発年齢である40代からの受診を促すため、引き続き受診啓発等の対策を充実させ、早期発見に努めていく。

(11) 脳ドック

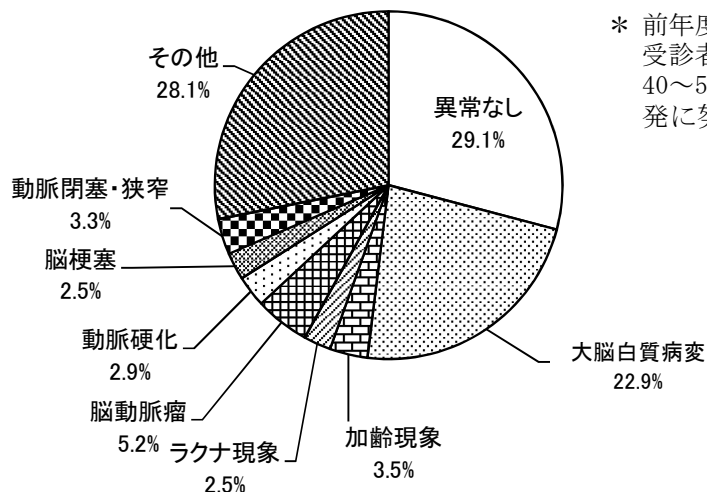
(令和5年6月30日現在)

①一次検査結果 (内訳: 国保473人 一般39人)

(単位: 人)

	受診者数	結 果						
		異常なし	要指導	経過観察	要精検	要医療	治療中	
合計	512	148	252	68	42	1	1	
全市	40歳	15	11	4	-	-	-	-
	45歳	12	7	3	-	2	-	-
	50歳	23	10	9	1	2	-	1
	55歳	24	9	12	2	1	-	-
	60歳	35	15	14	2	3	1	-
	65歳	127	40	59	17	11	-	-
	70歳	276	56	151	46	23	-	-

全受診者における異常の発見率



* 前年度と比較し、受診者数は31人減少した。受診者の約8割は65歳以上が占めている。40~50代の若年者へも検査の目的を伝え、啓発に努めたい。

②精密検査結果 (内訳: 国保34人 一般2人)

(単位: 人)

	受診者数	今 後 の 方 針					
		治療不要	薬物治療	経過観察	手術	他医療機関紹介	その他
合計	36	4	2	23	1	3	3
全市	40歳	-	-	-	-	-	-
	45歳	1	-	-	1	-	-
	50歳	2	1	-	-	-	1
	55歳	1	-	-	1	-	-
	60歳	2	1	-	-	-	1
	65歳	8	-	-	7	-	1
	70歳	22	2	2	14	1	2

	異常なし	診 断 名								
		脳動脈瘤	無症候性脳梗塞	無症候性脳出血	脳腫瘍	大脳白質病変	血管狭窄	動脈硬化	その他	
合計	5	11	4	-	-	-	3	1	12	
全市	40歳	-	-	-	-	-	-	-	-	
	45歳	-	-	-	-	-	-	-	1	
	50歳	1	1	-	-	-	-	-	-	
	55歳	-	-	-	-	-	-	-	1	
	60歳	2	-	-	-	-	-	-	-	
	65歳	-	4	1	-	-	-	1	-	2
	70歳	2	6	3	-	-	-	2	1	8

* 脳ドック受診者のうち、一次検診で10人、精密検査で11人に脳動脈瘤が発見された。脳動脈瘤で精密検査を受診した人のうち、1名は早期治療(手術)、19名は経過観察、1名は他医療機関紹介となった。

(12) 骨粗しょう症予防検診

(令和5年6月30日現在)

一次検診及び精密検査結果

(単位:人)

	一次検診結果				精密検査			
	受診者数	結果			受診者数	結果		
		異常なし	要指導	要精検		異常なし	その他	骨粗しょう症及び疑
合計	1,141	587	420	134	62	15	3	44
割合 (%)		51.5	36.8	11.7		24.2	4.8	71.0
全市	25～29歳	8	5	3	-	-	-	-
	30～39歳	53	42	11	-	-	-	-
	40～49歳	140	131	9	-	-	-	-
	50～59歳	198	136	54	8	4	3	1
	60～69歳	340	142	157	41	24	9	-
	70～79歳	342	116	159	67	25	2	2
	80歳以上	60	15	27	18	9	1	-
中央	682	392	228	62	26	10	-	16
国府	70	41	25	4	3	-	-	3
福部	32	10	13	9	5	-	1	4
河原	61	30	21	10	5	2	-	3
用瀬	75	15	38	22	11	2	-	9
佐治	38	16	20	2	1	-	1	-
気高	87	41	32	14	3	1	-	2
鹿野	27	9	16	2	2	-	-	2
青谷	69	33	27	9	6	-	1	5

*要指導者・要精検者は1,141人中554人(48.6%)であった。

(13) がん対策

がんによる死亡者の減少を目指して、学校や企業に出向いての健康教育、がん検診に関する普及啓発等を行った。

①出張がん予防教室 (単位:回)

区分	出張がん予防教室		
		学校	企業等
鳥取市	8	8	-
4町	-	-	-

②がん検診推進パートナー企業 (単位:件)

区分	がん検診推進パートナー企業の認定件数(新規)	がん検診推進パートナー企業訪問件数
鳥取市	258 (1)	3
4町	30 (-)	-

③東部圏域がん対策推進のための会議等の開催

- ・東部圏域がん対策担当者連絡会(オンライン開催(令和4年4月15日、11月15日))
- ・鳥取市がん対策推進会議及び鳥取県東部圏域がん対策推進会議合同会議(令和5年2月9日)

(14) がん患者の社会参加応援事業(ウィッグ・補整下着購入費助成)

がん治療による外見変貌を補完する補整用具等の購入費用の助成を行った。

(単位:件)

区分	補助合計		
		ウィッグ	補整下着等
鳥取市	52	43	9
4町	15	12	3

(15) 抗がん剤治療副作用対策支援事業(頭皮冷却用インナーキャップ・脱毛予防用品購入用助成)

抗がん剤治療による脱毛対策ケアに使用する用品の購入費用の助成を行った。

(単位:件)

区分	補助合計		
		キャップ	脱毛予防用品
鳥取市	15	5	10
4町	6	2	4

(16) 健康教育・健康相談

[目的]

生活習慣病の予防や介護予防を図るために、健康の増進に関する正しい知識を普及、心身の健康に関する個別の相談及び必要な助言・指導を行うことで、健康の保持増進に資する。

①健康教育（地域ふれあい事業、精神保健事業、歯科保健事業、栄養改善事業は除く）

種別	内訳	計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
病態別 〔・糖尿病・高血圧 ・心臓病・肥満〕	回数	18	6	5	3	-	-	4	-	-	-
	延人員	409	263	68	33	-	-	45	-	-	-
生活習慣病予防 ・その他	回数	84	31	5	8	-	11	14	6	4	5
	延人員	1,769	1,007	43	141	-	136	229	62	51	100
ロコモティブ シンドローム (運動器症候群)	回数	7	4	1	1	-	-	-	-	-	1
	延人員	144	93	4	42	-	-	-	-	-	5
計	回数	109	41	11	12	-	11	18	6	4	6
	延人員	2,322	1363	115	216	-	136	274	62	51	105

・ブロックでの実施状況

(糖尿病予防教室、フォローアップ教室、友の会交流等、ブロックで実施したものを掲載)

種別	内訳	計	中央	福部・鳥取東	河原・用瀬・佐治	気高・鹿野・青谷
病態別 〔・糖尿病・高血圧 ・心臓病・肥満〕	回数	10	-	-	2	8
	延人員	63	-	-	24	39

・介護予防事業 実施状況

介護予防事業 〔ロコモ・フレイル 認知症〕	内訳	計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
	回数	222	68	16	15	28	36	24	10	17	8
	延人員	2,301	950	103	152	258	350	231	82	111	64

*高齢化に伴い生活習慣病予防に加えて介護予防教育の必要性は各地域で高くなっている。各地域の状況に応じて、今後も地域包括支援センターなど関係機関と連携しながら取り組んでいく。

②健康相談（地域ふれあい事業、精神保健事業、歯科保健事業、栄養改善事業は除く）

相談内容	内訳	計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
重点健康相談	糖尿病	回数	7	1	-	3	-	-	3	-	-
		延人員	119	55	-	33	-	-	31	-	-
	高血圧	回数	6	4	1	-	-	-	-	-	1
		延人員	377	360	5	-	-	-	-	-	12
	骨粗鬆症	回数	3	3	-	-	-	-	-	-	-
		延人員	81	81	-	-	-	-	-	-	-
総合健康相談ほか	回数	82	16	3	6	-	21	31	4	1	
	延人員	1,281	583	19	99	-	239	309	21	11	
計	回数	98	24	4	9	-	21	34	4	1	
	延人員	1,858	1,079	24	132	-	239	340	21	11	

【糖尿病予防に関する健康教育】

健康・子育て推進課、鳥取東保健センター、各総合支所では、健康増進法、「とっとり市民元気プラン2021」に基づき、特定保健指導非該当者への生活習慣病予防に重点的に取り組んでいる。その中でも特に糖尿病予防対策を重点活動として取り組んでいる。

①糖尿病予防教室

鳥取市の糖尿病の有所見者割合（予備群含）は毎年5割以上を占めており、糖尿病の発症及び重症化を予防することの重要性が示唆される。このことから、教室等によって健診結果から自らの健康状態を認識し、生活習慣を振り返る動機づけとなり、自らが行動変容できるように支援している。

	教室名	回数	実(延)人員	内容等
中央	血糖値を下げよう教室	半日2日間のコース (1回) ※2回予定であったが1回中止	7 (10)	昨年度に引き続き、半日2日間コースとし、保健師・管理栄養士の講話、健康運動指導士の講話・運動指導を実施。今年度より歯科衛生士の講話も導入した。各自で立てた目標を発表してもらい、参加者全員で共有することで意欲向上につながった。教室終了後のアンケートでは、病態や食生活・運動・歯科の大切さについて全員が理解できたと回答。「難しい内容を分かりやすく説明していただき、よく分かった。」との声もあり、生活習慣改善に向けて正しい知識を身につける機会となった。
福部		半日2日間のコース (1回) フォローアップ教室 (1回)	6 (14)	1日目に保健師・管理栄養士の講話、2日目に健康運動指導士の講話・運動指導を実施し、気付きや学びを個人ファイルに書き留める時間を設け、生活の振り返りや自分に合った目標を立てられるよう工夫した。2日目の運動指導の実施前に保健師・管理栄養士より1日目の復習を行ったことで生活習慣の改善の必要性を再認識したうえで、運動の講話・実技に繋げることができた。3か月後のフォローアップ教室ではグループワークを行い、これまでの取り組み状況について共有したことで、継続への意欲向上につながった。
鳥取東地域 ・国府 ・東中学校区 ・桜ヶ丘 中学校区	元気アップ 糖尿病 予防教室	半日2日間のコース (1回)	13 (33)	半日コースを2回と5か月後のフォローアップを1回、昨年度に引き続き実施した。保健師・管理栄養士の講話、健康運動指導士の講話と運動指導を実施。全員が自主的な申し込みで、グループワークでは「皆には負けれない」と健康意識がさらに高まった。フォローアップでは歯周病と糖尿病の関係性の話や劇を実施した。自分のこととして振り返ってもらえる機会となった。教室回数を増やしてほしいとの希望があり、糖尿病友の会の案内を実施し、3名の入会があり自主グループに繋がることのできた。
		フォローアップ 教室 (1回)		
南部地域 ・河原 ・用瀬 ・佐治	元気アップ 糖尿病 予防教室	半日2日間のコース (1回)	15 (31)	医師・管理栄養士、健康運動指導士による講話や実践で具体的な知識や生活習慣の見直し、改善方法について学んだ。参加者のアンケートは、ほとんどの方はわかりやすかったと回答。「健診後に案内がありグッドタイミングだった。」「案内が来てびっくりしたが、今が大事ということがわかった。」等の感想もあった。現状を理解し生活習慣を振り返り、グループワークに分かれて各自で目標を立てて発表をしてもらった。他の人の目標や意見を聞くことで交流の場となり良かったという声もあった。フォローアップ教室では糖尿病友の会と教室参加者で情報交換ができ参考になったとの意見が多数あった。
		フォローアップ 教室 (1回)		
西部地域 ・気高 ・鹿野 ・青谷	糖尿病予防 教室	半日2日間のコース (1回)	6 (17)	保健師・管理栄養士の講話や健康運動指導士の実践等を通して、糖尿病の基礎知識・生活改善の方法を学び、自分の健康状態を把握し、自分に合った目標が設定できた。例年、グループワークは、参加者同士のモチベーションの継続につながるため、今年度も感染症予防対策を行い実施。アンケートには、全員が「ためになった」と回答。「みんなで話し合いながら学ぶことができ良かったと思う」との声もあり、グループワークを活かした教室となった。
		フォローアップ 教室 (半日1回)		
計		9回	47 (105)	

②糖尿病食生活教室

	教室名	回数	実(延)人員	内 容 等
全市	糖尿病食生活教室	2回シリーズ (平日編・土曜日編)	14 (23)	空腹時血糖値、随時血糖値及びHbA1cのいずれかが高めの該当者及び既に医療機関において治療段階の人を中心に実施。今年度は基本編と応用編とに分け、より実践に繋がる内容とし、応用編では災害時や緊急時の備えについても講話を行った。
	計	4	14 (23)	

③糖尿病予防友の会支援

目的：糖尿病の発症・重症化予防のための自主グループ

対象者：糖尿病予防教室修了者、会の目的に賛同する人

	友の会名称	内 容	回数	実(延)人員
中央	山茶花クラブ	情報交換・振り返り勉強会（健診結果から自分の状態を知る、歯の健康等）、運動、ウォーキング、しゃんしゃん体操、健康チェック、血液検査等	12	19 (136)
福部	らっちゃん健康くらぶ		4	17 (44)
鳥取東	桜の会		7	11 (37)
河原	がんばろう会		12	9 (83)
用瀬	さつき会		12	12 (84)
佐治	みつまた会		12	27 (116)
気高	健康づくり友の会		11	13 (96)
鹿野	コスモス会		8	5 (23)
青谷	糖尿病予防ともの会		11	11 (60)
	計		89	124 (679)

*参加者同士が様々な活動を通して、意見交換が活発にできる場となっている。

・友の会交流会

支所	内 容	回数	延人員
用瀬 佐治	交流会を佐治と青谷で開催。佐治町内をウォーキングし、渋ビルの見学会もかねて実施した。町外研修として青谷に行き、各地域の活動状況など情報交換し交流を深めた。	2	30
気高 鹿野 青谷	鹿野町で開催。「生活習慣病予防における運動の効果と実践」のテーマで研修後、グループにわかれ、各地域の活動や糖尿病予防の為の各自の取り組み等について情報交換を行った。	1	14

【生活習慣病予防に関する健康教育】

全市	事業名	回数	延人員	内 容 等
全般	健康づくり講演会	1	69	『私がこだわる「やさしい」内視鏡～どんな病気も早期発見、早期治療～』というテーマで、市立病院内科・消火器センター相見正史医師による講演会を行った。消化器異常の早期発見の大切さを知ってもらうことができた。
食生活	適塩ワークショップ、シオとらんLab～適塩を学ぼう！～	2	232	健康無関心層・若年層への啓発を拡大するため、商業施設において、適正な塩分摂取についての講話、血圧測定、減塩商品の紹介、レシピ配布などをイベント形式で行った。
タバコ	世界禁煙デー啓発イベント			各地区公民館に、ポスター・のぼり旗の掲示。鳥取駅前横断幕設置。鳥取駅地下道、市立図書館、駅南庁舎で啓発展示。

【運動習慣に関する支援】

	事業名	回数	延人員	内容等
河原	「てくてく歩こう会」グループ支援	11	109	毎月様々なコースのウォーキングを仲間と共に楽しみ、雨天時は屋内活動に変更し、運動習慣の必要性を感じながら健康づくりに努めている。運動研修や町外でのウォーキングも実施し、会員の意欲向上に繋がっている。
用瀬	「流しびなあるこう会」グループ支援	14	104	定例の活動として町内ウォーキングを主にグラウンドゴルフや健康に関する学習会等も取り入れている。体力測定会も行い、会員の活動の成果の実感と意欲向上にもつながっている。今後も新規加入者を確保しながら、地域の自主グループとして活発的な活動を行っている。
鹿野	続けてみようストレッチ!	3	53	新型コロナウイルス感染症拡大のため、実施回数は減少したが、年齢を問わずできるストレッチを実施している。継続参加の方が多く、参加者がお互いに日頃の様子を情報交換しており、運動習慣の確立につながっている。

【健診（検診）結果説明会】

	回数	延人員	内容等
中央	2	24	地区で実施した集団健診受診者を対象に、健診結果の見方を説明し、管理栄養士・保健師等による健康診査（特定・高齢者）の結果説明・健康相談を実施した。
鳥取東	4	11	集団健診及び人間ドック・各医療機関での健康診査受診者、および希望者を対象に、管理栄養士、保健師等による健康診査の結果説明・健康相談を実施した。
福部	1	5	集団健診受診者を対象に、管理栄養士・保健師による健康診査の結果説明・健康相談を実施した。
用瀬	4	8	用瀬作業所での健康相談や地域での定期相談の場面で健康診査（特定・高齢者・健康診査）受診者を対象に、個別で結果説明及び健康相談を実施した。今後の健康状態や生活・食生活について一緒に考えてもらう場とした。
佐治	9	111	集団健診受診者及びその他の健診を受診された方を対象に、管理栄養士・保健師による結果説明会・健康相談会を集落16会場作業所1会場に実施した。
気高	3	12	就労継続支援B型作業所の健康診査（特定・健康診査）受診者を対象に個別で保健師による結果説明及び健康相談を実施。健康状態や生活習慣について考えてもらう機会とした。
計	23	171	

【グループ支援】

	事業名	回数	延人員	内容等
鹿野	ここにこ教室	9	76	新型コロナウイルス感染拡大により回数は減少したが、認知症予防を目的として、企画から運営まで参加者自身が行っている。情報交換や体操、グラウンドゴルフ、レクリエーション、体力測定などを実施している。

(17) 訪問指導

健診結果で保健指導が必要な人への生活習慣病予防を中心に、保健師・看護師・栄養士が訪問指導を実施した。

①生活習慣病予防

(単位：人)

区分		対象者		計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷	
要指導者	ハイリスク者※ ¹	～39歳	実	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	
			延	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		40～64歳	実	13	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-
			延	13	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		65～74歳	実	71	44	-	11	-	7	3	5	1	-	-
			延	74	47	-	11	-	7	3	5	1	-	-
	受診勧奨※ ²	～39歳	実	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			延	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		40～64歳	実	51	46	-	-	-	-	5	-	-	-	-
			延	53	48	-	-	-	-	5	-	-	-	-
		65～74歳	実	208	195	-	-	-	1	10	-	2	-	-
			延	218	205	-	-	-	1	10	-	2	-	-
保健指導※ ³ 他	～39歳	実	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		延	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	40～64歳	実	18	-	-	14	-	-	3	-	-	-	1	
		延	18	-	-	14	-	-	3	-	-	-	1	
	65～74歳	実	46	2	-	26	-	1	17	-	-	-	-	
		延	50	3	-	27	-	1	19	-	-	-	-	
計			実	413	305	-	52	-	9	38	5	3	1	
			延	432	321	-	53	-	9	40	5	3	1	

※¹ハイリスク者：健診の結果、血圧や脂質、血糖などに高度の異常所見を認め、受療や生活習慣の改善が特に必要な者。

※²受診勧奨該当者

※³保健指導等該当者：「標準的な健診、保健指導プログラム（厚生労働省）」に基づく基準による対象者

②その他（閉じこもり予防・介護家族者・寝たきり者・認知症の者等）

(単位：人)

40～64歳	実	15	65～74歳	実	16	75歳以上	実	9
	延	27		延	27		延	16

4 栄養改善事業

[目的]

健康づくりの基礎となる食生活について、ライフステージに応じた正しい知識の普及を図ることにより、正しい食生活を実践できるように支援し、市民の健康の保持増進につなげる。

(1) 母子栄養改善事業

①健康診査時栄養相談

区分 内訳	6か月児	1歳6か月児	3歳児	計
回数	60	60	58	178
延人員	1,248	1,328	1,333	3,909

②健康教育

区分 内訳	離乳食 講習会	アトピー っ子教室	妊婦教室	計
回数	43	2	6	51
延人員	444	21	67	532

③食育教室

区分 内訳	子育て サークル	幼児食 教室	保育園・ 幼稚園	小・中・ 高等学校	その他	計
回数	19	3	-	1	2	25
延人員	141	27	-	22	31	221

④健康相談及び訪問指導

相談内容		離乳食	幼児食	授乳	その他	計
区分・内訳						
来所	延人員	146	9	12	2	169
電話	延人員	69	10	2	1	82
オンライン	延人員	1	-	-	-	1

区分 内訳	離乳食講習 会後の相談	赤ちゃんサロ ン後の相談	幼児食教室・ サークル後 相談	その他母子 事業相談	訪問指導
回数	43	11	8	25	9
延人員	181	14	28	87	9

(2) 成人栄養改善事業

①健康教育

(地域別)

区分	地区		中央		福部		鳥取東		河原		用瀬		佐治		気高		鹿野		青谷	
	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習
生活習慣病	5	中止	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	66		46	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-
糖尿病	-	中止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高血圧	1	中止	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	12		-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
脂質異常	-	中止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
骨粗鬆症	2	中止	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	23		12	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高齢者 栄養	4	中止	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	46		46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
認知症 予防	-	中止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	中止	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	12	中止	8	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	147		104	-	12	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-

* 区分の上欄は延回数、下欄は延人員

* 調理実習は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(地域合同事業別)

	合計	中央	福部	鳥取東	南部地域	西部地域
糖尿病 予防教室	12	1	3	3	2	3
	94	6	14	33	24	17

地域 区分	合計		中央・福部・鳥取東		南部地域		西部地域	
	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習
精神 デイケア	3	中止	2	中止	1	中止	-	-
	14		8		6		-	-

地域 区分	合計		中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷					
	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習	講話	実習				
糖尿病友 の会支援	13	中止	1	中止	3	中止	1	中止	2	中止	2	中止	1	中止	1	中止
	109		12		38		8		6		8		18		15	

* 区分の上欄は延回数、下欄は延人員

(全市事業)

区分	糖尿病食生活教室		適塩講座イベント	
	講話	実習	講話、展示等	
延回数	4	中止	2	
延人員	23		232	

(職域関係)

	生活習慣病予防講座		職域イベント	
	講話	講話、展示等	講話、展示等	
回	3	1		
人	81	206		

②健康相談及び訪問指導

区分・内訳	相談内容	生活習慣病	糖尿病	高血圧	脂質異常症	骨粗鬆症	肥満	その他	計
	来所	延人員	2	7	2	-	1	-	2
電話	延人員	5	13	3	1	-	4	26	52

区分 内訳	健診結果説明会	総合相談	医療機関より紹介	訪問指導
	回数	11	27	2
延人員	110	366	2	2

(3) 食育地区組織養成・支援事業

①食育推進員養成講座・教育研修・スキルアップ研修会

事業名	回数	延人員	会場数
養成講座	15	99	2
教育研修	8	215	7
スキルアップ研修会	7	162	7

②地区組織支援

	回数
会議等	34

* 調理実習は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。



(4) 食育推進、食品表示相談等

食育関係者研修会、食品表示講習会の開催、食品表示法、健康増進法に基づいた食品の適切な広告・表示に関する相談に対応する。

①食品表示関係

(単位：件)

区分	食品表示相談	食品表示指導	立入指導
鳥取市	47	47	6
4町	12	12	0

うち、健康増進法に基づいた相談・指導件数(再掲) (単位：件)

区分	誇大表示相談	指導	立入指導
鳥取市	9	9	6
4町	4	4	2

(単位：件)

区分	相談受付食品数	指導・助言件数	主な指導・助言の概要
食品表示法 (栄養成分表示、機能性表示食品)	93	59	・食品表示基準に基づく栄養成分表示を行うこと。 ・食品表示基準に基づく栄養成分表示に修正すること。
健康増進法 (特別用途食品、誇大表示等)	16	13	・虚偽誇大表示のおそれがあるため、修正すること。 ・健康保持増進効果等の表示について、科学的根拠を持って事実に基づく表示を行うこと。

②食育地域ネットワーク強化事業

県民の健全な食習慣の定着等を推進するため、幅広い分野の食育実践者同士のネットワークづくり、資質向上、食育活動の地域への定着等を図る。

- ・令和4年度東部圏域食育関係者研修会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(5) 特定給食施設等指導等

健康増進法に基づく特定給食施設(学校給食センター、老人福祉施設等)等に対し、栄養管理及び衛生管理の見地から必要な指導及び助言を行い、利用者の栄養状態の改善及び健康増進を図る。

①対象施設の選定方針

《対象施設》「鳥取市健康増進法施行細則」及び「鳥取市特定給食施設等栄養管理指導実施要綱」に基づく届出により、把握している特定給食施設及びその他の給食施設。

《選定基準》 新規届出施設、管理栄養士・栄養士未配置施設、新任管理栄養士・栄養士のみの施設、過去の指導事項多数の施設、長期巡回未実施の施設
※病院については、医療法により、立入検査の対象となった施設

②指導監査実施体制

- ・栄養指導員(管理栄養士) 4名

③当年度重点指導監査事項

- ・栄養管理について、対象者の把握、計画、実施、評価等が適切に行われているか(PDCAに基づく栄養管理) 状況を確認する。

(令和5年3月31日現在)

区分	特定給食施設数 (1回につき100食以上)	その他の給食施設数 (1回につき50食以上)
鳥取市	90施設	32施設
4町	17施設	10施設

④「栄養管理状況報告書」及び各種届出による状況把握

区分	栄養管理状況報告書提出	各種届出書受理件数
鳥取市	122施設	46件
4町	27施設	10件

⑤巡回指導の推移（4町施設分含む）

年度	令和2年	令和3年	令和4年
届出数	146施設	148施設	149施設
巡回施設数	51施設	32施設	33施設
指導件数	123	62	57
助言件数	72	144	46

(ア) 巡回指導の状況

(単位：件)

区分	巡回指導数	改善指導事項		主な改善指導事項の概要
		施設数	指導項目数	
特定給食施設	22	13	35	<ul style="list-style-type: none"> ・食事提供における施設利用者状況の定期的な把握、栄養管理、品質管理及び評価の実施について。(老人福祉×6件、児童福祉×13件、矯正×1件) ・利用者の状況に配慮した献立作成について。(老人福祉×2件、児童福祉×2件) ・献立表の掲示、栄養成分表示等による利用者への情報提供について。(老人福祉×2件、児童福祉×5件) ・献立表その他必要な帳簿等の適正な作成及び備え付けについて。(老人福祉×2件、児童福祉×3件) ・食品衛生法(昭和22年法律第233号)その他関係法令の定めによる衛生管理の実施について。(※助言24件)
その他の給食施設	11	11	22	<ul style="list-style-type: none"> ・特定給食施設に準じた指導内容(老人福祉施設×7件、児童福祉×15件) ※助言22件

※ 助言は国通知の内容について行ったものであるため、指導件数には含まない。

(イ) 研修会の開催

- ・令和4年度鳥取市特定給食施設等栄養管理実務者研修会（ハイブリッド方式）
令和5年2月27日（月）、3月7日（火）鳥取市役所本庁6階第5～8会議室
内容：テーマ「健康危機管理時における給食提供について」

講師：女子栄養大学 准教授 久保 彰子 氏

講演、行政説明、グループワーク

参加者：特定給食施設等で栄養管理を行う管理栄養士・栄養士等及び事務局等115名
(参加者内訳：市92名、4町15名、事務局8名)

- ・社会福祉施設等における食中毒・感染症発生防止のための食中毒研修会（動画配信方式）

配信期間：令和4年6月27日（月）から7月31日（日）

受講者：鳥取市、岩美郡及び八頭郡内の社会福祉施設、介護保険施設、幼稚園、病院、学校給食等の
栄養士・調理業務責任者及び利用者直接処遇 従事職員等579名

(受講者内訳：市506名、4町73名)

(ウ) 東部圏域栄養管理情報連携サポート事業

- ・ワーキング部会の開催 年2回（集合形式）

(第1回：4月26日（火）、第2回：令和4年5月17日（火）)

参加者：病院、介護老人保健施設及び老人福祉施設の管理栄養士5名、事務局4名 計9名

- ・検討会の開催 年2回

(第1回：4月18日（月）（書面開催）、第2回：8月9日（火）（集合形式）)

参加者：東部医師会、東部歯科医師会、作業療法士会、在宅医療介護連携推進室、市長寿社会課、中央
包括支援センター、ワーキング部会委員4名、市保健所長、事務局4名 計15名

- ・令和4年度栄養管理情報連携サポート事業研修会（ハイブリッド方式）

令和4年6月1日（水）鳥取市人中央人権福祉センター2階 会議室

内容：テーマ「栄養管理情報連絡票をよりよく活用しやすくするには」
行政説明（事務局）、講演及び実演（ワーキング部会委員）

参加者：病院、介護保険施設、社会福祉施設の管理栄養士・栄養士及び事務局49名
(参加者内訳：市27名、4町12名、栄養管理サポート事業ワーキング部会4名、事務局6名)

- ・東部地区在宅医療介護連携推進協議会（ハイブリッド方式）
令和4年10月5日（水） 鳥取県東部医師会館4階
内容「東部圏域栄養管理情報連携サポート事業について」
事業説明（事務局）
参加者：医師、歯科医師、関係団体等49名
- ・健康サポート薬局に係る研修会（ハイブリッド方式）
令和4年10月30日（日） 鳥取県薬学総合センター4階
内容「薬局でサポートできる介護食ととろみ剤の基礎知識について」
事業説明（事務局）、講演（ワーキング部会委員）
参加者：県内薬局薬剤師25名（参加者内訳：東部10名、中部9名、西部6名）
- ・事業ツール作成（東部圏域介護食取扱い店舗一覧表）及び更新（食形態対応表）

（6）国民健康・栄養調査、県民健康栄養調査の実施状況

- ・国民健康・栄養調査 該当地区なし
- ・県民健康栄養調査 調査時期 令和4年10月1日から11月30日
調査内容 栄養摂取状況調査および身体状況・生活習慣・健康づくり意識調査
該当地区・世帯 4地区（市2地区 岩美町1地区 八頭町1地区）
284世帯737人
調査実績 世帯 181世帯（63.7%）460人（62.4%）

（7）その他

- ①東部圏域行政管理栄養士栄養改善業務検討会
1市4町の行政栄養士が圏域や地域の課題に対し、栄養改善および食育推進活動が適切かつ円滑に実施できるように、グループワークや情報交換を行い、技術的支援を行う。
・令和4年6月13日（月） ・9月16日（金） ・令和5年2月17日（金） 計3回実施
内容：国の掲げる健康課題と各自治体の健康課題の現状について（ワーク、意見交換等）
災害対応演習（クロスロードゲーム）

（8）第3次鳥取市食育推進計画の推進について

①計画の概要

食育基本法に基づく「市町村食育推進計画」および「第4期鳥取市健康づくり計画 とっとり市民元気プラン 2021」の分野別計画であり、本市における食育推進関係各課の計画や方針と連携をとりながら市民と協働で推進していくものと位置付ける。

②計画の期間

令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）までの5年間

③計画の基本理念及び基本方針

前計画から引き続き『自然の恵みに感謝し、「食」を通して健全な心身と豊かな人間性を育み、健康的な食習慣を身につけると共に、豊かな食文化を継承していく』を基本理念とし、

- （1）すべての年代において健康的な食習慣を身につける。
- （2）食に関する体験を通し、食べ物に感謝する心を育て、食を楽しむ。
- （3）食品の安全性について関心を持ち、地元産の食材を活用する。
- （4）伝統的な食文化を継承する。

の4つの基本方針をもとに計画を推進する。

④令和4年度実施内容

(ア) 食育月間（6月）の主な取組

- ・食育推進関係各課においてポスター掲示、のぼり旗掲示
- ・駅南庁舎（鳥取市立図書館）：朝食摂取、野菜摂取啓発のパネル展示及びリーフレット配布等
- ・駅南庁舎1階：適塩のパネル展示及びレシピ配布等
- ・離乳食講習会等集団の教室及び乳幼児健診栄養相談時に啓発ティッシュ・リーフレットの配布
- ・鳥取市立の全学校給食センターで統一テーマの献立を提供（教育長おすすめ献立、鳥取市の国際交流員3名（中国・韓国・ドイツ）の家庭料理）
- ・鳥取市立保育園において、食育だよりの配布、体験活動及び菜園で収穫した野菜を給食で提供

(イ) その他食育の主な取組

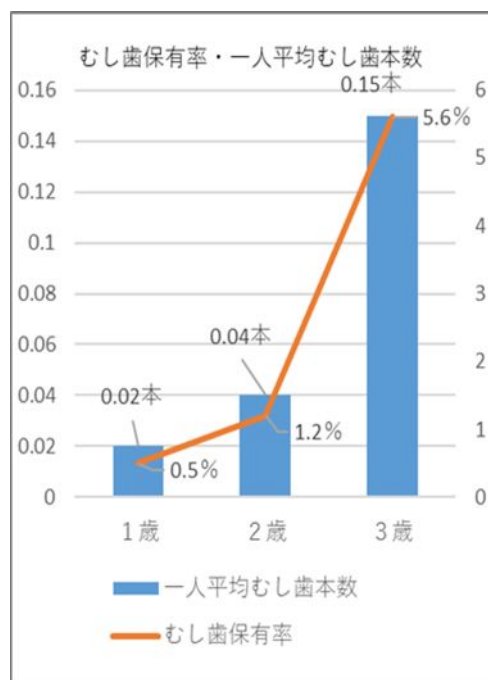
- ・「食育の日」にのぼり旗の掲示及び鳥取市公式LINEに食育レシピを配信
- ・イオン鳥取北店及びイオン鳥取店で適塩のイベントを開催
- ・マルコラ 2022（鳥取砂丘こどもの国）で朝食摂取と野菜摂取の体験及び啓発
- ・鳥取市立保育園において鳥取県の特産物や和食文化の啓発
- ・各地区公民館等において料理教室の実施

5 歯科保健事業

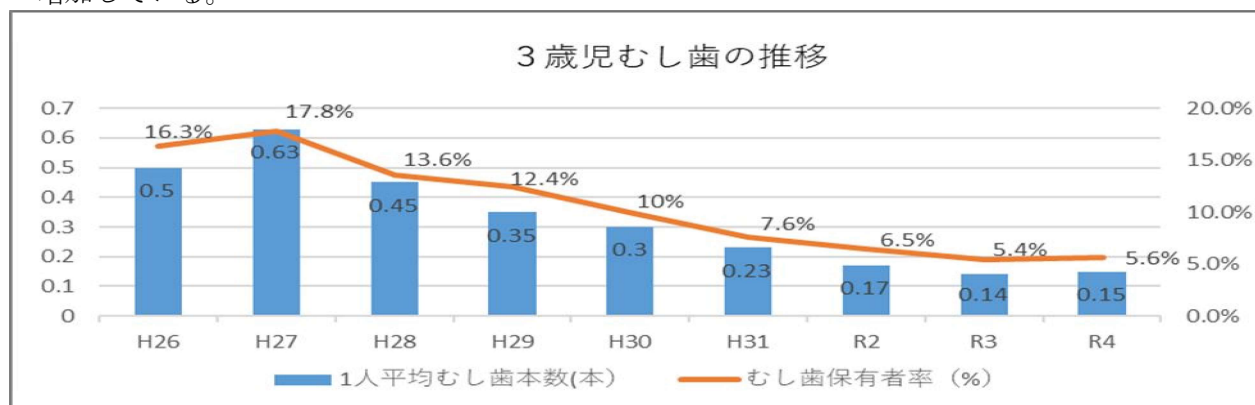
(1) 乳幼児歯科保健

① 幼児歯科健康診査実績 (全市対象)

		1歳6か月 児歯科健診	2歳児 歯科健診	3歳児 歯科健診
対象者数		1,340人	1,330人	1,352人
受診者数 (受診率)		1,330人 99.3 (%)	1,185人 89.1 (%)	1,346人 99.6 (%)
むし 歯 の 状 況	むし歯 保有者数 (率)	7人 0.5 (%)	14人 1.2 (%)	76人 5.6 (%)
	むし歯総数	22本	48本	208本
	一人平均 むし歯本数	0.02本	0.04本	0.15本
	未処置歯数	14本	36本	164本
	処置歯数 (率)	8本 36.4 (%)	12本 25 (%)	44本 21.2 (%)
そ の 他	咬合異常の ある者	103人	169人	200人
	軟組織疾患の ある者	160人	124人	29人



* むし歯保有者率は1歳6か月児歯科健診で0.5%、2歳児歯科健診で1.2%だが、3歳児歯科健診で5.6%と増加している。また、一人平均むし歯本数も2歳児0.04本から3歳児になると0.15本と増加している。



* 3歳児のむし歯の状況は、一人平均むし歯本数、むし歯保有者率ともに近年減少傾向だったが、令和4年度はわずかに高くなっている。むし歯処置歯率は昨年7.3%から21.2%と上がっている。

② 6歳臼歯保護推進事業

内容：年長児とその保護者を対象に歯科医師による講話とブラッシング指導、口腔機能向上の話と遊びを集団指導にて実施。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数制限や実施内容の変更が多く、中止の園も見られた。

		幼稚園 (幼保園含む)	保育園	計
対象施設数		21	38	59
実施施設数		12	29	41
実施対象児数		660	825	1,485
参加状況	年長児	391	356	747
	保護者他	140	411	551

③ その他の事業

事業名	回数	延人員	内容等
妊婦歯科健診	579件	579人	鳥取市に住居を有する妊婦を対象とした負担金無料の歯科健診。
母子歯科保健教育	26回	303人	地区の乳幼児サークル、子育て支援センターなどでむし歯予防の講話、ブラッシング指導の実施。

(2) 成人歯科保健

①ふしめ歯科検診推進事業（令和4年度受診者数）

	対象者	受診者数	受診率(%)	現在歯・喪失歯の状況（平均）						判定結果（人）		
				現在歯数	健全歯数	未処置歯数	処置歯数	要補綴歯数	欠損補綴歯数	異常なし	要指導	要精検
全市	11,500	316	2.7	26.9	12.9	0.7	13.3	0.2	1.2	31	54	231
40歳	2,274	71	3.1	28.1	16.8	1.0	10.4	0.1	0.2	6	15	50
45歳	380	5	1.3	28.6	18.2	0.2	10.2	0.2	0.4	-	2	3
50歳	2,643	61	2.3	28.4	14.9	0.7	12.7	0.1	0.2	6	10	45
55歳	382	6	1.6	27.5	12.0	0.2	15.3	0.0	1.3	1	1	4
60歳	2,210	57	2.6	27.4	11.7	0.5	15.1	0.3	0.8	3	12	42
65歳	971	44	4.5	26.3	10.2	0.9	15.2	0.1	1.5	7	5	32
70歳	2,640	72	2.7	24.2	9.7	0.6	14.0	0.3	3.0	8	9	55

*受診率は低い状態である。受診者のうち73%の方が精密検査の必要があった。

②ふしめ歯科検診推進事業（令和3年度要精密検査者検査結果）

	対象者	受診者数		要精密検査者数	精密検査受診の有無別人数				
		男	女		精密検査受診者			未受診	未把握
					異常認めず	歯周病であった者	歯周病以外であった者		
40歳	2,210	19	44	41	4	27	4	6	-
50歳	2,593	13	56	48	-	34	2	12	-
60歳	2,361	10	62	54	4	43	3	4	-
70歳	2,754	19	37	42	-	33	-	9	-
計	9,918	61	199	185	8	137	9	31	-

*精密検査受診者のうち74%が歯周病という結果であった。

③高齢者等歯科対策推進事業

		合計	中央	福部	鳥取東	河原	用瀬	佐治	気高	鹿野	青谷
在宅訪問調査	受診者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
施設訪問調査	実施回数	18	18	-	-	-	-	-	-	-	-
	受診者	78	78	-	-	-	-	-	-	-	-

*施設訪問調査は、4施設18回の申し込みがあった。

④口腔ケア研修会

演題：「最新！口腔ケア」

講師：国民健康保険智頭病院 歯科 科長 久保 克行さん

参加者 20人（会場聴講4名 リモート聴講16名）

*高齢者等施設職員対象の研修会であった。施設職員向けの高度な内容で、日頃から高齢者の口腔ケアに携わっている職員からは、大変勉強になったという感想があった。

⑤高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業（オーラルフレイル予防教室）

中学校区	合計	北圏域	南圏域	国府	河原	用瀬
実施回数	6	2	1	1	1	1
参加人数	53	16	18	6	8	5

*口腔機能の大切さを理解してもらいオーラルフレイル予防について学んだ。

⑥糖尿病性腎症重症化予防支援サービスフォローアップ講座

	合計	64歳未満	65～74歳	75～84歳
参加人数	32	2	28	2

*糖尿病とお口の健康及びオーラルフレイル予防についての講話を行った。

6 歯科保健・糖尿病予防対策東部圏域保健事業

(1) 歯科保健対策等

歯科保健関係者研修会の開催等による歯科保健の推進と人材育成、歯と口腔の健康づくり推進事業として学校、事業所等に歯科医師、歯科衛生士を派遣し歯科健康教室を実施し、むし歯予防、歯周疾患の罹患率の低下を図る。

ア デンタルプロフェッショナル派遣事業

モデル校	実施日	内容
八頭町立船岡小学校	令和4年 6月 9日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師による講話 (むし歯予防について) ・歯科衛生士による歯科保健指導 (適切なブラッシング方法について等)
	令和4年10月27日 (木)	
	令和5年 1月26日 (木)	
鳥取市立東郷小学校	令和4年12月15日 (木)	
	令和5年 2月 9日 (木)	

令和3年度より新たに2校がモデル校となり、3年計画のうち2年目の事業。

イ 職域・地域における歯周疾患検診促進パイロット事業

項目	件数	実施日
職域	0	実施なし
地域	0	実施なし

ウ 親子のよい歯のコンクール（一次審査）の実施状況

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

エ 歯科保健対策（8020運動）推進事業

事業名	開催日	内容
鳥取市歯科保健推進協議会及び東部圏域歯科保健推進協議会 合同会議	令和5年2月14日 (火)	・鳥取県東部圏域における歯科保健の課題等について検討
東部地域歯科保健関係者研修会	実施なし	

鳥取市歯科保健推進協議会及び東部圏域歯科保健推進協議会合同会議については、東部圏域1市4町の歯科保健事業の実施状況及び課題等を検討し、今後の東部圏域の歯科保健施策の方針について協議した。

(2) 糖尿病予防対策連携強化事業

糖尿病予備群、糖尿病有病者等を取り巻く様々な課題について知識を深め、関係機関が連携・協力し、対策を検討することで、東部圏域における糖尿病予防対策の推進を図る。

事業名	開催日	内容
東部圏域糖尿病予防対策検討会	令和5年2月16日 (木)	鳥取県東部圏域の糖尿病に関する現状報告、鳥取県における糖尿病対策の動向、糖尿病対策・糖尿病腎症重症化予防事業の取り組み状況、課題について検討。
東部圏域糖尿病予防対策研修会	令和4年10月31日 (月)	東部圏域市町の保健指導従事者等を対象に事例検討・講演を実施。27名参加。

【糖尿病予防啓発活動】

事業名	開催日	内容
世界糖尿病デー・世界COPDデー 啓発活動	令和4年11月10日 (木)	医療費適正化推進室と連携して簡易血糖値測定・保健指導を実施したほか、血管年齢測定、栄養相談、クイズや啓発展示等を実施。 来場者55名。

7 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

(1) 目的

慢性疾患や認知機能の低下、社会的な孤立など多様な課題を抱えている高齢者の増加に伴い、保健分野、医療分野、介護分野の連携した取り組みが不可欠となってきている。保健事業と地域支援事業を一体的に実施することで、多様化する高齢者の課題に迅速かつ効果的にアプローチし、高齢者が健康で自立した生活を送りながら安心して暮らせる地域社会を構築する。

(2) 実施圏域

令和4年度：11 日常生活圏域（北、南、江山、高草、湖東、湖南、国府、河原、用瀬、佐治、青谷の各中学校区〔用瀬と佐治は旧中学校、湖南と江山は学園校区〕）

(3) 事業内容・実績

【高齢者に対する主な個別支援（ハイリスクアプローチ）】

フレイルリスクの高い対象者を選定し、延べ107人の対象者（うち評価終了者は28人）へ個別支援。

① 低栄養防止事業対象者

8月に地域を担当する医療専門職として管理栄養士を配置し、看護師とともに2回の訪問支援を実施。低栄養フレイルリスクにある者が、医療専門職による訪問支援を受けることで、83%の人が現在の状態を3か月後に改善または維持することができた。

② 身体的フレイル予防事業対象者

年度途中にリハビリテーション専門職と看護師が2回の訪問支援を行う体制を整え実施。地域包括支援センターなどの必要な支援へ速やかにつながることができた。

③ 糖尿病性腎症重症化予防事業

（国保糖尿病性腎症重症化予防プログラム連携事業として医療費適正化推進室と実施）

- ・国保糖尿病性腎症重症化予防プログラム連携事業を終了した75歳以上の対象者に通知し、集団教育参加者へ、フレイル状態の把握と看護師、管理栄養士、歯科衛生士による個別支援。

【通いの場等への積極的な関与等の集団支援（ポピュレーションアプローチ）】

① フレイル予防教室

- ・フレイル予防教室は26か所、フォローアップ教室は令和3年と令和4年に介入した5か所で実施し、延べ676人の参加者へフレイル状態の把握及び健康教育・相談を行った。
- ・運動器測定（開眼片足立ち測定）では、31.8%の人が年齢相応未満であり、通いの場に参加する約3割の人がフレイル状態であることを把握した。教室では、フレイル予防の3本柱（栄養・運動・社会参加）の重要性についての知識向上だけではなく、「気持ちが前向きになった」「自信がついた」等の意識変容を認め、心理的側面での効果も得られた。
- ・地域包括支援センターや医療看護専門学校の地域の医療人材を活用した支援を行うことができた。



② 健康と暮らしを考える会

- ・中山間地域であり少子高齢化に直面する江山圏域の3地区公民館区（美穂、大和、神戸）にて、地域の健康福祉課題について、住民主体で話し合っ解決していく場づくりの支援として実施。
- ・市社会福祉協議会や地域包括支援センターとの協働実施により、参加機関と地域との顔の見える関係が出来ている。住民自身の意識の変化から、地域における主体的な取り組みにつながるものとして育ちつつある。今後も住民のニーズを捉えた支援を行っていく。

8 健康づくり普及啓発活動




第38回 鳥取市民健康ひろば

「乳幼児期から高齢者まで市民一人ひとりが生涯を通じてその人らしく健康で豊かな人生を送れること」を基本理念とし、第4期鳥取市健康づくり計画「とっとり市民元気プラン2021」を推進し、市民が健康づくりの意識と意欲を高めることを目的としている。「元気で楽しく暮らせるまちをめざして～健康寿命を延ばそう～」のテーマのもと、健康づくり講演会のほか、各種コーナーで健康相談や啓発展示等を実施した。

[日 時] 令和4年9月23日（金・祝）

[会 場] とりぎん文化会館

[概 要]

<p>内容</p>	<p>健康づくり講演会 講師 芦村 浩氏（心理相談員） 演題 「コロナ禍におけるストレスへの気づきと対処について」</p> <p>運動紹介 講師 馬淵 牧子氏（Fitness Ja-んぐる 運動指導員・看護師） 演題 「心とカラダが整うストレッチ」</p> <p>データヘルス講演会 講師 桑原 祐樹氏（鳥取大学医学部環境予防医学分野助教） 演題 「健康な生活を送るために今できること～鳥取県・鳥取市のデータから見えてきたこと～」</p> <p style="text-align: right;">来場者：74名</p> <p>健康・運動相談コーナー ※2部制（各部定員：40名 時間：1時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師相談（医師1名）：13名 ・歯科相談（歯科医師2名）：24名 ・薬の相談（薬剤師1名）：10名 ・運動相談（健康運動指導士3名）：19名 ・健康測定（in-body測定）：51名 ・栄養相談：12名 ・動脈硬化度測定：56名 ・骨密度測定：68名 ・ベジチェック：54名 ・血糖値測定：52名 <p>展示コーナー：86名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり活動紹介コーナー（健康づくり地区推進員、食育推進員、保険者協議会）等の取組 ・データ分析コーナー（県内の健康課題等に関するデータ分析結果の展示等）   
-----------	---

9 地区組織活動

(1) しゃんしゃん体操普及員活動

平成18年から「介護予防」と「地域のふれあい」を目的としたしゃんしゃん体操を行っている。鳥取大学の研究によるとこの体操を継続して行くと、体力年齢の若返り効果につながる事が証明されている。また、平成27年度には認知症予防体操として「しゃんしゃんコグニサイズ」を考案。身体機能と認知機能を共に改善していけるよう、より多くの市民に普及していくために、今後も普及員を中心に各地域で活動していく。令和4年9月より、鳥取砂丘コナン空港でしゃんしゃん体操教室を立ち上げ、毎週木曜日にしゃんしゃん体操普及員を中心に活動している。誰でも自由に参加でき、1回につき20～30名程度の市民が参加し、運動をしている。

①しゃんしゃん体操普及員新規養成数の推移

(人)

29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
21	20	16	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	14	10

②しゃんしゃん体操普及員連絡会・研修会

	回数・参加者	内容
代表者連絡会	3回（参加者延 23人）	活動の振り返りと今後の活動計画について 養成講座・スキルアップ研修について
普及員連絡会	1回（参加者延 25人）	総会（研修会、活動報告、活動計画について）
研修会	1回（参加者延 25人）	「高齢者の体操について」「レクダンス」
啓発活動 （体操披露）	1回（参加者延 18人）	ご当地体操リモート交流大会

③しゃんしゃん体操普及状況

		開催箇所	延開催箇所	実人員	延人員	主な普及対象者	普及場所
普及員の 年間実績 報告	単発	46	—	—	717	地区住民、デイサービス、サロン、老人会、施設入所者など	地区公民館・集会所、憩いの家、施設など
	継続	55	1,334	758	20,024		
	総計	101	1,334	758	20,741		

④介護予防測定

実施地区	参加人数	実施地区	参加人数
青谷地区	6	大和地区	6
修立地区	14	城北地区	23
若葉台地区	10	鹿野地区	9
明德地区	12	松保地区	9
湖山西地区	7	福部地区	9

(2) 鳥取市民健康づくり地区推進員活動

・会員数 978人（会長1人、副会長3人、会計1人、常任理事6人、監査2人、理事41人）（令和4年4月1日現在）

①地区健康づくり推進員会

新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、事業検討委員会や各地区で計画立案し自主活動を実施することができた。

②連絡協議会

	事業名	回数・実施日	内 容	参加者
会議	三役会	5回	各事業検討委員会の取り組みについて	延 24人
			理事会、各事業の進捗状況について、予算について	
			次年度の計画について	

常任理事会	5回	各事業検討委員会の取り組みについて	延43人	
		三役会・4市交流会の報告、理事会について		
		第17期委嘱状交付式について		
		令和4年度事業報告、決算・令和5年度事業計画について		
理事会	5/9	令和3年度協議会事業報告、決算及び会計監査報告 令和4年度事業計画、予算、地区活動費（案） 地区活動費、鳥取市民健康ひろば、ブロック研修会、事業検討委員会、ボランティア保険など	37人	
	7/29	各事業の進捗状況、健康づくり地区推進委員連絡協議会アンケート調査、鳥取市民健康ひろば、健康づくり講演会、4市交流会について、ブロック情報交換	34人	
	10/28	各事業の進捗状況、健康づくり地区推進委員連絡協議会アンケート調査結果報告について	34人	
	12/23	検診受診啓発ポスター標語の表彰式、各事業の進捗状況について  	33人	
	2/24	令和4年度協議会事業報告 令和5年度協議会事業計画、予算、地区活動費（案） 来年度スケジュールなど協議	36人	
	その他	年間 9回	健康ひろば実行委員会、健康づくり推進協議会、県関係会議	延9人
事業検討委員会	たより編集委員会	9回	第49号・50号・記念号たより内容・発行の検討、発行作業（2回）	延56人
	タバコ・アルコール対策委員会	6回	タバコ・アルコール対策の検討、禁煙ポスターの作成、地区での禁煙のぼり旗の掲示、世界禁煙デーイベント会場での啓発活動、健康づくり地区推進員を対象としたタバコに関するアンケート調査の実施	延67人
	検診受診率向上委員会	8回	受診率向上対策の取り組み検討、検診標語の募集及びポスター作成、地区での啓発活動の情報交換、健診受診率向上劇の公演	延84人
	運動推進委員会	6回	運動推進における地域での取り組み検討、ウォーキングマップの作成	延73人
研修会	理事研修会	7/29	講話「ウォーキングマップ・地区のウォークコースの紹介」  	34人
		10/28	講話「認知症の予防について」 講師：鳥取市中央包括支援センター介護支援専門員 金谷 佳寿子	34人

		12/23	講話「みんなで支えよう大切な命」 講師：開業保健師 渡部 一恵 氏	33 人
ブ ロ ッ ク 別 研 修 会	市街地 (醇風)	10/2	・各地区活動報告「コロナ禍での活動の工夫」 ・講話「健康で長寿の秘訣はフレイル予防～運動習慣定着の重要性～」	23 人
	邑法 (美保)	10/22	・講話・実技「効果的に身体を動かそう！」 ・実技：グランドゴルフ	39 人
	湖東 (城北)	10/2	・講話「鳥取市民元気プラン 2021 について」 ・地区活動報告（浜坂地区・中ノ郷地区） ・講演「ロシアの生活習慣と健康づくり」 ・意見交換「しゃんしゃん体操の普及について」	28 人
	千代 (大正)	10/15	・講話「認知症について」 ・ウォーキングマップの紹介	17 人
	東 (福部)	12/3	・講話・実技「フレイルを予防し、健康寿命をのばそう！」 ・地区活動紹介（谷地区・福部町）	15 人
	南 (佐治)	7/9	・講話「歯とお口の健康」 ・講話・実技「肩・腰・膝の痛みを和らげる体操！」	34 人
	西 (気高)	11/26	・グループワーク「継続できる運動について考えよう」 ・グループワーク全体発表（運動の紹介） ・みんなで出し合った運動の実践（レクリエーションを通して）	12 人
	推進員研修会	随時	地区総会に併せて実施	—
事 業 協 力	鳥取市国保 保健事業協力	随時	糖尿病予防啓発キャンペーン （簡易血糖検査、保健指導、栄養相談、内科医相談 等）	—
	保健事業協力	随時	教育・相談・検診など保健事業の協力 他	—
	鳥取市民 健康ひろば	9/23	啓発パネルの展示、各種測定コーナーの補助 等	24 人

(3) 鳥取市食育推進委員会

本市が実施する養成講座を受講、修了した推進員が「家庭からはじまる食育の輪」をスローガンに食を通じて生涯にわたって健康に過ごせる人を増やす活動を行っている。

内容	事業名	支部名	全域	鳥取	国府	河原	用瀬	気高	鹿野	青谷	合計
		会員数	415	253	17	28	38	34	21	24	
総会	総会	月日	4月28日	4月12日	書面議決	4月8日	4月2日	書面議決	4月4日	4月12日	
		人数	43	26	15	22	24	38	9	14	191
研修	教育研修	回数		2	1	1	1	1	1	1	8
		人数		122	14	19	17	18	7	18	215
	スキルアップ研修	回数		1	1	1	1	1	1	1	7
		人数		81	12	16	21	10	7	15	162
地区活動	地区伝達講習	回数		37	4	6	6	12	7	12	84
		人数		693	79	84	141	113	87	219	1,416
		(内一般)		504	62	68	117	83	76	182	1,092
		(内食推)		189	17	16	24	30	11	37	324

①教育研修・各地区伝達講習会

テーマ：「今日からできる！適塩生活のススメ ～ひとつまみの塩とらんが命を守る～」

内容：講話、適塩2択クイズ、塩分チェックシートによるみそ汁塩分測定、減塩商品展示

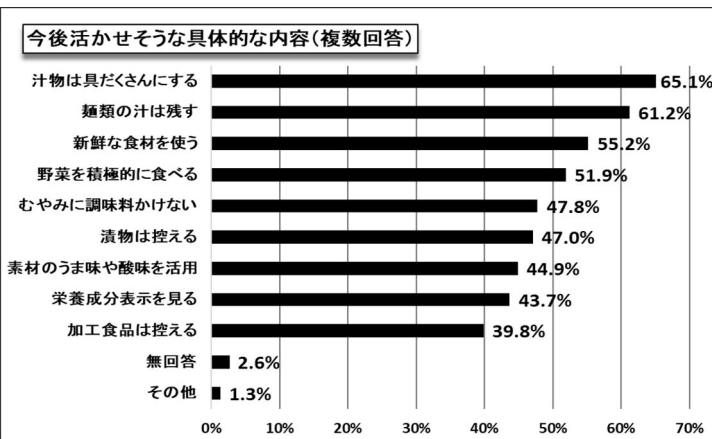
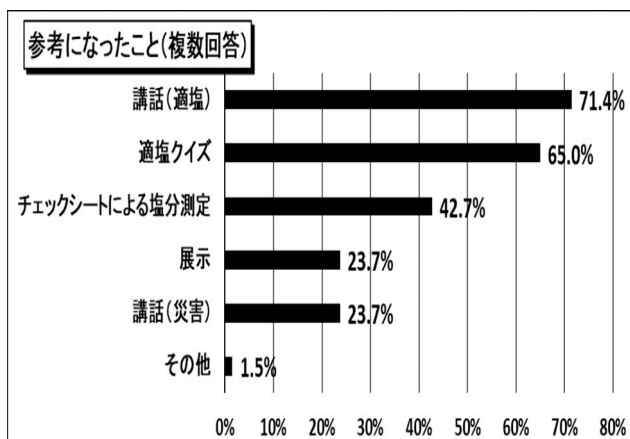
②その他委託事業・協力事業

- ・鳥取市報「食」コーナー掲載
- ・ぴよんぴよんネット「食育らくらくクッキング」放映
- ・鳥取市民健康ひろば 展示
- ・適塩啓発事業協力（適塩ワークショップ シオとらんラボ）
- ・「食育と減塩かるた」作成

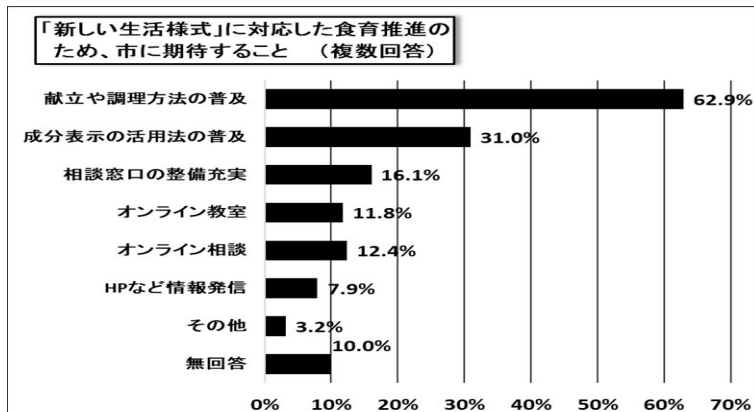
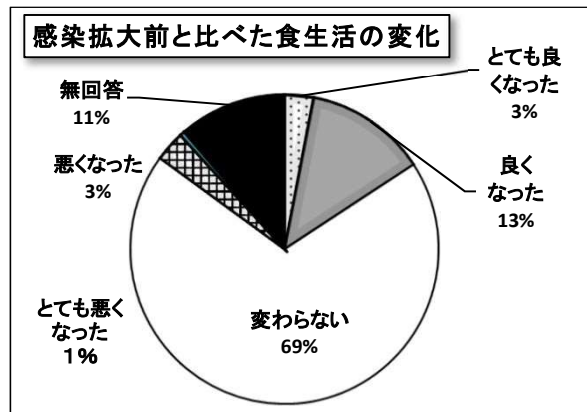


「シオとらん」
鳥取市適塩イメージキャラクター

③伝達講習会 受講者アンケート結果から（成人計1,092人受講 982人回収 回収率89.9%）



食育推進員による講話や適塩クイズは半数以上が参考になったと回答した。今後の食生活で活かそうなことは、「汁物を具たくさんにする」「麺類の汁は残す」が6割以上であった。



(4) 鳥取市子育て支援ネットワーク 【活動報告】

- ①会議：全体会2回 役員会2回 開催
 ②研修 令和4年10月4日 30人参加
 講演「子育て家庭を取り巻く現状と家庭支援のヒント」
 講師 子ども家庭支援センター希望館 スーパーバイザー 花川 治広 さん
 ③健診ボランティア（1歳6か月児健診時）1～2名ずつのボランティアで実施
 中央：36回 実20人 延62人参加（登録者20人） 東：10回 実10人 延22人（登録者10人）
 研修交流会：令和5年1月30日 14人参加
 ③ひだまり（産後サロン） 12回 実128組 延314組

(5) ゆうゆうとっとり子育てネットワーク 【活動報告】

年月日	代表者会・交流会	活動等	年間活動(4～3月)
令和4年5月 書面開催	子育てサークル代表者会総会	ゆうゆう新聞発行	運営委員会 実施回数：2回
令和4年6月27日 令和5年3月17日	ゆうゆうとっとり子育てネットワーク ミーティング	情報共有 運営企画・調整	出張ゆうゆう 実施回数：14回

出張ゆうゆう（随時）	ゆうゆうスタッフが、依頼のあった子育てサークルへ“遊びを出前”。 内容：「リトミック」「絵本」「紙芝居」「パネルシアター」「手遊び」「工作」「親子遊び」等をサークルの希望に合わせて実施。 会場：各子育てサークルの活動拠点（公民館） 対象：ゆうゆうとっとり子育てネットワークに登録の育児サークル 参加人数：152人 実施回数：14回
会議出席（随時）	鳥取市子育て支援ネットワーク・鳥取市総合企画委員会 鳥取市下水道等事業運営審議会・鳥取市民健康づくり推進協議会 鳥取市移動等円滑化協議会・鳥取県福祉のまちづくり推進協議会 鳥取県東部保健医療圏地域保健医療協議会

(6) ブックスタート事業 【活動報告】

中央会議（令和4年9月5日） 会場：中央図書館 多目的ホール	内容：前年度の活動の振り返り、今年度実施に向けて 参加者：ボランティア(11人)、図書館(2人)、保健師(3人)
研修会（令和4年11月28日） 会場：鳥取市役所駅南片舎地下B5会議室	内容：「こどものことばを豊かに育てる絵本」 講師：末宗 辰彦氏 参加者：ボランティア(19人)、図書館(7人)、保健師(8人)
選書の会（令和4年12月16日） 会場：中央図書館 多目的ホール	内容：令和5年度ブックスタート配布絵本の選書について 参加者：ボランティア(6人)、図書館(3人)、保健師(2人)
選書の会（令和5年3月13日） 会場：中央図書館 多目的ホール	内容：令和5年度ブックスタートセカンド配布絵本選書について 参加者：ボランティア(12人)、図書館(5人)、保健師(3人)
南ブロックブックスタート事業 検討会（令和5年3月1日） 会場：用瀬保健センター	内容：令和4年度の振り返り、来年度実施に向けて 参加者：ボランティア(1人)、お話し宅急便キキ(2人)、 図書館(1人)、保健師(3人)
西地域ブックスタート連絡会 （令和4年6月1日、 令和5年2月1日） 会場：気高保健センター	第1回：今年度実施に向けて、関連事業の実施について 第2回：今年度の活動の振り返り、関連事業の実施について、次年度実施に向けて 参加者（延）：ボランティア(9人)、図書館(5人)、 保健師(6人)

鳥取東保健センターに関する事業

鳥取東保健センターは、健康・子育て推進課の保健センター部分に相当する業務を担っており、乳幼児健診、各種がん検診、健康づくり事業、食育推進事業などを行っている。

担当地域は、東中学校区（修立、岩倉、稲葉山）、桜ヶ丘中学校区（面影、米里、津ノ井、若葉台）、国府中学校区となっており、国府町総合支所内に設置されている。

（１）職員配置状況

所長（保健師）	1人	訪問看護師	1人
保健師	5人	事務	1人
栄養士	1人		

（２）令和４年度の重点的な取組み

①他機関と連携した地区活動の展開
<p>【東中学校区】 鳥取東地域包括支援センター、鳥取市社会福祉協議会とともに福祉保健関係機関連絡会を開催。認知症を学ぶ講座の開催、民生児童委員との意見交換会を実施する等、地域活動へ展開。</p> <p>【桜ヶ丘中学校区】 鳥取桜ヶ丘地域包括支援センター、鳥取市社会福祉協議会とともに福祉保健関係機関連絡会を開催。地域で実施できる事業や保健と介護予防一体的実施事業の実施に向け具体的検討。</p>
②生活習慣病重症化予防
<p>新型コロナウイルス感染防止のため、訪問指導が実施できない期間があったが、人間ドック手続き時の保健指導、特定健診受診者への電話による指導、健診結果相談会を実施し、予防啓発の機会をつくった。</p>
③国府町大茅地区における保健と介護予防一体的実施事業
<p>実施 3回 参加者 延18人</p> <p>鳥取市中央包括支援センター、東部地域包括支援センター、鳥取市社会福祉協議会とともにフレイル予防教室を実施。各種測定によりフレイル状態を把握し、理学療法士、歯科衛生士による講話を行った。また、管理栄養士がフードモデルで一日のたんぱく質の量を説明。</p> <p>初回よりフレイル傾向が改善し、健康を意識するようになり、日常生活で体を動かすようになったと行動変容に繋がった。</p>

（３）主な活動実績

家庭訪問（延世帯数）	母子 336	成人等 104
保健指導者数（延）	来所 64	電話 390
健診、地域活動等回数・参加者数（延）	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児集団健診 48回 788人 ・成人集団健診 14回 410人 ・健康教育・健康相談（食育事業含む） <ul style="list-style-type: none"> （母子） 37回 368人 （成人） 58回 637人 ・健康づくり地区推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> 21回 309人 ・食育事業 26回 211人 	

保健総務課に関する事業

(1) 外部の専門家と連携した保健医療福祉連携強化の取組

- ①鳥取県立中央病院地域医療支援評議会への参加（4回）
 - ・地域委員、病院側委員で構成される評議会に委員として参加
 - ・鳥取県立中央病院が地域医療推進のために必要な支援業務について検討
- ②鳥取赤十字病院地域医療支援病院運営協議会への参加（3回）
 - ・医療関係団体、行政機関等の代表者で構成する協議会に委員として参加
 - ・鳥取赤十字病院が地域医療推進のために必要な支援業務について検討
- ③鳥取市立病院地域医療支援病院運営委員会への参加（4回）
 - ・医療関係団体、行政機関等の代表者で構成する委員会に委員として参加
 - ・鳥取市立病院が地域医療推進のために必要な支援業務について検討

(2) 市行政内部での保健医療福祉連携強化の取組み

- ①市民医療講演会の開催（市立病院主催、保健総務課・健康・子育て推進課共催）
 - ・市民の健康づくりを目的に開催した。（8回）
- ②「地域包括ケアシステムシンポジウム」（第88回市民医療講演会）の開催
 - ・市立病院、鳥取市の共同開催により、「地域包括ケアシステムシンポジウム」を開催し、取組や課題について講演を行った。

第1部

○テーマ：在宅看取りとは？「うちげでいきたい」の制作秘話

講師：孫 大輔 医師（鳥取大学医学部 地域医療学講座 講師）

第2部

○テーマ：在宅医療に関わる発表

講師：佐々木 修治 医師（在宅ケアクリニック米子）

藤田 良介 医師（とっとり在宅ケア・漢方クリニック）

内田 千公 看護師（訪問看護ステーションかけはし）

原田 麻里 医療ソーシャルワーカー（鳥取市立病院）

(3) 鳥取市医療看護専門学校の状況

令和3年度に、新たに医療福祉総合学科が新設された。看護学科については、第5期生が卒業し市内医療機関への就職につながっている。

《令和4年度入学生の状況》

設置学科	学科名	内容	入学者数	／	定員数
	・看護学科	(昼間・3年制)	78名	／	80名
	・理学療法士学科	(昼間・3年制)	40名	／	40名
	・作業療法士学科	(昼間・3年制)	29名	／	40名
	・医療福祉総合学科	(昼間・2年制)	11名	／	40名
合 計			158名	／	200名

(4) 衛生統計事務

調査名	調査目的	令和4年度実績
人口動態調査	人口動態事象（出生・死亡・死産・婚姻・離婚）を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得る。	毎月報告
国民生活基礎調査	国民生活の基礎的事項を把握し厚生労働行政の企画運営に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の親標本を設定するために実施。	調査日：6月2日 調査地区数：38地区 (4町：8地区)
社会保障・人口問題基本調査	人々の生活、家族関係と社会経済状態、社会保障制度の果たしている機能を把握し、行政施策の基礎資料を得る。	調査日：7月1日 調査地区数：1地区 (4町：0地区)

(5) AED設置状況

①設置台数

設置台数 : 234台 (令和5年3月末日時点)

うち貸出可能台数：設置台数のうち3台

②設置場所

- ・市役所各関係施設
- ・各総合支所
- ・生涯学習施設
- ・各地区公民館
- ・スポーツ施設
- ・文化観光施設
- ・各市立小学校
- ・各市立中学校
- ・各市立保育園、幼稚園 等

③屋外設置

平成25年10月、「AED屋外設置に係る方針について」を定め、施設が閉まっている夜間及び休日等もAEDが使用できるように体制を整備

令和4年度末現在、9施設について屋外設置実施

(6) 熱中症予防啓発

①鳥取市公式ウェブサイトによる注意喚起

5月から9月の間、鳥取市公式ウェブサイトにて熱中症に関する啓発記事を掲載

【掲載内容】

- ・「暑熱順化」の呼びかけ
- ・熱中症の基礎知識、予防方法
- ・新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」における熱中症予防
- ・鳥取県が発令する熱中症警報等の情報、熱中症による救急搬送件数
- ・鳥取市の暑さ指数(WBGT) など

②鳥取市報・広報誌による注意喚起

市報6月号、7月号、8月号、民間企業の広報誌による注意喚起

③鳥取市ケーブルテレビ(ぴよんぴよんネット)による啓発

文字画面放送及び鳥取市広報番組内での啓発・注意喚起

④鳥取市公式LINEによる啓発・注意喚起

⑤保健所内に熱中症予防啓発コーナーを設置

⑥地域での取り組み

- ・各地域での健康教育や健康相談会場における啓発
- ・市内小中学校、保育園、幼稚園に対する注意喚起
- ・市内高齢者関連施設、職員に対する注意喚起
- ・市内障がい者関連施設、職員に対する注意喚起
- ・健康づくり地区推進員、民生委員・児童委員を通じ、訪問や地区活動における啓発

(7) 地域保健医療推進事業

事業概要	実績等
鳥取県東部保健医療圏の地域保健医療協議会及び地域医療構想調整会議を開催し、保健医療計画の策定及び推進に関する協議、地域医療構想推進のための協議を行う。 (令和5年度鳥取県医療介護総合確保基金(医療)の圏域要望に係る提案及び対応方針等について協議を実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・東部保健医療圏地域保健医療協議会全体会議及び医療提供部会合同会議兼地域医療構想調整会議：2回(うち書面開催1回) ・へき地・救急医療部会：未開催 ・健康づくり部会：1回 ・第2回医療政策研修会/地域医療構想アドバイザー研修会(厚労省主催)の参加：1回(Web開催)

(8) 在宅医療介護連携事業

事業概要	実績等
東部医師会に「在宅医療介護連携推進室」を設置し、行政と医師会が協働して国が示す8項目の事業に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーター養成研修：1回 ・東部地区在宅医療介護連携推進協議会、ワーキング等への参画

(9) 保健師等教育研修事業

事業概要	実績等
本市、東部圏域の町及び県の公衆衛生に従事する保健師等を対象に地域保健技術向上のための研修会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・東部圏域地域保健技術研修会：0回 ・初任期保健師事例検討会：3回 ・初任期保健師情報交換会：1回 ・乳幼児健診従事者研修会：2回 ※新型コロナウイルス感染症の影響により研修会の回数減

(10) 受動喫煙防止対策事業

事業概要	実績等
健康増進法の改正により受動喫煙防止対策が強化され、令和元年7月から第一種施設(行政機関等)が原則敷地内禁煙に、令和2年4月からは第二種施設(第一種施設以外の、多数の者が利用する施設)が原則屋内禁煙になった。 望まない受動喫煙を防止するため、正しい知識の普及啓発や相談対応、現地確認等を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙防止に係る相談対応：17件 現地確認：5件 ・世界禁煙デーや健康増進普及月間にあわせ、啓発物展示や市報掲載など啓発を実施 ・イベントでのブース出展(イオン鳥取店開催) ・食品衛生責任者講習会での啓発 ・鳥取県受動喫煙防止対策支援事業補助金(申請書受理・進達 0件)

(11) その他

①森永ひ素ミルク中毒被害者支援関係事業

事業概要	実績等
森永ひ素ミルク中毒事件被害者が生涯健康に生活できるよう行政協力を行う。支援団体である公益財団法人ひかり協会と連携し、被害者救済事業を行うため会議等を開催するとともに、事件の風化を防ぐため、関係する職員に伝達を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市行政懇談会：1回 (行政協力要請内容に対し書面回答) ・鳥取市中間協議：0回 ・全国担当係長会議：1回

②健康づくり応援施設事業

事業概要	実績等
健康づくり(運動・食事)に積極的に取り組む施設・団体・個人を「健康づくり応援施設(団)」に認定し、地域の健康づくりに協力して取り組んでいただく。	健康づくり応援施設(運動・食事) 令和4年度新規認定：0件

③災害医療対策事業

事業概要	実績等
東部圏域(1市4町)の災害時の医療救護を担っており、救急医薬品等の備蓄と、必要物資の供給体制、医療救護活動に迅速に対応できる体制を平時から訓練するとともに、関係者の研修受講を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・DHEAT基本研修：1回(Web開催) ・災害時透析医療ネットワーク意見交換会：1回 (Web併用) ・鳥取県災害医療コーディネーター研修会参加：1回 (Web会議) ・鳥取空港災害対策緊急計画連絡協議会参加：4回、鳥取空港消火救難訓練参加：1回 ・災害用備蓄品、災害用備蓄医薬品等の補充 ・損害保険加入 ・災害時の保健所等の役割に関する研修：1回

保健医療課に関する事業

1 医事薬事

① 医療従事者等の免許申請受理事務

厚生労働大臣又は鳥取県知事が交付する免許について、新規申請、書換え交付申請、再交付申請等を受理。
医療従事者免許申請受理件数 (単位：件)

看護師	保健師	助産師	准看護師(知事)	理学療法士	作業療法士	視能訓練士	医師・歯科医師	薬剤師	臨床検査技師	診療放射線技師	管理栄養士	栄養士(知事)	計
252	46	4	13	23	33	1	35	25	14	2	23	40	511

② 医事・薬事に係る許認可等

〈1〉病院、診療所、薬局、医療機器販売業等の許可、届出の受理等

ア 病院・診療所 (単位：施設、件)

区分	病院・診療所 の変更許可	病院の 使用許可	診療所の 開設許可等	診療所の 休・廃止	年度末登録総数	
					病院	診療所
鳥取市	9	4	7	18	12	252
4 町	6	4	-	1	2	39

イ 薬局等

(単位：施設、件)

区 分		新規 許可・届出	許可 更新	変更届	廃止届	年度末 登録総数
薬 局	鳥取市	16	13	207	6	290
	4 町	0	2	6	0	10
卸売販売業	鳥取市	1	6	16	2	25
	4 町	0	0	0	0	0
店舗販売業	鳥取市	6	6	107	5	126
	4 町	0	1	16	0	17
高度管理医療機器販売業・貸 与業	鳥取市	22	39	71	10	145
	4 町	1	5	0	0	6
管理医療機器販売業・貸与業	鳥取市	54		65	11	130
	4 町	24		5	0	29

〈2〉毒物劇物に係る許認可等

(単位：件)

区分		新規登録	登録更新	変更届	登録変更 申請	廃止届	年度末 登録総数
毒物劇物販売業	鳥取市	4	38	8	1	10	61
	4 町	0	7	0	0	0	7

〈3〉施術所(あん摩マッサージ指圧師、はり・きゅう等)の届出の受理等

あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律に基づく届出の受理及び使用制限等の処分を行う。(単位：件)

区分	開設届	変更届	廃止届	年度末登録総数
鳥取市	15	16	11	131
4 町	-	2	-	16

〈4〉歯科技工所の届出の受理等

歯科技工士法に基づく届出の受理及び使用禁止命令等の処分を行う。(単位：件)

区分	開設届	変更届・廃止届	年度末登録総数
鳥取市	-	1	35
4 町	-	-	5

③ 医療施設等の検査等の状況

〈1〉医療関係施設の立入検査の状況

ア 対象施設の選定方針

- ・前年度立入検査を実施していない病院及び前年度指摘のあった病院
- ・新規届出のあった診療所及び確認が必要と判断した診療所
- ・新規届出のあった助産所、施術所、歯科技工所
- ・全衛生検査所

イ 検査実施体制

病院：部門ごとに専門知識のある職員を配置する。医師（診療部門等）保健師（看護部門）、薬剤師（薬剤部門）、栄養士（給食部門）、診療放射線技師（放射線部門）、事務職員（管理部門等）など。
 診療所・その他：事務職員、診療放射線技師等必要に応じた職員を配置して実施。
 ※新型コロナウイルス感染症拡大のため立入検査を中止し、新規届出の診療所のみ実施。
 ※令和4年度において、病院及び診療所は文書徴収を実施したことで、立入検査をしたこととみなされる。
 衛生検査所：鳥取市精度管理専門委員及び保健所職員により実施。

ウ 当年度重点検査事項

前年度に問題のあった項目など

(単位：施設、件)

区分	対象施設数	検査施設数	不備事項件数等		不備事項等の概要			主な不備事項等の概要
			施設数	件数	処分等件数			
					処分	告発	指導	
病院	市	12	12	-	-	-	-	-
	4町	2	2	-	-	-	-	-
一般診療所	市	155	29	-	-	-	-	-
	4町	24	6	-	-	-	-	-
歯科診療所	市	97	7	-	-	-	-	-
	4町	14	2	-	-	-	-	-
衛生検査所	市	4	4	-	-	-	-	-
	4町	-	-	-	-	-	-	-
その他	市	16	16	-	-	-	-	-
	4町	0	-	-	-	-	-	-
合計	市	284	68	-	-	-	-	-
	4町	40	10	-	-	-	-	-

注（1）検査施設数は、延べ施設数を記載。

（2）その他には、助産所、施術所、歯科技工所を記載。

〈2〉薬事監視の状況

ア 対象施設の選定方針

- ・概ね3年に1度の頻度で立入検査を実施する。
- ・前年度に違反事例、指導事例があった事業者や取扱処方箋枚数が多い薬局を優先的に選定する。
- ・前年度の医薬品販売制度実態把握調査の結果を参考にする。

イ 検査実施体制

通常監視は、薬剤師1～2名により対応する。

通報案件等懸案事象に対する薬事監視については、薬剤師2名により対応する。

ウ 当年度重点検査事項

処方箋の付け替えによる調剤記録の不備

薬局の管理者による実地に管理する薬局以外の薬局従事の有無

処方箋なしでの処方箋医薬品販売の有無

(単位：施設、件)

区分	対象施設数	検査施設数	違反等の件数等		違反事項等の概要				主な不備事項等の概要	
			施設数	件数	処分等件数					
					処分	告発	始末書	その他		
医薬品	薬局	96	90	-	-	-	-	-	-	
	製造業（薬局）	5	9	-	-	-	-	-	-	
	製造販売業（薬局）	5	9	-	-	-	-	-	-	
	卸売販売業	20	21	-	-	-	-	-	-	
	店舗販売業	55	21	-	-	-	-	-	-	
	薬種商販売業	1	0	-	-	-	-	-	-	
	特例販売業	1	0	-	-	-	-	-	-	
	再生医療等製品販売業	5	6	-	-	-	-	-	-	
医療機器	高度医療機器販売等	215	165	-	-	-	-	-	-	
	管理医療機器販売等	759	71	-	-	-	-	-	-	
毒物劇物	一般販売業	117	88	-	-	-	-	-	-	
	農薬用品目販売業	33	6	-	-	-	-	-	-	
	特定品目販売業	0	0	-	-	-	-	-	-	
	業務上取扱者	2	0	-	-	-	-	-	-	
合計	1,314	486	0	0	0	0	0	0		

注（１）検査施設数は、延べ施設数を記載。

④ 医療相談、薬事関係啓発事業等

〈１〉医療相談

医療安全支援センターによる医療相談対応を行う。

ア 医療相談件数

(単位：件)

区分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合計
鳥取市	1	1	0	0	2
不明（匿名相談）	7	22	12	10	51
計	8	23	12	10	53

イ 相談内容の内訳

(単位：件)

相談内容								
医療行為等	コミュニケーション※1	施設	情報※2	紹介	医療費	知識※3	その他※4	合計
13	14	0	0	3	1	1	21	53

※1 説明等に関するもの、基本的マナーに関すること。 ※2 カルテ開示、セカンドオピニオンを含む。

※3 健康や病気、薬に関する知識に関すること。 ※4 分類されないもの及び医療事故調査支援センターに関すること。

〈２〉薬物乱用防止普及啓発

- 鳥取県薬物乱用防止指導員東部地区協議会理事会の開催 書面開催
- 鳥取県薬物乱用防止指導員東部地区協議会総会及び講習会の開催 中止
- 令和4年度薬物乱用防止指導員研修会 中止
- 令和4年度「ダメ。ゼッタイ。」街頭キャンペーン 中止

〈３〉献血等の推進

献血推進に係る啓発等を行う。

- 「愛の血液助け合い運動」街頭献血キャンペーン 中止

※〈2〉〈3〉については、新型コロナウイルス感染症感染拡大による。

〈４〉骨髄バンクの登録状況 ※平成31年3月～

実績なし

2 感染症・疾病対策

1 予防接種事業

(1) 定期予防接種の接種状況

(単位：延べ件数、%)

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度
種類	1価(2回)	891	1,753	1,747
	5価(3回)	379	1,149	1,094
B型肝炎(3回)		3,990	3,791	3,725
ヒブワクチン(4回)		5,545	5,115	5,000
小児用肺炎球菌(4回)		5,448	5,119	4,992
四種混合1期(4回)		5,560	5,158	4,929
三種混合1期(4回)		—	—	2
二種混合2期		1,580	1,464	1,311
BCG		1,345	1,301	1,236
水痘(2回)		2,763	2,405	2,306
麻しん 風しん 混合	1期	1,376	1,274	1,231
	2期	1,535	1,528	1,387
	接種率	94.6%	93.2%	93.0%
日本 脳炎	1期(3回)	4,809	2,789	4,819
	2期	2,120	799	2,498
HPVワクチン(3回) 【注2】	定期通常	183	796	1,179
	キャッチアップ	—	—	1,322

年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
種類	風しん	2	7	0	
	5期【注】 麻しん風しん混合	830	477	281	
風しん抗体検査【注3】		2,747	1,366	766	
インフル エンザ	65歳以上	40,241	36,919	36,561	
	接種率	72.6%	66.0%	65.0%	
	60～64歳	40	48	36	
		接種率	50.6%	64.9%	52.9%
高齢者 肺炎 球菌 感染症	60～64歳	15	6	8	
	65歳相当	1,091	1,006	780	
	70歳相当	360	218	226	
	75歳相当	146	176	223	
	80歳相当	206	165	142	
	85歳相当	198	124	134	
	90歳相当	162	125	104	
	95歳相当	64	78	61	
	100歳相当	7	14	12	
	101歳以上				
合計		2,249	1,912	1,690	

【注1】 ロタワクチンは、令和2年10月1日より定期接種として実施。

【注2】 HPV(子宮頸がん予防)ワクチンは、令和4年4月より積極的な勧奨を再開。定期接種の通常対象者に加えて、積極的な勧奨差し控えにより接種機会を逃した方々に令和6年度までキャッチアップ接種を実施。

【注3】 風しん抗体検査・第5期定期予防接種は、令和元年度から令和6年度までの期間、成人男性を対象に実施。

※ ()内の回数は、ワクチンごとの接種回数。記載のないものは1回接種。

(2) インフルエンザ予防接種等費用助成事業(任意接種)

ア インフルエンザ予防接種

(単位：延べ件数)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対象者			
重度の心身障がい者・重症の心身障がい児	200	193	183
就学前乳幼児	6,632	5,482	4,307

イ 風しん予防接種

(単位：人)

対象者【注4】	妊娠希望の女性※	妊婦の夫	妊婦の同居者	妊娠希望の女性の同居者※
種類				
風しん	43	3	0	0
麻しん風しん混合	114	22	0	2

【注4】 ※印の方は、風しん抗体価が低いことが要件

ウ ヒトパピローマウイルス感染症に係る任意接種償還払い

令和4年4月より実施しているHPVワクチンキャッチアップ接種の対象年齢であって、令和4年3月末までに自費でHPVワクチンの任意接種を受けた方に対して、申請に基づき接種費用の助成を実施。

令和4年度助成件数：43件(18名)

〈3〉新型コロナウイルス感染症に係る予防接種 (単位：人)

接種区分	年 度	
	令和3～4年度	
初回接種	1回目 (6か月以上)	148,480
	2回目 (6か月以上)	147,682
	3回目 (6か月～4歳)	163
追加接種	3回目 (5歳以上)	121,741
	4回目 (12歳以上)	82,299
	5回目 (12歳以上)	41,748

② 感染症対策

〈1〉感染症の発生の届出、報告及びまん延防止対策

疫学調査等を実施し、感染拡大を早期に防止するとともに、感染予防のための健康教育や啓発を行う。

ア 感染症の発生等の状況 (結核を除く)

(単位：件、人)

区 分	発生状況			疫学調査件数				集団発生件数	
	報告件数	患者数	死亡者数	調査件数	調査人数	検査検体件数	発見患者数		
新 型 インフル 等	新型コロナウイルス感染症	53,686	53,686	92	-	-	69,934	53,686	-
3類	腸管出血性大腸菌感染症	5	5	-	5	23	23	0	-
4類	Q熱	1	0	-	-	-	1	0	-
4類	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	10	2	-	10	10	10	2	-
4類	日本紅斑熱	14	7	-	14	14	20	7	-
4類	ブルセラ症	1	0	-	-	-	1	0	-
4類	マラリア	1	1	-	1	1	1	1	-
4類	レジオネラ症	2	2	-	2	2	-	-	-
5類	アメーバ赤痢	2	2	-	-	-	-	-	-
5類	カルピペネム耐性腸内細菌感染症	4	4	-	-	-	5	-	-
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	-	-	-	-	-	-
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	3	3	-	-	-	-	-	-
5類	水痘 (入院例)	1	1	-	-	-	-	-	-
5類	梅毒	11	11	-	-	-	-	-	-
5類	百日咳	1	1	-	-	-	-	-	-
5類	麻疹	1	0	-	1	1	3	0	-
5類	風しん	1	0	-	1	1	3	0	-
5類	感染性胃腸炎	22	349	-	-	-	-	-	22
5類	A群溶血性連鎖球菌感染症	5	53	-	-	-	-	-	5
5類	RSウイルス感染症	10	153	-	-	-	-	-	10
5類	インフルエンザ	7	104	-	-	-	-	-	7
計		53,789	54,385	92	34	52	70,001	53,696	44

注 集団発生件数は、内数。

イ 風しん抗体価検査 (単位：件)

血液検査	件数
保健所検査	12
医療機関委託	161

〈2〉エイズ・性感染症の血液検査の実施と相談対応

ア エイズ及び性感染症の相談・検査の状況

(単位：人)

区分	エイズ			梅毒			クラミジア感染症			合計(延べ人数)			
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	
相談	電話	7	2	9	8	1	9	5	2	7	20	5	25
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(迅速検査再掲)	(0)	(0)	(0)	76	39	115	69	37	106	220	115	335	
検査	75	39	114										

イ エイズカウンセラー派遣事業

鳥取市保健所及び鳥取県東部圏域の医療機関に対し、カウンセラーを派遣することによりエイズ患者・感染者等の心理的ケアを行う。

令和4年度の派遣は0件であった。

〈3〉結核対策

結核に関する普及啓発を行うとともに、患者への服薬指導等の療養上の支援や接触者検診等の実施により感染拡大を防ぐ。

ア 結核登録者の状況

(単位：人)

区分	本年度中登録				本年度中登録除外						年度末登録数
	新規	再登録	転入	計	観察不要	死亡	転症	転出	その他	計	
鳥取市	13(4)	1(0)	1(0)	15(4)	12	5	1	2	1	21	26
4町	3(1)	0(0)	0(0)	3(1)	1	1	0	0	0	2	8

注 () 内には、LTBI(「潜在性結核感染症」と診断され結核医療の対象とされた者)を別掲。

イ 結核患者接触者健康診断、結核登録者精密検査実施状況

(単位：人)

区分	実施機関名	受診人員	ツベルクリン反応	胸部エックス線撮影者数	結核菌検査者数		IGRA検査者数	被発見者数	
					とまつ	培養		結核(確定例)	潜在性結核感染症
接触者健診	保健所	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託	53	0	21	2	2	37	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	53	0	21	2	2	37	0	1
・実対象者数：35人 実受診者数：33人 ・受診率：94%									
結核登録者精密検査	保健所	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託	28	0	28	1	1	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	28	0	28	1	1	0	0	0
・実対象者数：24人 実受診者数：20人 ・受診率：83%									
計	保健所	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託	81	0	49	3	3	37	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	81	0	49	3	3	37	0	1
・実対象者数：59人 実受診者数：53人 ・受診率：89%									

ウ 結核患者医療費公費負担制度(令和4年度診査会診査状況)

(単位：件)

区分	新規認定(入院)	継続(入院)	新規認定(通院)	継続(通院)
鳥取市	4	4	14	4
4町	2	5	4	3

〈4〉 肝炎の相談・検査・治療費助成の状況 (単位：件)

区分	相談件数	検査件数(医療機関分再掲)
鳥取市	4	25 (22)
4 町	3	12 (12)

(単位：件)

区分	肝炎治療特別推進事業		肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業	
	肝炎治療受給者証 交付申請件数 (新規件数再掲)	償還払件数	参加証交付件数 (新規件数再掲)	償還払件数
鳥取市	288 (34)	1	2 (2)	—
4 町	77 (9)	—	0 (0)	—

〈5〉 感染制御地域支援ネットワーク事業実施状況

ア 感染制御相談 (単位：延件)

件数	相談区分					
	感染症全般	感染症事例	感染管理組織	感染予防技術	環境管理	その他
1	1	—	—	—	—	—

イ 実地指導：6回 (新型コロナウイルス感染症対応について)

ウ 準備会・情報交換会・会議・研修会

区分	回数・内容	延人員
準備会	5回：当番 ICT を中心に東部圏域の感染管理認定看護師、東部医師会と共に情報交換会の内容を検討	東部 ICN、当番 ICT (日赤、生協、 県中、市立)
情報交換会	4回：東部圏域感染制御地域支援ネットワーク事業について 個人防護具着脱訓練 新型コロナウイルス感染症に関する知識 新型コロナウイルス感染症対応に関するアンケート結果	118人 (55 機関) 119人 (58 機関) 115人 (54 機関) 112人 (58 機関)
会議	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実施なし	
研修会	新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実施なし	

③ 難病対策事業

〈1〉 医療受給者証所持者の状況 (単位：人)

区分	特定医療費(指定難病) 医療受給者証所持者数	先天性血液凝固因子障害等 医療受給者証所持者数
鳥取市	1,578	8
4 町	341	1

〈2〉 難病患者の支援

難病患者やその家族が安心して療養生活を送れるよう、関係機関と連携しながら支援する。

ア 指導・相談対応件数 (単位：延べ件数)

区分	訪問指導	来所相談	電話相談
鳥取市	12	5	13
4 町	4	1	2

イ 難病事業の実施状況

区 分	回数・内容	延人数
難病患者医療相談会	内容：難病患者及びその家族に対し、病気や療養生活に関する正しい知識を提供するとともに、交流の場を設ける ※新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実施なし	
訪問指導事業	内容：在宅難病患者の自宅へ、専門職（医師、看護師、理学療法士等）を派遣し、患者および家族に対して療養指導を行う	—
神経難病在宅支援連絡会	内容：講演、事例検討等 参加機関：約 30（保健・医療・福祉の関係機関） ※新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実施なし	
在宅難病患者一時入院	内容：在宅難病患者が、家族等の介護者の休息（レスパイト）等の理由により、一時的に在宅で介護等を受けることが困難になった場合に、円滑に適切な医療機関に入院できるように入院受入体制を整備	—

3 心の健康支援

①自死対策

誰もが自死に追い込まれることのない地域社会の実現を目指して、うつ等自死に対する知識の普及と相談体制を整備することで、自死予防を図る。

事業		内容及び実績
普及啓発	パネル展示等	内容：パネル展示、関連書籍の配架コーナーの設置等 自殺予防週間（9月）自殺対策強化月間（3月）等にあわせて実施 実績：図書館等3か所
	若年層への働きかけ	内容：若年層向け自死予防啓発チラシ等を作成、配布 実績：公立鳥取環境大学等8か所に配布 乳幼児健診等で来所された保護者等に配布
	企業向けメンタルヘルス研修会	内容：こころの健康づくりに関するセルフケアについて 実績：新入社員対象 1回 参加者37人
人材育成	メンタルヘルス出前講座	内容：セルフケア及びゲートキーパーについて 実績：企業 11事業所 参加者245人
	ゲートキーパー養成研修会	内容：ゲートキーパーの役割等について 実績：窓口で相談対応にあたる市職員対象 1回 参加者21人
	自死予防研修会	内容：ゲートキーパーの役割等について 実績：地区組織及び市民1回 参加者：33人
「第2期いのち支える鳥取市自死対策推進計画」の推進		計画の期間：令和3年度～令和7年度 計画の概要：働き盛り世代、高齢者、生活困窮者への支援に重点を置き、「生きる支援」に関連する事業を全庁的に推進

②ひきこもり対策

家族や支援者がひきこもりについて理解を深め、相談対応について学ぶことで、当事者の支援につなげる。

事業	内容及び実績
ひきこもり家族教室	内容：講話（ひきこもりについて、家族の関わり等）及び話し合い 実績：10回 参加者 実23人（21家族） 延28人（27家族）
事業担当者連絡会	内容：相談対応者の資質向上のための研修、関係者間の活動報告等 実績：1回 参加者20人

③アルコール・薬物・ギャンブル等依存症対策

アルコール・薬物・ギャンブル等関連問題に悩んでいる家族等が依存症に関する正しい知識を得るとともに、問題解決に向けて取り組めるよう支援する。

事業	内容及び実績
アルコール・薬物・ギャンブル等家族教室	内容：精神科医師及び相談支援コーディネーター（看護師、精神保健福祉士）による講義（依存症とは、家族の役割等）及び話し合い 実績：10回 参加者：実24人 延54人
アルコール・薬物・ギャンブル等専門相談	内容：精神科医師及び相談支援コーディネーター（看護師、精神保健福祉士）による個別相談 実績：6回 相談者：延6人

④精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

精神障がい者の地域生活への移行及び定着を促進するため、医療・保健・福祉等の関係機関が連携し、精神障がい者の地域移行・地域定着支援体制を整備する。

事業	内容及び実績
鳥取県東部圏域精神障がい者地域移行・地域定着推進会議	内容：県東部圏域の地域移行・地域定着支援の現状、各機関の地域移行・地域定着の取り組み状況報告及び意見交換等
鳥取県東部圏域精神障がい者地域移行・地域定着連絡会	実績：推進会議 1回 連絡会 2回
地域移行・地域定着関係職員に対する研修会	内容：講演及び意見交換 実績：1回
精神科病院における地域移行の推進	内容：各病院の実情に合わせ実施 実績：①病院との検討会：延5回 ②病院スタッフ勉強会：2回 ③患者勉強会：19回
レインボウ事業	内容：ボランティア団体・ピアサポーターの協力を得て、退院意欲喚起を目的とした取り組みを実施 実績：患者勉強会：9回（ピアサポーターの協力）

⑤精神障がい者の社会参加支援、家族支援

在宅の精神障がい者が活動を通して交流を図ることにより、精神障がい者の自立と社会参加に向けた支援を行い、在宅の精神障がい者の福祉の向上を図る。

また、家族が病気について学び、情報交換や交流ができる場を作り、家族の孤立化を防ぐ。

事業	内容及び実績	
デイケア	さわやかサロン (中央、福部、鳥取東)	内容：絵や音楽等の創作活動、精神科医師・保健師・栄養士・歯科衛生士による講話、運動等を実施 実績：35回 参加者数 実15人 延：115人
	こころを元気にする会 (河原、用瀬、佐治)	内容：参加者が計画を立て、創作活動や栄養士による講話、運動等実施 実績：12回 参加者数 実9人 延60人
	きらり☆えがおの会 (気高、鹿野、青谷)	内容：参加者による計画立案など、意思決定を尊重した支援を実施 実績：12回 参加者数 実5人 延39人
居場所づくりの会	ほっとカフェ (気高)	内容：当事者を含むボランティアが運営 居場所の提供、ボランティアによる傾聴・相談支援等を実施 実績：15回 参加者数 延140人
	ふわっとカフェ (青谷)	内容：当事者を含むボランティアが運営 居場所の提供、ボランティアによる傾聴・相談支援等を実施 実績：22回 参加者数 延296人
家族支援	鳥取地域家族会 (中央、福部、鳥取東)	内容：病気の正しい知識や対応方法を知るためにテキスト等による学習及び家族の思いや困りごと等についての話し合い 実績：10回 参加者数 延72人
	南地域家族教室 (河原、用瀬、佐治)	内容：「いろいろな知識や制度を学ぼう」をテーマに、制度や精神疾患の理解のための研修会、家族交流を実施 実績：4回 参加者数 実27人、延37人
	西地域家族会 (気高、鹿野、青谷)	内容：家族交流会、研修会、B型就労支援事業所の見学・交流、会員によるたより発行等 実績：12回 参加者数 延172人

⑥高次脳機能障がい者支援

高次脳機能障がい者への支援体制の充実を図るため、医療、保健、福祉関係者のネットワーク構築と人材育成を行う。

事業	内容及び実績
東部圏域高次脳機能障がい者支援機関連絡会（1回）	内容：関係者間の情報共有及び事例検討等 実績：1回 参加者数 14人

⑦精神科救急医療体制の整備

緊急な医療を必要とする精神障がい者等に対する迅速かつ適切な精神科救急医療体制の整備に係る調整を行う。

事業	内容及び実績
東部圏域精神科救急医療体制整備事業連絡調整会議	内容：東部圏域精神科救急医療体制についての報告及び意見交換 実績：1回

⑧精神保健及び精神障害者の福祉に関する法律に基づく入院、相談等の状況

ア 医療保護入院届、定期病状報告の状況 (単位：件)

区分	医療保護入院届	医療保護退院届	定期病状報告	
			措置入院	医療保護入院
件数	498	492	1	248

イ 措置入院、応急入院の状況 (単位：件)

区分	措置入院				応急入院
	申請・通報等	結果内訳			
		診察不要	要診察	うち、措置入院	
鳥取市	21	11	10	6	17
4町	4	3	1	0	1
その他	4	2	2	0	0

ウ 退院請求・処遇改善請求の状況 (単位：延件)

区分	退院請求	処遇改善請求
鳥取市	5	0
4町	0	0
その他	2	0

エ 精神保健相談の状況 (単位：人)

区分	訪問指導		面接相談		電話相談
	実人員	延人員	実人員	延人員	延人員
鳥取市	69	164	59	126	468
4町	9	16	1	6	120
その他	2	18	2	3	38

生活安全課に関する事業

(1) 動物愛護管理推進事業

①動物の適正飼養・譲渡の推進

犬及び猫の引取り・保護、放浪犬の抑留・捕獲、収容動物の管理・返還・譲渡等を行うとともに、動物愛護センター機能を委託しているアミティエや動物譲渡ボランティアなどと連携した譲渡事業や各種啓発事業を実施する。

令和4年度もYouTube、市HPを活用し、譲渡の取り組みを進めたほか、収容動物を譲渡する際には事前に不妊・去勢手術を行い、譲渡の促進を図っている。

ア 収容・返還・譲渡等の状況（東部四町含む）

(ア) 犬の状況

(単位：頭、件)

区分			鳥取市	東部4町	その他・不明	合計	
収容	抑留・捕獲	成犬	20	8	0	28	
		子犬	0	0	0	0	
	引取り	飼主	成犬	3	0	0	3
			子犬	0	0	0	0
		所有者不明	成犬	0	0	0	0
			子犬	0	0	0	0
	保護	成犬	0	0	0	0	
		子犬	0	0	0	0	
前年度引継ぎ			0	0	0	0	
返還数			13	3	0	16	
譲渡	一般		4	2	0	6	
	その他		4	3	0	7	
処分	収容中死亡		0	0	0	0	
	譲渡困難		0	0	0	0	
	その他		1	0	0	1	
死体収容			0	0	0	0	
翌年度引継ぎ			1	0	0	1	

(イ) 猫の状況

(単位：頭、件)

区分			鳥取市	東部4町	その他・不明	合計	
収容	引取り	飼主	成猫	15	2	0	17
			子猫	0	0	0	0
		所有者不明	成猫	0	0	0	0
			子猫	3	4	0	7
	保護	成猫	11	1	0	12	
		子猫	8	3	0	11	
前年度引継ぎ			0	1	0	1	
返還数			0	0	0	0	
譲渡	一般		8	7	0	15	
	その他		10	2	0	12	
処分	収容中死亡		6	0	0	6	
	譲渡困難		0	0	0	0	
	その他		5	1	0	6	
死体収容			4	0	0	4	
翌年度引継ぎ			4	1	0	5	

イ 所有者からの犬・猫の引取り相談件数

(ア) 犬の状況

(単位：件数)

区分	鳥取市	東部4町	その他・不明	合計
所有者からの引取り相談件数	10	1	0	11
うち引取り拒否件数（説諭を含む）	6	1	0	7
拒否の理由	犬猫等販売事業者からの求め	0	0	0
	引取りの繰り返しの求め	0	0	0
	子犬の求めで繁殖制限措置の指示に従っていない	0	0	0
	犬の老齢又は疾病による求め	0	0	0
	飼養が困難であると認められない	0	0	0
	譲渡取組を行っていない	6	1	0
	その他	0	0	0

(イ) 猫の状況

(単位：件数)

区分	鳥取市	東部4町	その他・不明	合計
所有者からの引取り相談件数	13	2	1	16
うち引取り拒否件数（説諭を含む）	5	1	1	7
拒否の理由	犬猫等販売事業者からの求め	0	0	0
	引取りの繰り返しの求め	1	0	0
	子猫の求めで繁殖制限措置の指示に従っていない	0	0	0
	猫の老齢又は疾病による求め	0	0	0
	飼養が困難であると認められない	0	0	0
	譲渡取組を行っていない	2	1	1
	その他	2	0	0

②動物取扱業等の監視指導

ペットショップなどの第一種動物取扱業の登録、営利を目的とせず動物の譲渡等を行う第二種動物取扱業の届出受理のほか、必要に応じて第一種動物取扱業者に対し飼養施設の状況等の報告を求め、施設の検査を実施した。

また、動物取扱責任者に対し、法令内容の周知徹底、並びに新たな知識及び技術の提供のため、研修を実施した。

(ア) 第一種動物取扱業者

事業所数	新規登録	更新登録	廃止	立入件数	行政指導	措置命令	業務停止・登録取消命令
50	4	14	3	42	0	0	0

(イ) 第二種動物取扱業者

事業所数	新規届出	廃止	立入件数	行政指導	措置命令
2	0	0	0	0	0

(ウ) 特定動物飼養者の状況

許可件数	新規	立入件数	措置命令	許可取消命令
6	0	0	0	0

特定動物の内訳

(ニホンザル2件、イヌワシ1件、サバンナモンキー1件、ボア・コンストラクター1件、ワニガメ1件)

③飼い犬登録及び狂犬病予防

狂犬病予防法に基づく飼い犬登録の推進、鳥取県獣医師会と連携した狂犬病予防ワクチンの集団注射を行っているが、令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため集団注射は中止し、動物病院での個別接種を実施した。

(ア) 飼い犬登録及び狂犬病予防

登録申請数	登録頭数	予防注射済票交付数			犬の死亡届出件数
	(年度末現在)	集団注射	個別接種	計	
814	6,655	0	5,466	5,466	532

※ 狂犬病予防注射は、令和4年3月2日から令和5年3月1日に接種した件数。

(イ) 犬による咬傷事故発生状況

事故件数	咬傷犬の登録状況等			被害者数			咬傷事故発生時の犬の状況				咬傷事故発生時の被害者の状況					
	飼い犬		飼い犬不明	飼い主・家族	それ以外	人以外の動物	犬舎等にけい留中にけい留中	けい留して運動中	放し飼い	その他	犬に手を出した	けい留しようとした	配達・訪問等の際	通行中	遊戯中	その他
	登録	未登録														
12	12	0	0	0	12	0	3	4	1	4	2	0	2	8	0	0

④地域猫活動等支援事業

飼い主のいない猫の頭数が多い等の理由で既存の助成制度では対応が困難なケースについて、本市で不妊・去勢手術を行った後、地域で猫を管理してもらう地域猫活動等支援事業を推進した。

⑤野良猫不妊・去勢手術費の助成

野良猫の増加を抑制するための施策として、野良猫の不妊・去勢手術費に対する助成を行った。

⑥動物愛護の啓発活動

市民に動物愛護への関心と理解を深めていただくため、動物愛護週間に合わせ、鳥取市立図書館で動物関連書籍コーナーの設置及び適正飼養啓発パネルの展示を行った。

さらに、保健所業務の理解促進及び動物愛護意識の定着を目的として、譲渡ボランティアと連携し、小学生とその家族を対象とした「犬管理所見学会」の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした。

(2) 食の安全推進事業

①食品関連施設等への監視指導の状況

ア 対象施設の選定方針

過去2年のうちに食品衛生法違反により処分や文書指導を受けたことのある施設や野生鳥獣肉処理施設など食中毒リスクの高い施設、レストランや給食施設などの大量調理施設で、事故が発生した場合大規模食中毒につながる可能性がある施設等を「重点監視対象施設」として、集中的に監視指導を行った。

イ 当年度重点監視事項等

重点監視対象施設について集中的に監視指導を実施するほか、消費者の食品選択において情報源として重要な役割を果たす食品表示について、食品表示法に基づく表示基準の周知及び適正化を図る。また、HACCPに沿った衛生管理に取り組む事業者に対して、営業許可における施設の事前調査等の機会を利用して導入状況の確認、指導を行った。

重点監視対象施設における監視件数 212件 (目標 224件 94.6%)
 ※監視対象施設 2,766施設 (対象 4,909施設 (令和4年度計画値)、56.3%)

(ア) 改正前の食品衛生法に基づく許可を要する施設

(単位：箇所、件数)

区分	対象施設数	監視・検査施設数	違反等件数		違反事項等の概要					
			施設数	件数	処分等件数					
					告発	処分	文書指導			
許可を要する施設	飲食店営業	725	400	3	3			3	①食中毒による営業 禁停止 ・飲食店営業 1件	
	一般食堂・レストラン等	(86)	(38)	(0)	(0)			(0)		
	仕出し屋・弁当屋・給食施設	71	95							②異物混入等による 文書指導 ・飲食店営業/そう ざい製造業 1件
	旅館	(19)	(22)							
	その他	88	33						・飲食店営業 1件	
		(29)	(6)							
	菓子（パンを含む。）製造業	524	288						1件	
		(39)	(31)							
	菓子（パンを含む。）製造業	337	183	1	1			1	③その他（規格・基 準違反等） ・食肉処理業 1件	
		(63)	(35)	(0)	(0)			(0)		
	乳処理業								・菓子製造業 1件	
	特別牛乳搾取処理業									
	乳製品製造業	4	1						1件	
		(2)	(1)							
	集乳業									
	魚介類販売業	248	179							
		(46)	(49)							
	魚介類競り売り営業	0	4							
		(0)	(2)							
	魚肉練り製品製造業	4	8							
	(0)	(0)								
食品の冷凍または冷蔵業	10	11								
	(4)	(3)								
かん詰又はびん詰食品製造業（上記及び下記以外）	6	3								
	(2)	(0)								
喫茶店営業	362	245								
	(47)	(32)								
（再掲）自動販売機	318	216								
	(42)	(31)								
あん類製造業										
アイスクリーム類製造業	45	65								
	(4)	(8)								
食肉処理業	30	45	1	1			1			
	(5)	(9)	(0)	(0)			(0)			
食肉販売業	205	135								
	(33)	(33)								
食肉製品製造業	4	6								
	(2)	(3)								
乳酸菌飲料製造業										
食用油脂製造業	4	3								
	(2)	(1)								
マーガリン又はショートニング製造業										
みそ製造業	31	12								
	(14)	(2)								
しょうゆ製造業	3	4								
	(1)	(1)								

許可を要する施設	ソース類製造業	7 (2)	5 (0)	/	/	/	/	/
	酒類製造業	8 (4)	6 (5)	/	/	/	/	/
	豆腐製造業	19 (7)	17 (3)	/	/	/	/	/
	納豆製造業	/	/	/	/	/	/	/
	麺類製造業	5 (1)	1 (1)	/	/	/	/	/
	そうざい製造業	79 (23)	82 (23)	1 (0)	1 (0)	/	/	1 (0)
	添加物（法律13条第1項の規定により規格が定められたものに限る。）製造業	0 (0)	0 (0)	/	/	/	/	/
	食品の放射線照射業	/	/	/	/	/	/	/
	清涼飲料水製造業	10 (3)	16 (10)	/	/	/	/	/
	氷雪製造業	/	/	/	/	/	/	/
	合計	2,829 (438)	1,847 (318)	6 (0)	6 (0)	/	/	6 (0)

(イ) 改正後の食品衛生法に基づく許可を要する施設

(単位：箇所、件数)

区分	対象施設数	監視・検査施設数	違反等件数		違反事項等の概要			主な違反事項等の概要	
			施設数	件数	処分等件数				
					告発	処分	文書指導		
許可を要する施設	飲食店営業	804 (83)	358 (49)	2 (0)	2 (0)	/	/	2 (0)	①食中毒による営業 禁停止 0件
	調理の機能を有する自動販売機	10 (3)	7 (3)	/	/	/	/	/	②異物混入等による 文書指導 ・飲食店営業 1件
	食肉販売業	14 (2)	11 (2)	/	/	/	/	/	③無許可営業 ・飲食店営業 1件
	魚介類販売業	31 (8)	30 (16)	/	/	/	/	/	③無許可営業 ・飲食店営業 1件
	魚介類競り売り営業	4 (2)	2 (0)	/	/	/	/	/	・そうざい製造業 1件
	集乳業	/	/	/	/	/	/	/	・みそ又はしょうゆ 製造業/そうざい 製造業/食品の小 分け業 1件
	乳処理業	/	/	/	/	/	/	/	
	特別牛乳搾取処理業	/	/	/	/	/	/	/	
	食肉処理業	3 (1)	3 (0)	/	/	/	/	/	④その他（規格・基 準違反等） ・清涼飲料水製造業 1件
	食品の放射線照射業	/	/	/	/	/	/	/	・そうざい製造業 2件
	菓子製造業	95 (25)	53 (18)	/	/	/	/	/	
	アイスクリーム類製造業	5 (1)	6 (1)	/	/	/	/	/	
	乳製品製造業	/	/	/	/	/	/	/	
	清涼飲料水製造業	4 (1)	4 (1)	1 (0)	1 (0)	/	/	1 (0)	
	食肉製品製造業	4 (2)	4 (0)	/	/	/	/	/	
	水産製品製造業	6 (3)	7 (2)	/	/	/	/	/	
氷雪製造業	/	/	/	/	/	/	/		

許可を要する施設	液卵製造業	/	/	/	/	/	/	/
	食用油脂製造業	/	/	/	/	/	/	/
	みそ又はしょうゆ製造業	8 (3)	3 (0)	1 (1)	1 (1)	/	/	1 (1)
	酒類製造業	3 (1)	2 (1)	/	/	/	/	/
	豆腐製造業	4 (1)	2 (1)	/	/	/	/	/
	納豆製造業	/	/	/	/	/	/	/
	麺類製造業	6 (1)	4 (0)	/	/	/	/	/
	そうざい製造業	44 (11)	31 (9)	4 (1)	4 (1)	/	/	4 (1)
	複合型そうざい製造業	/	/	/	/	/	/	/
	冷凍食品製造業	4 (0)	1 (0)	/	/	/	/	/
	複合型冷凍食品製造業	1 (0)	1 (0)	/	/	/	/	/
	漬物製造業	7 (1)	7 (1)	/	/	/	/	/
	密封包装食品製造業	7 (1)	1 (1)	/	/	/	/	/
	食品の小分け業	4 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	/	/	1 (1)
	添加物製造業	1 (0)	0 (0)	/	/	/	/	/
合計	1,069 (151)	538 (106)	9 (4)	9 (4)	/	/	9 (4)	

(ウ) 届出を要する食品関係営業施設

(単位：箇所、件数)

区分	対象施設数	監視・検査施設数	違反等件数		違反事項等の概要			主な違反事項等の概要
			施設数	件数	処分等件数			
					告発	処分	文書指導	
旧許可営業種 であった営業	魚介類販売業（包装済みの魚介類のみの販売）	20 (0)	4 (0)	/	/	/	/	①食中毒による営業 禁停止 0件
	食肉販売業（包装済みの食肉のみの販売）	13 (3)	4 (2)	/	/	/	/	②異物混入等による 文書指導 0件
	乳類販売業	49 (7)	15 (2)	/	/	/	/	③無許可営業 0件
	氷雪販売業	3 (2)	0 (0)	/	/	/	/	0件
	コップ式自動販売機（自動洗浄・屋内設置）	130 (17)	12 (2)	/	/	/	/	④その他（規格・基準違反等） ・百貨店、総合スーパー 2件
販売業	弁当販売業	4 (0)	1 (0)	/	/	/	/	
	野菜果物販売業	14 (2)	22 (3)	/	/	/	/	
	米穀類販売業	6 (4)	4 (1)	/	/	/	/	
	通信販売・訪問販売による販売業	3 (0)	0 (0)	/	/	/	/	
	コンビニエンスストア	63 (9)	24 (6)	/	/	/	/	
	百貨店、総合スーパー	46 (8)	49 (7)	2 (0)	2 (0)	/	/	2 (0)
	自動販売機による販売業（コップ式自動販売機（自動洗浄・屋内設置）を除く。）	89 (5)	28 (6)	/	/	/	/	
	その他の食料・飲料販売業	138 (17)	79 (11)	/	/	/	/	

製造・加工業	添加物製造・加工業（法第13条第1項の規定により規格が定められた添加物の製造を除く。）							
	いわゆる健康食品の製造・加工業	4 (0)	0 (0)					
	コーヒー製造・加工業（飲料の製造を除く。）	13 (3)	3 (0)					
	農産保存食料品製造・加工業	143 (41)	2 (0)					
	調味料製造・加工業	4 (1)	1 (0)					
	糖類製造・加工業							
	精穀・製粉業	2 (1)	0 (0)					
	製茶業	13 (7)	1 (0)					
	海藻製造・加工業							
	卵選別包装業	3 (1)	4 (1)					
	その他の食料品製造・加工業	107 (47)	12 (6)					
用上記以外の法第68条第3項で準	行商	3 (3)	0 (0)					
	集団給食施設	136 (25)	116 (16)					
	器具、容器包装の製造・加工業（合成樹脂が使用された器具又は容器包装の製造、加工に限る。）	4 (1)	0 (0)					
	露店、仮設店舗等における飲食の提供のうち、営業とみなされないもの							
	その他	1 (0)	0 (0)					
合計	1,011 (204)	381 (63)	2 (0)	2 (0)			2 (0)	

(注) 監視・検査施設数は延件数を記載。
下段の括弧内は、東部4町区域に係る件数で内数とする。

②衛生講習会等の実施

食品に携わる関係者を対象に衛生講習会を実施し、食品関連業務従事者の資質向上を図った。

衛生講習会・・・開催実績35回（目標50回）、参加者 1,236名

③食品等の収去検査

管内で製造、流通している食品等を検査機関で検査し、食品の安全性の監視を行った。

検査実績 60検体（うち東部4町は13検体）

④食中毒事故対応

食中毒事故（疑いを含む。）が発生した場合は、直ちに原因究明を行い、必要に応じて営業停止命令等、被害拡大防止・再発防止の対策を講じた。

食中毒事故件数 3件（うち営業禁停止 1件）

⑤食品表示法に基づく食品表示適正化指導の状況

ア 監視指導

食品衛生法に基づく監視指導等の施設立入り時に併せて食品表示法に基づく表示調査を行い、食品表示の適正化の指導と正しい知識の普及を図った。また、国、県及び消費者等から情報提供があった場合は、速やかに確認調査を行い、必要な指導を行った。

(単位：箇所、件数)

調査施設数	処分件数		
	告 発	処 分	文書指導
933	0	0	4

イ 相談対応

食品関連事業者からの食品表示に関する相談対応を行った。

相談件数 93人

⑥景品表示に基づく調査・指導の状況

ア 食品

(単位：箇所、件)

区分		件数	主な違反事項等の概要
受 理	職権探知	0 (-)	新聞折込チラシで広告していた商品が実際は未入荷であり、消費者は購入できない状態にあったため、おとり広告に該当するとして再発防止を指導した。
	情報提供	2 (-)	
合計		2 (-)	
処 理	措置命令	0 (-)	
	指導等	1 (-)	
		うち公表	
	違反事実なし・打切り	1 (-)	
	消費者庁への通知	0 (-)	
	公取協への通知	0 (-)	
その他	0 (-)		
合計		2 (-)	

(注) 下段の括弧内は、東部4町区域に係る件数で内数とする。

イ 食品以外

(単位：箇所、件)

区分		景品	表示	主な違反事項等の概要
受 理	職権探知	0 (-)	0 (-)	
	情報提供	0 (-)	0 (-)	
合計		0 (-)	0 (-)	

処理	措置命令	0 (-)	0 (-)	
	指導等	0 (-)	0 (-)	
	うち公表	0 (-)	0 (-)	
	違反事実なし・打切り	0 (-)	0 (-)	
	消費者庁への通知	0 (-)	0 (-)	
	公取協への通知	0 (-)	0 (-)	
	その他	0 (-)	0 (-)	
合計		0 (-)	0 (-)	

(注) 下段の括弧内は、東部4町区域に係る件数で内数とする。

⑦営業許可の状況

食品衛生法（改正前第52条及び改正後第55条）に基づく営業許可（新規及び更新）について、593件（うち、東部4町分は104件）の許可を行った。

⑧営業届出の状況

食品衛生法第57条第1項に基づく営業届出について、461件の営業届（新規）を受理した。

⑨鳥取県食品衛生条例に基づくHACCPの推進

立入監視・相談等の機会を捉え、HACCPに基づく衛生管理に取り組む事業者に対してHACCPを維持継続できるよう、認定制度を活用した指導助言を行った。

⑩調理師法に基づく免許証の交付

試験合格者32名及び養成施設卒業者4名に対し、免許を交付した。
また、免許証の書換交付を5件、再交付を5件処理した。

⑪製菓衛生師法に基づく免許証の交付

試験合格者4名に対し、免許を交付した。

⑫鳥取県ふぐの取扱い等に関する条例に基づく免許証の交付

試験合格者からの免許申請はなかった。

⑬鳥取県魚介類行商条例に基づく許可証の交付

食品衛生法改正による新たな許可制度の施行に伴い、魚介類行商許可制度は廃止されたが、新たな許可証の交付はなかった。

⑭その他法令（と畜場法、食鳥処理法）に基づく処分状況

食鳥処理場・と畜場を営もうとする者からの許可申請はなかった。

IV 健康こども部事業概要

こども家庭相談センターに関する事業

(1) 児童相談

「子ども家庭総合支援拠点」として、児童虐待の未然防止や早期発見に積極的に取り組み、要保護児童等に関する相談や調査、関係機関と連絡調整等を行いながら支援業務を行った。また、妊娠期から子育て期の様々なニーズに対し、切れ目のない支援を行うため「子育て世代包括支援センター」と連携し、リスクの高い妊婦の支援を行った。

① 児童相談受理状況 相談件数 436件 (内 児童虐待として対応したもの 37件)

相談経路	児童相談所	県その他部署	保健センター	市町村その他部署	保育所・幼稚園	警察等	保健所	医療機関	学校	教育委員会等	児童委員	家族・親戚	近隣・知人	その他	計
件数	46	2	94	15	44	2	6	96	62	9	2	30	19	9	436

相談経路		相談内容	件数	計
児童相談所	虐待の疑い、虐待に関する相談		8	46
	情報提供、支援依頼		38	
警察	虐待の疑い、虐待に関する相談		0	2
	情報提供、支援依頼		2	
市町村	福祉事務所	虐待の疑い、虐待に関する相談	2	15
		養育や家庭状況の心配、こどもの育成に関する相談	7	
		他自治体からの継続支援の依頼	6	
市町村	保健センター	虐待の疑い、虐待に関する相談	0	94
		養育者の精神疾患、子育て不安、養育や家庭状況の心配等	94	
	その他	養育や家庭状況の心配、こどもの育成に関する相談	0	0
保育所・幼稚園	虐待の疑い、虐待に関する相談		4	44
	養育者の精神疾患、子育て不安、養育や家庭状況の心配等		40	
学校・教育委員会	虐待の疑い、虐待に関する相談		5	71
	養育や家庭状況の心配		55	
	不登校、発達障がい、問題行動等		11	
医療機関	虐待の疑い、虐待に関する相談		3	96
	養育や家庭状況の心配		5	
	早期母子支援依頼、子育て支援依頼(妊婦、新生児)		88	
家族・親戚	虐待の疑い、虐待に関する相談		2	30
	養育や家庭状況の心配、養育者の病気等による養育支援		18	
	育児、発達、不登校や問題行動等		10	
近隣・知人	虐待の疑い(泣き声、怒鳴り声等の通告)		19	19
	養育や家庭状況の心配		0	
児童本人	虐待に関する相談、家庭関係の相談		1	1
その他	虐待の疑い、虐待に関する相談		8	18
	養育や家庭状況の心配		7	
	育児、発達、不登校や問題行動等		3	
計			436	436

年齢	0歳	1～3歳	4～6歳	7～10歳	11～14歳	15歳以上	計
件数	113	69	65	67	59	63	436

- ② 要保護児童対策地域協議会 (代表者会議：1回、実務者会議：7回、個別支援会議：190回)
- ③ 子育て相談ダイヤル(相談を受けるとともに、情報提供を行う) ・相談件数 87件
- ④ 養育支援訪問事業

養育の支援が必要であると判断した家庭に対し、訪問等により育児支援、家事等の援助及び相談を受ける。また、カウンセリングが特に必要であると判断した家庭の妊産婦及び児童並びにその養育者に対し、精神的安定を図り、適切な養育の実施を確保する。

訪問事業		カウンセリング事業	
子どもの虐待防止ネットワーク鳥取へ委託		心理士によるカウンセリング(週2日)	
家庭数(実)	5件	利用人数(実)	14人
訪問数(延)	205回	利用人数(延)	96人

- ⑤ 親と子のすこやか推進事業「らくだクラブ」

強い育児不安や育児困難感を持つ親へのグループ教室。

毎月1回 12回実施

保護者参加 実6人、延18人

- ⑥ 乳幼児健診における育児相談

健診会場等において育児不安や悩みの相談を受けるとともに子育てに関する情報提供を行った。

・相談件数 76件

(内訳 6か月児健診：46件、2歳児健診0件、1歳6か月児健診14件、3歳児健診16件)

- ⑦ 妊娠期からの母子支援事業

不安や悩み、生活上の問題を抱える妊婦を把握し、妊娠期から関わることによって安心して妊娠・出産・子育てが行え、児童虐待の予防に資することを目的に、母子健康手帳交付時にアンケートを実施しリスクを抱える妊婦への早期支援を行った。妊娠期から状況把握と相談を実施。出産後、新生児訪問に相談員が同伴し、鳥取市保健所などの地区担当保健師と連携して継続支援を行った。

・相談件数 27件

- ⑧ 「妊娠SOS」相談事業

妊娠したことや出産・養育についての悩みを抱える方が相談しやすい体制を整備した。

・相談件数 6件 ・相談形態(電話4件、メール2件)

- ⑨ 産後母子支援事業

家族等から産後の援助が十分に得られないなど、特に育児支援を必要とする母子を対象に、支援を行い心身の安定と育児不安の解消を図った。(市内の産科医療機関や助産所に委託)

乳児一時預かり	生後4か月までの乳児を日帰りで預かり、母親の疲労回復を図る	82件
母子ショートステイ事業	生後4か月までの乳児と母親が宿泊してケアを受け、不安の軽減を図る	108件、248日
母子デイサービス事業	生後4ヶ月までの乳児と母親が日帰りでケアを受け、不安の軽減を図る	139件
母子アウトリーチ事業	生後4ヶ月までの乳児と母親がいる居宅を訪問し、ケアを受け、不安の軽減を図る	5件

(2) 女性相談

令和2年度より女性相談窓口が当所に移設され、DV対応と児童虐待対応との連携強化が図られた。

相談件数：実件数 1,275件。(そのうちDV相談 延件数：179件)

(3) ヤングケアラー支援の強化

年齢に見合わない家庭での役割を担うことにより自身の学び等に影響を受けるおそれのあるヤングケアラーに寄り添い必要な支援につなぐ、ヤングケアラー・コーディネーター(1名)を令和4年度より配置し、支援の強化を図った。

こども発達支援センターに関する事業

平成30年5月、福祉と教育が一体となって、発達上の困難を抱える乳幼児期から18歳未満までの児童とその保護者に対し、ライフステージに合わせた切れ目のない一貫した総合的な支援を行うことを目的に設置した。

1 発達支援係

①発達に関する相談

児童の発達に関する保護者の心配事に対し、来所、電話又は訪問等による相談を受けた。また、保健師や保育者、医療・療育関係機関との連絡・調整を行った。

(人)

相談種別	養護相談		保健相談	障がい相談						育成相談				その他の相談	計
	児童虐待相談	その他の相談		肢体不自由	視聴覚障がい	言語発達障がい等	重症心身障がい	知的障がい	発達障がい	性格行動	不登校	適正相談	育児・しつけ		
実人数	-	-	-	1	-	2	-	1	191	-	1	-	-	5	201
延人数	-	-	-	5	6	3	1	5	1,572	-	1	-	1	9	1,603

②心理発達相談・発達検査

心理相談員による児童の発達確認や発達検査等を行うとともに、子育ての中での困り感を聴取し、児童の特性に合わせた対応や必要な療育等の情報提供を行った。

心理発達相談	実人数	93人	延人数	179人	(上記再掲)
--------	-----	-----	-----	------	--------

③保育訪問相談・支援

心身の発達の支援が必要な児童及び保育上の配慮が必要な児童に対し、発達支援等の専門員が各保育園、幼稚園等を訪問し、対象児童の発達支援及び保護者支援の充実を図った。

保育訪問相談	実人数	47人	延人数	49人	(上記再掲)
健診後等による園訪問	実人数	72人	延人数	72人	(上記再掲)

④鳥取市発達支援保育指導委員会の開催及び巡回指導

鳥取市障がい児等保育実施要綱に規定する鳥取市発達支援保育指導委員会の開催及び委員による年2回(前期、後期)の保育園等への訪問を行い、保育園における保育の観察及び助言指導と、障がい児等の経過観察等、適切な保育の支援を行った。

巡回指導対象園数	36園	対象児人数	133人
----------	-----	-------	------

⑤5歳児発達相談事後相談・支援

5歳児発達相談後に子育てや心理発達、保育・教育相談が必要な児童とその保護者を対象に、個別の相談を実施し、必要に応じて児童の就学移行支援を行った。

5歳児発達相談	53人中、事後相談が必要だった児童	49人
内訳	医療受診	20人
	5歳児事後訪問	49人
	発達相談	27人
	就学相談	39人(重複あり、上記再掲)

⑥親子通所療育

発達上の困難を抱える児童と保護者に対し、親子で遊ぶ体験や基本的な生活習慣を獲得のための取り組みを提供する中で、保護者が児童との関わり方を学び、児童の発達の特徴を理解する場として実施した。

親子通所療育	開催回数	44回	実人数	14組	延人数	185組
--------	------	-----	-----	-----	-----	------

⑦小集団療育

5歳児発達相談後に経過観察が必要な児童及び保育園、幼稚園等の大きな集団での活動に困難を抱える児童を対象に、児童の特徴をふまえた小集団での療育を実施した。保護者同士のつながりを持つ場として保護者交流会を持ち、児童との関わりや心配なこと、就学に向けての情報交換等を行った。

小集団療育	開催回数	7回	実人数	6組	延人数	29組
-------	------	----	-----	----	-----	-----

⑧親の会の支援

発達上の困難を抱える児童をもつ親の集いを開催し、学校や友人関係等の情報交換や交流の場として実施した。

親の会（いっぽいっぽ）	開催回数	7回	実人数	25人	延人数	46人
-------------	------	----	-----	-----	-----	-----

⑨発達支援に関する支援者等研修会の開催

子育てや療育、保育、教育に関心のある方を対象としたオンライン研修と鳥取市内の各保育園等の副園長を対象とした支援者向けの研修を実施した。

R4. 12. 15～R5. 1. 31（動画配信） 令和4年度地域療育セミナー
「学習障がいへの気づきと具体的支援」～お子さんを中心に切れ目のない支援を考える～
講師 鳥取県立鳥取療育園 園長 稲垣 真澄 氏 他

R5. 1. 19 副園長会研修
答えは保育の中にある～子どもの内面理解の手がかりとして発達を学ぶ～
講師 鳥取市こども発達支援センター 心理相談員 内藤 綾子 氏

⑩関係機関とのネットワークづくり

発達支援に必要な児童及び保護者への支援に対し、関係団体、関係機関との支援体制づくりを図った。

・鳥取市こどもの発達支援ネットワーク推進会議の開催（R4. 12. 22）

発達障がいをもつ児童またはその疑いのある、児童の各ライフステージに対応する一貫した支援体制の推進について検討。主に、福祉と教育との連携における切れ目のない発達支援体制の充実に向けた支援のあり方について協議した。

・鳥取市地域自立支援協議会保育所等訪問支援ワーキングの開催

学齢期における保育所等訪問支援事業のあり方について協議し、保育所等訪問支援ガイドラインを作成した。福祉と教育がより一層連携を図り、支援につながるよう取り組みを行った。

2 特別支援教育係

①教育相談・支援

小学校入学前の年中、年長期から、18歳までの児童及び保護者に対して、就学に関することや学習面や行動面の学校生活に関する相談を来所、電話または訪問等により行った。

教育相談	実人数	401人	延人数	2,173人
主な内容	就学相談・見学	1,217人	情緒・行動	298人

②早期からの教育相談

就学相談員が、特別な支援を必要とする児童及び保護者に対して、早期から就学に関する情報提供や教育相談を行い、柔軟できめ細やかな就学移行支援を行った。

1	就学に関する相談（①②③）	60園	619回	実人数	201人
---	---------------	-----	------	-----	------

	① 園訪問	1 2 5回	
	② 来所	3 4 5回	
	③ 電話	1 4 9回	
2	学校に関する相談・見学・同行	5 4回	
3	就学移行支援会議への出席	5 6回	実人数 5 4人
4	就学後の支援会議（フォロー会議）	5回	実人数 5人
5	5歳児発達相談会場での教育相談	1 2回	
6	就学後の保護者相談（来所・電話）	5 2回	実人数 2 1人

(上記再掲)

③就学前小集団活動

小学校入学時に必要なスキルやルールを学ぶ機会をつくり、学校生活への不安軽減を図り安心して就学を迎えることができるように支援を行った。

にじのきょうしつ	実人数	2 4人	延人数	1 7 3人	(上記再掲)
----------	-----	------	-----	--------	--------

④就学移行に関する相談

幼児期から学齢期に移る上での一貫した支援を行うために作成した「育ちをつなぐ（改訂版）～就学移行期の支援の進め方～」の内容を関係機関で共有し、児童及び保護者の相談支援を行った。また、教育機関等との支援内容に関する協議を行いながら継続した支援を行った。

就学移行支援会議	実人数	5 4人	延人数	5 6人	(上記再掲)
----------	-----	------	-----	------	--------

⑤T式ひらがな音読支援

市内全小学1年生のひらがな読みの確認・支援結果及び小学2年生の語彙指導結果をもとに助言し、学力向上・不登校解消の一助を図った。

⑥関係機関との連携

園訪問等を通じ、就学相談の機会を広げ、学校見学同行や移行支援会議・フォロー会議参加による学校支援を行い、移行支援の充実を図った。また、関係機関主催の健診や研修会に参加・協力し連携を強めた。

3 児童発達支援センター若草学園

①児童発達支援センター「若草学園」の運営

発達支援の必要な幼児に対して、生活自立を目指して、一人ひとりの発達に応じた集団又は個別での療育を実施した。

園児数	3 0人
-----	------

②障がい児等地域療育支援事業

発達支援の必要な児童に対し、外来及び保育園等の訪問による相談・指導を実施した。

外来療育	延人数	7 7 7人	訪問療育	延人数	8 5人	施設支援	5 3園
------	-----	--------	------	-----	------	------	------

③日中一時支援事業

障がい児の日中の活動の場を確保し、その家族の就労等を支援した。

延人数	2, 3 9 1人
-----	-----------

④相談支援事業所わかくさの運営

障がい福祉サービスを利用する者に対する相談・支援、利用計画の作成を行った。

実人数	4 9人	延人数（アセスメント、モニタリング）	1 5 0人
-----	------	--------------------	--------

V. 資 料

資料1 要綱等新規制定・改正状況一覧表

No.	担当課（センター）名	要綱等の名称	新規制定・改正日
1	保健総務課	鳥取市公衆浴場原油価格高騰対策補助金	制 定 令和 4年 7月13日 (令和 4年度単年度事業)
2	健康・子育て推進課	鳥取市小児慢性特定疾病交通費助成金交付要綱	制 定 令和 4年 4月 1日
3	健康・子育て推進課	鳥取市妊婦さん応援給付金支給要綱	制 定 令和 4年 4月 1日 一部改正 令和 5年 4月 1日
4	健康・子育て推進課	鳥取市出産・子育て応援給付金支給事務実施要綱	制 定 令和 5年 1月 1日
5	保健医療課	鳥取市結核予防費補助金交付要綱	制 定 平成30年4月1日 一部改正 令和 4年4月1日
6	保健医療課	鳥取市ヒトパピローマウイルス感染症に係る任意接種償還払い要綱	制 定 令和 4年7月1日

資料2 沿革

年 月	組織について	事業の動き	その他の動き
平成29年 4月	機構改革により保険年金課 健診推進室から中央保健セ ンター健診推進室へ改変	<ul style="list-style-type: none"> 中央保健センター・鳥取東健康福祉センターに子育て世代包括支援センターを開設 中央保健センターに専任の助産師を配置 産後サロン開始 妊娠・出産包括支援事業に母子ゲイサーサービス事業を追加 1歳6か月健診においてフッ化物塗布を開始 鳥取大学地域貢献事業として「しゃんしゃんグニサイズ」効果検証 個別リスクに基づく適切な胃がん検診体制構築に関する研究に参加 年少児の発達相談の開始 幼児歯科教室（2歳6か月児対象）の終了 第3期鳥取市国民健康保険特定健康診査等実施計画策定 	
平成29年 6月			
平成29年 10月			
平成30年 3月	保健所準備室の廃止 (保健医療福祉連携課兼務解 除)		
平成30年 4月	中核市移行により、鳥取市 保健所を開設	<ul style="list-style-type: none"> 中核市保健所として、地域の保健医療・精神保健・感染症予防・環境衛生等の業務を行うとともに、県東部4町区域の保健所業務を県からの移譲及び委託により実施 高齢者等歯科対策推進事業について、通所施設歯科健診を施設歯科健診に変更 	
平成30年 5月	機構改革によりこども発 達・家庭相談センターから こども家庭相談センターと こども発達支援センターへ 改変	<ul style="list-style-type: none"> 健康こども部の発達相談・支援と教育センターの教育相談・支援を一元化 鳥取市教育センターに「こども発達支援センター あいぽっぽ」の設置 こども家庭相談センターに女性相談、DV相談窓口の設置 	
平成30年 6月		<ul style="list-style-type: none"> 集団検診Web予約の開始 胃全摘者への対応として、胃なし人間ドックを開始 	
平成31年 3月		<ul style="list-style-type: none"> いのち支える鳥取市自死対策推進計画策定 	

資料2 沿革

年 月	組織について	事業の動き	その他の動き
平成31年 4月		<ul style="list-style-type: none"> ・精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業開始 ・産後健康診査事業開始 	
令和元年 10月		<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり支援対策強化のため、支援コーディネーターを設置（特定非営利法人 鳥取青少年ピアサポートに委託） ・保健所と保健センターの一体化を図り機構改革 	
令和2年 4月	<p>機構改革により、保健医療福祉連携課及び総務企画課から保健総務課へ、健康支援課及び障がい者支援課精神保健係から保健医療課へ、中央保健センターから健康・子育て推進課へ、鳥取東健康福祉センターから鳥取東保健センターへ変更</p>		
令和2年 4月		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業開始 	
令和2年 5月	<p>さざんか会館から鳥取市駅南庁舎へ移転</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市駅南庁舎に「健康づくりと子育て支援の総合拠点」誕生 	
令和2年 7月		<ul style="list-style-type: none"> ・東部圏域栄養管理情報連携サポート事業開始 	
令和3年 1月		<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦教室再開 	
令和3年 3月		<ul style="list-style-type: none"> ・第4期鳥取市健康づくり計画「とっとり市民元気プラン2021」策定 ・第3次鳥取市食育推進計画策定 	
令和4年 2月		<ul style="list-style-type: none"> ・第2期いのち支える鳥取市自死対策推進計画策定 ・子育て支援アプリ導入 	
令和4年 3月		<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる子育て相談開始 	
令和4年 4月		<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市小児慢性特定疾病交通費助成事業開始 ・鳥取市妊婦さん応援給付金支給事業開始 ・オンラインによる特定保健指導開始 	
令和4年 9月		<ul style="list-style-type: none"> ・歩車型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的事業開始 	
令和5年 1月			

「けんこう 鳥取 令和4年度」
(令和5年8月発行)

鳥取市保健所保健総務課

鳥取市保健所保健医療課心の健康支援室

鳥取市保健所健康・子育て推進課

鳥取市保健所生活安全課

こども家庭相談センター

国府町総合支所市民福祉課

河原町総合支所市民福祉課

佐治町総合支所市民福祉課

鹿野町総合支所市民福祉課

鳥取市保健所保健医療課

鳥取市保健所保健医療課新型コロナワクチン接種対策室

鳥取市保健所健康・子育て推進課健診推進室

鳥取東保健センター

こども発達支援センター

福部町総合支所市民福祉課

用瀬町総合支所市民福祉課

気高町総合支所市民福祉課

青谷町総合支所市民福祉課